

- 一二月
 - 七 蔵相ボンネ、下院において依然金本位を維持すべき旨を聲明
 - 一一 豫算案下院を通過。ドイツ、フランスに對しザールの返還を提案
 - 一六 チェコスロヴァキア、フランス兩國の首相共同にて、イタリアの國際聯盟改革提唱に賛成、ドイツの國境改訂並に再軍備に反對の旨を聲明
 - 二二 佛政府、獨佛の通商交渉決裂を發表
 - 二三 下院百億フラン公債發行を可決
 - 二七 ドイツの再軍備要求を正式に拒絶
- 一九三四年
 - 一月
 - 一 ヒットラーの要望は交渉の基礎となり兼ねるとの對獨覺書を交付。輸入品の割當比率を七五%削減し、新たに一三四種目の商品を割當制限中に加ふる
 - 四 水上機南大西洋を横斷、所要時間一八時間二七分
 - 五 バイヨンヌ市警署屋に關する疑獄事件起る
 - 九 バイヨンヌ市警署疑獄事件に關聯して内閣に變動あり、ダリミエ植民相辭職、勞働相ラムル新植民相に、フロイ新勞働相に任命さる
 - 一一 英國輸入品のみ舊割當量に還元と決定す。佛ソ通商條約正式に調印さる。内容は輸入關稅及び數量並に支拂方法、ソヴェート債務問題、商務官制度その他、有效期間一ヶ年。疑獄事件討論中の下院へ群衆政府糾弾のデモを行ふ
 - 一二 政府疑獄事件の離隔を切り抜く
 - 一八 上院にて首相、聯盟改組に關するムツ
 - 二月
 - 二二 ソリーニ案に反對の旨を聲明
 - 二七 バイヨンヌ市警署疑獄事件でパリに騷動起る
 - 二七 前に植民相の辭職、他の事件で法相の辭職となり、内閣總辭職す
 - 三〇 ダラディエ新内閣成立す
 - 三月
 - 四 新内閣、蔵、陸兩相の辭職にて動搖したが本日後任を任命、蔵相は前豫算相マリーチヤンドウ、陸相は前外相ポール・ボントール任命さる
 - 六 フラン紙幣低落のため金本位維持疑はれ、政府金本位維持を聲明
 - 七 前日の大暴動に引續き本日も反政府デモ益々擴大の形勢、遂に内閣總辭職
 - 八 フランス銀行公定割引歩合を二分半より三分に引上げ
 - 九 ドゥーメルグ學團一致内閣成立す。イギリス割當削減の報復手段として對佛關稅を二〇パーセント引上げ
 - 一三 ドイツの軍備要求を一蹴、獨佛の妥協全然絶望となる
 - 二二 下院豫算案を可決す
 - 二八 陸海空にわたる軍備擴張案を發表
 - 三月
 - 六 イルズ嬢東京安着。内閣、約二ヶ月間議會の休會を斷行し、休會中は獨裁を以つて詐欺王スタグヴィスキ事件(バイヨンヌ事件)の審理をなすに決定
 - 九 上院政府に輸入取引税引下げの權能を賦與す。國防擴充案議會を通過
 - 一一 佛獨通商條約期限延長さる
 - 一六 政府法令を發布し五七種の輸入商品の雜貨關稅を引上げ。對獨報復を主目的とす
 - 四月
 - 四 官吏減俸を主とする赤字補填の大統領令發布さる
 - 一〇 佛領全體の經濟會議召集に決す
 - 一七 海軍大演習開始さる。「政治的中立を遵守すべき約束を無視した」との理由でトロツキーを追放
 - 二三 佛伊通商協定漸く成る
 - 二八 イルズ嬢、新記録を作つて訪日飛行よりパリへ歸着
 - 五月
 - 二三 社會黨大會、下院解散その他を決議
 - 二六 海軍軍縮豫備交渉に欣然參加を決す
 - 六月
 - 一一 對米戰債不拂を決定し通告す
 - 二八 英佛新通商條約の細目要項發表さる
 - 七月
 - 五 上院先に下院を通過した新建艦案を可決す
 - 二〇 急進社會黨首領、無任所相エリオ、タルヂユと同一内閣に列し得ないと言明、學團一致内閣危機に直面す
 - 八月
 - 佛海相、海軍の整備擴張を發表す
 - 九月
 - 一九 佛ソ間に東歐ロカルノ條約締結の諒解成る
 - 二五 造船業更生法案公表さる
 - 二七 オーストリア獨立保障確認の英・佛・伊三國共同宣言成る
 - 二七 外相、ザールの人民投票につきナチスの策動により秩序擾亂される時には出兵をも辭せぬ旨の決意を表明す
 - 二九 佛・加兩國の通商協定調印さる。イタリア公債二〇億リラ引受を承認

31 ブルガリア 立憲君主國

英 Bulgaria, 獨 Bulgaria, 佛 Bulgaria.

I 歴史概観

一、古代史 遠くスラヴ人の占有するところ、西暦五、六世紀にトルコ民族の一族たるブルガリア人がヴォルガ地方から移住し来る。七世紀初にブルガリア帝國を建設す。以來東西兩洋交通の要地に當るために國勢かなり振ふ。一、二世紀にはバルカン半島の大部分を占領す。キリスト教の移入は九世紀以來行はれ、國內はすべてキリスト教化し、またロシアにもその影響を與ふ。

二、トルコ領時代 ビザンチン文化の積極的移植を行ひ東方の文化國であつたが、一三九三年以來、トルコのために侵略され、それまでのキリスト教文化は否定され、回教徒文化がそれに代つて行はる。特にトルコの政治的壓迫はこの地方が西歐主義を固守するために極度に著しかつた。

三、ブルガリアの再建 トルコの壓制に對しブルガリアは常にその獨立を熱望し、遂に一九世紀に入るや、農民がこの獨立運動の主體となり、一方ロシアのツァー帝國主義の支持のもとに、一八七七年、露土戦争起るやロシアに組して戦後、幾分の政治的獨立を得、ベルリン會議によつてそれが公認さる。以後ロシアの壓迫は避けられるためオーストリアに接近す。一九〇八年に漸くブルガリアはトルコからの完

全な獨立に成功し、獨立國として再建さる。四、大戰後 バルカン戦争にブルガリアは戦ひ、更に世界大戰にはドイツ側に結び、そのために大敗す。一九一九年のヌイー條約によつて全く國の大半は戰勝國に割讓するに到つた。巨大なる賠償金は國富をすべて管理され、國民は貧困のどん底に沈んだ。なほスタンボリスキの農民政府は軍事的ファシスト政府に敗られたが再び勞働者の地方的反亂勃發、一九二六年リヤプチフ政府は農民黨と和協し、且つイタリアとの接近を大にし、再びファシオ的傾向を大に行つた。

II 皇室

國王——ボリス三世 (Boris III)、サクセ・コブルグ及びゴータの王フェルディナンド (Ferdinand) とバルバ公ロバートの長女故マリー・ルイズ (Marie Louise) との長子、一八九四年一月三日誕生、一八九四年父の退位と共に王位を繼承、一九三〇年一月二五日イタリアのヴィクトル・エマヌエル三世の女サヴォイの女王ジョヴァンナ (Giovanna) と結婚。

【皇女】 マリー・ルイズ、一九三三年一月三日誕生。

【皇室典禮】 憲法により王及び皇太子はギリシア正教を奉じ、永久に國內に居住する義務がある。王位は世襲である。

III 政治

A 政治機構 ブルガリアの主權は一八七八年七月一三日に調印されたベルリン條約によつて認められ、一九〇八年一〇月五日に獨立の宣言をなして列強にその獨立を認められ、フェルディナンドが「ブルガリア王」の位にのぼる。憲法は一八七九年に制定され、その後一八九三年五月及び一九一一年六月に修正を経て現在に至る。憲法の規定によりブルガリアは立憲君主國として三權分立制が採用されてゐる。

【首府】 ソフィヤ (Sofia)、人口二一三、一六二人(一九二七年國勢調査)。

B 行政 行政權は國王によつて任命される。内閣に與へられる。ムシヤノフ内閣は(一九三一年一〇月一二日任命され、一九三二年二月三十一日、一九三三年一月一八日一部の改造を経て現在に至る。その各閣僚の顔觸は次の如し。(尙最近ムシヤノフ内閣は鐵相の辭職を契機として瓦解するに至る。詳しくは「政治の動勢」を参照)。

首相兼外相・宗教相 ムシヤノフ (Nicholas Mushanov)

内相 ギルギンフ (Dr. Alexander Gherghinov)

法相 カチアコフ (M. I. Cackakov)

文相 ボヤシエフ (Dr. A. Bojadiev)

商相 ギチエフ (Dimitri Gutchiev)

國防相 キシエフ (Gerard A. Kisiof)

藏相 ステファンフ (Stefan Stefanov)

土木相 ヲイモフ (Vergil Dimov)

逓相 コストウルフ (Stoyan Kosturkov)

農相 ムラウイェフ (Constantine Muraviev)

C 立法 立法權は「ソフラーメン」(Skobranje) と稱する一院制の國會に與へられ、二二

七名の議員より成る。議員は男子普通選挙によつて人口二〇、〇〇〇人に一人の割合で選ばれる。この比例選挙制は一九二七年四月一三日に國會によつて採用されたもので、選挙権は三〇歳以上の読み書きの能力あるもの(僧侶、現役軍人、市民権を剥奪されたもの等々を除く)に與へられる。議員の任期は四年であるが、王によつて何時にても解散が出来る。法律は國會を通じて王の裁可を経て有効となる。領土の獲得及び譲渡、憲法の改正、王の空位、攝政の任命に關する疑義は大國會(Grand Sobanye)によつて決定されるが、この大國會は、特別な目的を以つて通常國會の選挙と同様な方法を以つて選出され、たゞ人員が二倍になる點が異なるだけである。

【現議會】現議會は一九三一年六月二二日の總選挙により選出されたものにして、議長及び各政黨の勢力關係は次の如し。

- 議長—Alexander Malinov(民主黨)
- 國民自由黨 一五六名
- 内譯、農民黨七三名、民主黨四三名、國民自由黨三一名、急進黨一九名
- 民主協調派 六一名
- 内譯、リナブチン派三八名、ザニコフ派二三名
- マケドニア・グループ 八名
- 國民自由黨(シニコフ・グループ) 六名
- 社會民主黨 五名
- 國民農民同盟 二名
- 反政府農民派 二名
- スタムプロロク・グループ 二名
- 無所屬 二名

議員(共產黨員の除名による)

三〇名

二七四名

D 司法 最下級に治安裁判所あり、民事・刑事の小事件の裁判権を有する。縣裁判所が第一審裁判所、死刑及び一般刑の判決を下す権能を持ち、又一種の控訴院としての役をもなす。これら諸裁判所の上に、ソフィア、プロヴディヴ、ルーゼに三控訴院あり、最高裁判所はソフィアにある大審院(Court of Cassation)で、一二名の判事より成る。

E 地方行政 國內は數個の縣(Department)に分れ、各縣には縣會によつて輔佐される縣知事あり、その下に數名の副知事がある。縣内の各自治體にはクメット(Kmet)と稱される市長あり、市會がある。

F 政黨 ブルガリアは小黨分立し、政争が激烈に行はれてゐる。現在各政黨は一九三〇年一月一日組織されたムシヤノフ内閣に對する支持派と反對派に大別し得るが、議會に對しては政府派たる國民プロロク(National Bloc)が壓倒的優勢である。

【國民プロロク】政府與黨たる國民プロロクに屬する政黨としては、民主黨(Democratic Party)・農民黨(Agrarian Party)・國民自由黨(National Liberal Party)・急進黨(Radical Party)の四黨を數へることが出来る。

民主黨—穏和なる中産階級及び知識階級を地盤とし、民主協調派(Democratic Entente)と同一の政綱を有するも、多少進歩的なる特徴とし、現在國民プロロクの指導的政黨である。

黨領袖—Nicholas Mashanov(國會議長、前首相)・Nicholas Mashanov(國會議長、前首相)・Alexander Malinov(首相兼外相)・Alexander Gherghinov(内相)・St. Skelinov(蔵相)・B. Paylov(黨書記長)・D. Drensky

農民黨—主として農民により構成され、元來同黨は一九一九年におけるスタムプリスキイ(F.Dragiev)の指導下にあつた政黨である。對外政策は隣接諸國との親善、國內政策においては廣範なる土地制度改革、國の補助金を以つて農業發展を期するにある。

黨領袖—D. Gutchev(前首相)・R. Muraviev(農相)・G. Jordanov(前首相)・V. Dimov(土木相)・N. Zahariev(前國會副議長)

國民自由黨—故首相ラドスラフヤン(Radoslavov)の進歩的追従者により組織され、現在二派に分裂してゐる。ペトロフ(P. Petrov)の指導下にある同派は反政府の立場にある。

黨領袖—J. Gachakov(法相)・A. Boinaliev(文相)

急進黨—極めて進歩的民主主義を奉じ、對外政策においては民主協調派と同一で、國內政策においては國民投票による國民の直接立法參與、協同組合への國家の補助、貧窮者の救済、婦人參政權を主張する。

黨領袖—Stoyan Kofourkov(鐵相)・Prof. G. P. Ghenov(國會議員)・P. Denev

【反政府諸黨】民主協調派(Democratic Entente)を主とし、労働黨(Labor Party)・國民自由黨(シニコフ・グループ)・シニコフ・グループ(Macedonian Group)・社會民主黨(Social Democratic Party)・國民農民同盟(National Agrarian Union)等あり、各黨の政綱及び指導者は次の如し。

民主協調派—大部分保守的中産階級及び知識階級により構成され、對外政策は國際聯盟との協調、親善外交、國內政策は立憲主義、國家權力の擴大を主張する。現在黨内は二派に分れ、即ちリアブチン派(Liapchev Group)と

ザニコフ派(Zankov Group)がこれである。

リアブチン派領袖—Atanas Bourov(前首相)・Vladimir Mollov(前蔵相)・G. Vassilev(前農相)・Prof. P. Stainov(前鐵相)・St. Mirslanov

ザニコフ派領袖—Alexander Zankov(前首相)・Iv. Roussev(前内相)・D. Christov(前農相)・Chr. Kalfov(前外相)

労働黨—第三インターナショナルのブルガリア支部である共產黨(Communist Party)の後身である。共產黨は一九三三年四月一二日の議會において、その黨員三一名のうち三〇名まで共產黨員として放逐され、從つて現在議會においては無効である。

國民自由黨(シニコフ派)—同派は前首相ニコフ(B. Smilov)の指導下に正統派のそれより保守的、國粹的分子より構成されてゐる。

マケドニア・グループ—ブルガリアのマケドニア地方より選出された議員團により構成され、マケドニアの自治、一般にブルガリアの少數民族の權利、平和條約の修正を主張し、セルビアとブルガリアの協調に反對する。

黨領袖—Dr. Stanshev; Kozma Georgiev

社會民主黨—イギリスの労働黨の政綱と同一にして、穏和なる立憲的社會主義政策を主張し、第二インターナショナルに屬す。

黨領袖—Janlo Sakuzov(前首相)・Krustin Pastukhov(前内相)・D. Neykov

國民農民同盟—農民黨を脱退せるラジカル派にして、反政府の立場にあり、現在七七名の農民派議員のうち僅かに二名を有するに過ぎない。

黨領袖—Kosta Todorov; Al. Obrov; N. A. Tanasov; Chr. Sloyanov

G 外交【國內民族の二重性】ウラル・

アルタイの民族とトルコ民族との交錯があり、長きトルコの支配から獨立し、汎ゲルマニズムと汎スラヴイズムとの對立に苦しみ、世界大戰には中立を宣言したが、遂に一九一九年九月にドイツ側と立つて參戰し敗退後、遂に一九一九年一月にスタムプリスキイは苛酷なるヌーイ條約を承諾す。一九二〇年一月、政府はヌーイ條約を議會にて批准を求め、やむなく承認す。

【國際聯盟との關係】マケドニアはバルカンの橋であり、マケドニア匪徒(コマターヤ)の横行は、一九二二年アカレスト、ベルグラッド、アテネ政府からソフィアに共同抗議され、遂に國際聯盟の理事會に諮る。二五年にも勃發、九ヶ國理事會はギリシアをして償金三千萬レウをブルガリアに拂はしめた。

【接境諸國關係】ボリス國王の結婚は一九三〇年一月に突如行はれ、王妃はイタリア王の第三女ジョヴァンナ姫であり、國民はイタリアとの接近を非常に積極的にした。かくてブルガリアは、ユーゴスラヴィアとの對立が、イタリアの支持によつて更に激化せざるを得なかつた。併し一方に大戰後、ハンガリー、ブルガリア、トルコの三ツラン國民の間にツラニズムの運動が發展し、この聯絡が濃厚にならんとするが、なほそれは微々たるもので、一九三五年初頭のギリシア革命運動に際し、トルコはブルガリアに對して寧ろ對立的關係を示す。これはトルコがギリシア政府軍を支持し、ブルガリアはマケドニアの反亂軍を助けたこととしたためである。かくてバルカンの問題はブルガリアの不滿、孤立による現状打破的行動が最も重要な力となつてゐる。

【イタリアの支持】國際聯盟ブルガリア代表ニコラス・アントノフは三五年三月七日夜、本國

務總長らの急電により、事務局にアヴノール事政府が訪問、バルカンの國際危局に對し即刻調停の措置をとられた旨を要請、覺書を手交す。内容は、トルコ政府がスレス地方へ大動員を行ひ、ブルガリア政府はこれに直接交渉を試みて不調なることを表明す。この要請に對し、トルコ代表ケマル・フスタは同夜、直ちに反駁の聲明をなす。「ギリシア内亂以來、國境増兵はトルコのみでなく、現にブルガリアもトルコに近いギリシア國境に兵力を集中してゐる」と。

しかもこのブルガリアの背後にはこれを常に支持せるイタリア政府がある。かくて七日夜に、「イタリア政府はギリシアの擾亂に鑑み自國の權益を擁護するために機宜の手段を講ずる必要あり、目下右手段を検討してゐる」と聲明す。これによりブルガリアとイタリアとは暗黙の諒解あるものと考へられる。

H 國防 一九一九年一月二七日のヌーイ條約(Treaty of Neuilly)により、ブルガリアの陸軍兵力は義勇兵組織で二〇、〇〇〇人を超えざること、規定されてゐる。いかなる動員計畫も禁止され、豫備軍の編成を防ぐために各階級を通じて服務期間は最少限度一二年間と定められ、士官の服務期間は條約調印當時服務中のものは四〇歳まで、新に任命される士官は少くも二〇年間と定められてゐる。

國境守備隊として義勇兵三、〇〇〇人は許され、又、武装憲兵、警官、收稅官、森林警備隊は一〇、〇〇〇人を超えざること、規定されてゐる。

陸海軍飛行機とも禁止され、武器・彈藥・軍需品の製作は國家管理の下に工場のみ許され、武器彈藥の輸出は禁ぜられてゐる。

一九三三年における現役兵力は士官九九九名、その他の階級一八、九五七名で、八歩兵聯隊

(各三大隊)、三騎兵聯隊(各四中隊)、八砲兵隊(各三大隊)、三工兵大隊及び補助隊より成る。

條約の條項によつて軍艦及び潜水艦すべてを譲渡し、たゞダニェーブ河及び沿海において水雷艇四隻、モーター・ボート六隻の所有を許されたが、これ等の艦艇は水雷發射装置を除かれ、たゞ警察及び漁業保護の任務に當るものとされてゐる。

【軍事費】一九三三—三四年における軍事費豫算は九五九、六一四レヴァである。

I 政治の動勢 ムシャノフ政権は一九三一年一月成立以來、數次の内閣改造を以つて二年有餘半を経過したが、最近鐵相の辭職を契機として之が補缺問題に關し閣内の意見一致せず、一九三四年五月一日總理兼外相ムシャノフは辭表を捧呈するに至つた。こゝにおいて國王は即時マリノフ國民議會議長、其他各政黨首領を招致し、後繼内閣組織に就き下問せられたが、同一七日に至りムシャノフに再び大命降下し、彼は一旦之を受諾したが、偶々一九九日に至りムシャノフの内閣組織は不可能となり、同日クーデター主謀者たるキモン・ゲオルギエフ(Kimon Georgiev)に對して組閣の大命が下り、ゲオルギエフはこれを受諾の上、超然内閣組織に成功した。ゲオルギエフ新内閣の閣員の顔觸は次の如くである。

- 總理兼外相 キモン・ゲオルギエフ
内相兼法相 ミデレフ
相 ベトロ・トドロフ
相 コスタ・パヤチエフ
商相兼農相 ヤナキ・モロフ
文相 ニコラス・ツァンヤリニフ
工相兼鐵相

斯くてクーデターは別に流血の慘を見ずして、政府の授受は平穩裡に行はれた。尙新内閣は組閣當日の第一回會議において中央行政改革の斷行、省の廢合(土木、鐵道を合併して交通省とし、商工農務を合併して國民經濟省とする)、地方行政區劃の改革(現一六州を減じて七州とする)、議會の解散、現議員數の減少(現在の二七四名を減じて一〇〇名に減せんとする)、等々の改革案の斷行を決議した。

【施政大綱の發表】一政黨が分立し内争及び私的葛藤を事とする爲め政黨内閣制は完全なる失敗を暴露するに至つた。

【此の情勢は民衆道徳を頽廢せしめ、國家諸機關の圓滿なる運用を阻害し、深刻なる經濟諸問題に對處すべき安定せる政府の成立を不可能ならしめた。從て政黨政派を超越せる國民政府の成立は不可避的情勢に在つた。今次政變は右の險惡なる情勢を克服して國家再興の血路を開かんと爲る軍閥の支援を得て靜隱裡に決行されたもの、新政府は省の廢合を行ひ州郡の數を減じ、市長を官選して市政の確立を圖り又官吏の身分地位を安定せしめ、豫算均衡及び新財源の創設に依り國家の威信を恢復すると共に、信用制度の改善、特に農業者並小工業者に對する便益を考慮する政府は又農村教育の向上を圖り工業生産を調節し、以て國民眞個の需要に符合せしむると同時に、他方商品の新販路獲得に努め、社會法規の嚴密なる適用に依り失業對策を講ずる。政府は更に學制の根本的改革を行ひ司法事務の簡捷を圖ると共に、官憲の威信の復活に努力し、對外關係特に隣邦關係に就いては平和友好を旨とし且蘇聯邦との國交を恢復するであらう。】

III 經濟

A 財政

ブルガリアの財政は一九二八—二九年には歳入超過となつてゐたが、その後連年歳入超過となつて、不健全狀態をつづけた。それ故漸次財政の緊縮を行ひ、歳入の節約を圖つたが、歳入はそれ以上の減少を來した。財政の健全化は容易に達せられなかつた。

最近の歳出入 (單位千レヴァ)

Table with 3 columns: 年 度, 歳 入, 歳 出. Rows for 1930-31, 1931-32, 1932-33, 1933-34, 1934-25.

(1)決定數 (2)假決定數 (3)概算
一九三〇—三一年の歳入超過

主要穀産物 (1931年度)

Table with 3 columns: 穀 類, 耕作面積(ヘクタール), 産 額(メートル噸). Rows for 小麦, ライ麦, 大麦, 燕麥, 玉蜀黍, 其他(合計).

は一九三一年度は第一次に取入れられつゝある。一九三一年年度の穀類の耕作面積並に産額を示せば別表の如し。その他、果實も豊富で特にクステンディル(Kistenlil)の附近に多く、葡萄の耕作面積は一九三一年に二二四、一六八ヘクタール、葡萄酒は約四七、五〇四、一八三ガロン。綿は一九三三年に三八、九三九ヘクタール、耕作面積五〇、〇二〇ヘクタール。砂糖の産額は一九三一年に二七、九五三メートル噸。甜菜耕作面積は二九、九一五ヘクタール、一九三二年の産額は二七、八二〇メートル噸。バラの栽培は一九三一年に一六、八〇一ヘクタール、エキスの産額は二、三二一キログラム。煙草の栽培は一九三三年五七、五六二ヘクタール、産額一七、五一四メートル噸。繭の産額一九三二年に一、三〇四、四八七キログラム、價格にして三九、一三六、六一〇レヴァ。

過は七七八、一〇〇千レヴァ、一九三一年—三二年には一、〇七八、八一二千レヴァに増加し、一九三二—三三年の假決算では五二八、三四七千レヴァの歳入超過である。

【國債】一九三三年六月三〇日における公債は、外債五六七、六六五、〇六五金貨フラン、二五六、二一一、八四五フラン、三、一一二、二八〇ポンド、一六、九八五、五〇〇ドル、三、六一八、二五〇紙幣ルーブル、總計一九、六四一、五九九、九三二レヴァ。他に未整理外債一〇、六一四、五一六フラン、フラン、一、三九一、八六六、一五、五五三ライヒス・マーク、四七一、四七三金貨イタリヤ・リラ、五五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、二八九、六九五レヴァ。前者整理外債との合計二〇、一一九、八三九、六二六レヴァ。国内公債は六、五二三、四〇一、四五〇レヴァ(整理公債二、四七〇、一三六、八〇〇レヴァ、未整理公債四、〇五三、二六四、六五〇レヴァ)である。

B 金融 ブルガリア國立銀行は、本店をソフィア(Sofia)に置き支店は諸都市にあるが、資本金五〇〇、〇〇〇、〇〇〇レヴァで、國庫の支出、紙幣發行の獨占権を有してゐる。一九三三年八月七日、金保有量一、五二一、一〇二、五八レヴァ、準備金一、一九二、五七九、二三七レヴァ。同日における紙幣流通高二、六四〇、四九六、九〇二レヴァ。又、國立農業銀行あり、農業團體に小額の信用供給を目的とし、資本金は七二六、〇六七、九一三レヴァ。ブルガリア國際銀行は、國際貿易の助成、獎勵のために一九二二年一月一日設立され、元資本七五、〇〇〇、〇〇〇レヴァのうち三〇、〇〇〇、〇〇〇レヴァはブルガリア國立銀行及びブルガリア農業銀行に割當てられ、殘部は外國銀行及び諸團體が引受

けてゐる。他にブルガリア組合銀行(Bulgarian Cooperative Bank)と稱する國有銀行が一九一〇年に創立されてゐる。ブルガリア郵便貯金銀行は五四八あり、一九三二年一月二二日における貯金高一、三四六、〇〇〇、〇〇〇レヴァ。C 貨幣 ブルガリアの流通貨幣は金貨一〇〇、二〇〇、〇〇〇の各レヴァ、銀貨は一〇〇、二〇〇、〇〇〇の各レヴァ、銅・ニッケル貨は一〇、五〇〇、二〇〇の各レヴァ、ニッケル貨は二〇、一〇〇、二、一〇の各レヴァ、ニッケル貨は二〇、一〇〇、五、二〇の各ストテンキ(Stotinki) (サン・タイム Centime)、亜鉛貨は二〇、一〇、一〇、五の各ストテンキがある。レヴァ(Leva)は九二レヴァが純金一グラムに當り、一ポンドは六七三、六五九レヴァに當る。【度量衡】ブルガリアにおける度量衡としてはメートル法が一般に採用されてゐる。【曆】また一九一六年四月一日以來、グレゴリアン・カレンダー(Gregorian Calendar)が強制的に使用されるに至つた。D 生産 【産業大觀】農業が住民の主要職業で、土地は自由保有を許され、地租を拂ふ。地方自治體は牧場と森林地を所有し、地代を拂はず、自治體加入者はこの牧場で牧畜業をなし、木材伐採の權利を有してゐる。ブルガリアの全面積は一〇、三二四、六一七ヘクタール(二五、七八六、五五〇ヘクタール)あり、そのうち一九三一年における耕作地は四、一三〇、一七五ヘクタール(一〇、二〇五、九七五ヘクタール)森林地帯二、九四二、九二二ヘクタール(七、二六二、二五五ヘクタール)(六七二、八〇三ヘクタールは國有、一、六六五、七五四ヘクタールは自治體所有、六〇五、三六五ヘクタールは其他の所有)となつてゐる。【農業】一九二六年の國勢調査によれば職業人口の八〇・〇二%は農業に従事し、その大部分

の情勢は内に重大なる經濟恐慌を藏し、外に政治的孤立あり、内憂外患の甚しきものもあるに拘らず、政治は小黨分立、内訌絶ゆることのない政黨内閣に維持されて來た。斯くて腐敗の極にある政黨政治に倦らざる一部の國粹團は軍隊の支援を得てクーデターを決定し、議會を解散し超然内閣を組織するに至つたのである。從つて今回のクーデターは政黨政府、尙適切に云へば議會主義の濫用に反對する者の示威運動に外ならず、新内閣總理は所謂ツヴェロ派に屬する。同派はユーゴスラヴィアとの協調政策を方針とするが故にブルガリア政府の對外政策も一大轉換を豫想されてゐる。斯くて今日迄ブルガリア諸内閣の脆弱であつたために成功するに至らなかつたユーゴスラヴィア乃至バルカン諸國との接近が實現すべく、新情勢の展開が期待されてゐる。

ルム二、八三六メートル、鹽三、三八〇メートル等である。
【工業】未だ多くは發達してゐないが國家は工業企業を獎勵してゐる。一九三二年一月一日において國家の獎勵金を得て經營されてゐる企業数は一、二六七に及ぶ。

E 外國貿易
ブルガリアの貿易は近年甚だしい萎縮を來した。一九二九年の貿易總額は一四、七二一、六九四千レヴアであつたが、一九三三年には五、〇四八、六〇五千レヴアと約六割の減少となつた。これを輸出の減少と約六割の減少とに分けた。これを輸出の減少と約六割の減少とに分けた。これを輸出の減少と約六割の減少とに分けた。

最近の輸出入

(單位千レヴア)

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Data for 1929-1933.

九三〇年度及び一九三一年度はついでに輸出超過となり、一九三二年は僅少なつら輸入超過にして、一九三三年度は再び輸出超過に轉じた。
【主要貿易品】一九三三年度における主要輸出入品の價格を示せば別表に見られる如く、輸入品においては織物を最高とし、金屬、機械、樹脂及び鐵油等が主なるものである。またその輸出においては煙草が大宗にして輸出總額の四割

主要輸出入品

(1933年度、單位千レヴア)

Table with 4 columns: Import Item, Price, Export Item, Price. Data for 1933.

以上を占め、その他、卵、小麦、玉蜀黍が主なるものである。

【主要貿易國】またブルガリアの國別貿易を見るにイギリス、オーストリア、ドイツ、イタリア、ルーマニア、オランダ、チエコスロヴァキア、スイス等が主要なものである。

F 交通
【道路】一九三二年における國有道路は四、七八五哩、自治體所有道路五、九一四哩、計一〇、七〇四哩に上る。

【鐵道】一九三二年通常軌道のもの一、六四九哩、狹軌二六二哩、總計一、九一一哩に上る。全線國有にして國營、ソフィアは一般ヨーロッパ各線と連絡してゐる。また一九三二年電車は三九哩に上る。

G 通信
一九三二年郵便局数は五七八、電信線(鐵道に附屬せるものを除く)は一、四六七哩、電信局数は五七三、電話線は九、六五九哩、電話局数は六一三である。

V 社會

A 社會構造
バルカン半島のストラヴ系に屬

抗する勢力を結成し、これに對し政府當局はその彈壓に極度の力を盡してゐる。
なほ社會主義運動としては一八九三年に社會民主黨の第一回大會が開かれ、黨内に意見對立し、革命派は社會民主黨を結成し、これより一九一九年五月共產黨が成立し、コミンテルンに加入す。かくて「テスマヤキ」(密集派)は「共產黨」と改名す。以來、國內ファシストと劇烈な鬭争對立をなして、一時の極左的傾向から更に新しき共同戰線の方角に進んでゐる。

VI 文化

A 文化概観
ブルガリア人の民族的起源は不明であるがモンゴルとストラヴ系の混血と一般に認めらる。本來はタタール族の南下せるヴォルガリヤンが今日は北西ヨーロッパ・タイプに統一された混血民族である。トルコ政治の長きためにその文化を多く受け、言語はストラヴ系であり、宗教はギリシア正教を傳ふ。なほその文化は彼等の東方民族なる意識を忘れず、常にその國有文化を強調せんとしてゐる。彼等の國藝文化は天才的であり、薔薇園は芳香、色調、實に燦爛都郁の極みである。なほバルカン山脈の南スローブには「薔薇の谷」と稱せられる長さ一三〇キロ、幅五〇キロの薔薇畑を有してゐる。國都ソフィアは人口一六萬を有し、ローマ時代にセルディカと呼ばれトラヤヌスの時代には文化が極めて繁榮した。なほ近代は戰禍のため都市は荒廢し、國教の大本山たる莊大絢爛たるカテドラルは近年改装されその文化的中心となつてゐる。國民博物館を有し民族意識を強調してゐる。セント・ソフィア寺はビザンツ帝國時代文化の遺跡である。

B 宗教

國教はギリシア正教である。尤も一八七〇年に宗教の自治を要求し、これを獲得するものでありながら、それは常に對立的現象を呈してゐる。民族的にはブルガリア人が八一%を占めトルコ、ツプシー、ルーマニア、ギリシア、ユダヤ人の諸民族が混住す。本來的に農業的社會であり、未だ封建的農業制を多分に殘してゐる。全人口の三分の二は農業に従事す。工業労働者は約八萬人であり、その發達は甚だ振はず。交通機關も微々たるものである。しかも外國資本の投入によるものが割合に多い。農業は、殆んど中小農經營であり、外國貿易は常に輸入超過の現象を有してゐる。なほストラヴ系とドイツ系、東方系との民族的對立が社會現象上に相當強く現はれてゐる。

B 民族運動

モンゴル系のブルガリア民族はトルコとストラヴの兩強國よりの抑壓に常に苦惱し反抗し續けた。特に一九世紀以來、トルコ、オーストリア、ロシア、ドイツ等の政治的進出はこの地方の民族問題に重要な契機を與へた。一八世紀の末には一地方的反亂として國人の反抗が勃發し、以來漸く統一なる民族獨立運動が起る。特にロシアの帝國主義的進出はブルガリアの志士を支持し、國土は反亂と一揆を屢々繰りかへした。ツルゲーニエフの「その前夜」に出るインサロフはブルガリア民族運動の勇敢な志士である。一八七五年にはブルガリア地方に大規模な虐殺事件があり、トルコ兵は三萬二千人の男女を殺戮す。全歐はこれに同情して露土戦争となる。以後、ロシアとは親近せず、一八八五年にはアレキサンダー公等の努力によりブルガリアと東ルーマニアと併合し、ドイツの王族フェルディナンドを迎へ、一九〇九年に民族的獨立運動は公然と完成す。

【ツラニズム運動】

ブルガリアが中欧二強及びトルコと四國同盟を結び大戦に参加したことは一般ヨーロッパの民族運動に重要な一轉機を得せる結果、コンスタンチノーブルの僧正(パトリアーク Patriarch)よりギリシア正教團(Orthodox Communion)外のものと宣言されてゐる。教會は大神教會議(Synod of Archbishops)によつて治められてゐる。僧侶はギリシア正教のもの及び他の諸宗教團のものも共に國家によつて支給されると同時に葬儀結婚等の奉仕によつて報酬を受ける。一九二六年の國勢調査によれば、各派信者数は次の如し。ブルガリアのギリシア正教一四、五六八、七七三人。回教徒一七八九、二九六六人。カトリック一四〇、三四七人。プロテスタント一六、七三五人。ユダヤ教一四六、四三一人。アルメニア・ゲレゴリアン(Armenian-Georgians)二五、四〇二人。其他一、七五七人。

C 教育

初等教育は七歳より一四歳まで義務教育で無月謝。一九二六年の國勢調査によれば、男子の二六・五三%、女子の五三・六〇%は無學である。一九三一—三二年度における學校の統計によれば、全國各種學校は七、五九一校に上り、その教師二九、一六九名(うち男子一五、〇四八名、女子一四、一一一名)、その生徒數九一九、一六二名(うち男子四九九、一五七名)女子四二〇、〇〇五名)である。

D 新聞

ブルガリアは政界が小黨分立して相對立してゐる如く、新聞界も群小新聞が各派に屬して分裂的傾向が顯著である。これ等の群小新聞のうち最大な讀者網を有するものは政黨的色彩を持たない「Dnevnik」(首府ソフィア發行)である。その他、指導的新聞に保守主義の「Mir」(ソフィア發行)、民主黨系の「Zora」紙が數へられる。

E 風俗

一般バルカン諸民族に見る如く、東洋と西洋との混在を表示してゐる。そのためハンガリー人と同じく古のフン族の遺習

を多く残してゐる。一般にブルガリア人は偏平な容貌を持ち眼の幅は狭く、體質はすぐれ、極めて勤勞に耐へる。バルカン半島中最も將來あるものと考へられる。長壽をもつて特に有名である。これは常にヨーグルトを用いるによるものであると、先年メチニコフによつて世界に宣傳される。農民はすべて温情があり手工藝に長じ、園藝の趣味も高い。

自然

A 地理 バルカン半島の東部を占め、北はルーマニアに、西はユーゴスラヴィアに、南はトルコ及びギリシアに接し、東方一帯は黒海に沿つてゐる。

國の中央部をバルカン山脈(Balkan Mts.)が北に緩く南に急に傾いて東西に走り、東西の兩バルカン山脈その他の小山脈に分れてゐる。又主脈の南部には之と平行して國境近くをロードプ山脈(Rhodop Mts.)が東西に走り、この兩山脈の間にマリツァ河に流れる東ルーマニアの豊饒な平原が横はり、その西部には山間に多くの盆地がある。

河川はダニユブ河の下流の一部とマリツァ河の上流のみであるが、ダニユブ河はバルカン山脈の北部斜面の幾多の支流を集めて國境を東流し、北東部に至つてルーマニア國に向ひ、マリツァ河は國の西部のロードプ山脈に發して豊饒な平原を養ひつゝ、東南に向ひギリシアへ流れる。又黒海の沿岸は大部分急壁で縁取られ、良港は稀である。

B 氣候 場所によつて著しく異なるが、土地が黒海に沿ふも地中海に遠く、概して大陸的な氣候で夏熱く冬は比較的寒い。首府ソフィアの氣温は一月平均一度九、七月平均二〇度六、年平均九度九である。降雨は概して五、六、七月

に多く、冬季には少ない。

C 面積 現在ブルガリアの面積は一〇三、一四六平方キロメートル(三九、八一四平方哩)である。一九一九年一月二十七日調印されたヌイー(Neuilly)の平和條約によつて、ブルガリアはトラキア(Thrace)を聯合國に讓渡し、ストルムニツァ(Strumitza)の線及び西北國境の地域をセルビアに讓渡した。ブルガリアはエーゲ海の沿岸を奪はれたが、この海への經濟的出口は條約によつて保證されてゐる。しかし未だその效力を發してゐない。

D 人口 一九二六年二月三十一日の國勢調査によれば人口は五、四七八、七四一(男子二、七四三、〇二五、女子二、七三五、七一六)である。また一九三二年二月三十一日の概算によれば

32

ベルギー

Belgique, Belgien, 獨 Belgium, 佛 Belgique.

立憲君主國

は五、九五六、三〇〇(男子二、九九一、八〇〇、女子二、九六四、五〇〇)にして、都市人口がその二〇・六%を占めてゐる。

E 住民 ブルガリアの住民の種別は一九二六年の國勢調査によれば、ブルガリア人四、四五五、三五五名で、即ち全人口の八一・三二%に當り、他のスラヴ人種が一、二八、七四七名であり、スラヴ人種外の住民のうちではトルコ人が五七七、五五二名あり、全人口の一〇・五四%に當つてゐる。

F 都市 主要都市及びその人口を擧げれば次の如し。即ち Sofia 首府一三三、〇〇二人、Philipolis (Plovdiv) 一八四、六五五人、Varna 一六〇、五六三人、Tuschink (Turgu) 一四五、七八八人。

I 歴史概観

一、古代ベルギーもこの地にはケルト民族が居住し前五年ケザルによつてローマに征服される。四八六年以後はフランク王國に屬し、九世紀以後はドイツ、フランスが相互に勢力範圍とす。後フランドル北方はフランスに、西はドイツの封建諸侯の治下となつた。

二、中世紀 中世紀にはベルギーはニーデルランドの南部地方に屬し、ラインの下流にあつたために商業は次第に發達す。一五世紀には身分代表者會議が實力を握ることとなる。一四世

は、一八八四年以後自由黨は分裂して以後長く舊黨が實權を握る。一八八六年に國王レオポルド二世(一八六五—一九〇九)は即位し、アフリカのコンゴ河上流地方を植民地に獲得、八五年議會は國王のコンゴ私権を認む。一九〇八年同地方はベルギーに併合、一八九三年に選挙法改正され舊黨大勝したが、國民の不平強く、一八九八年、國王は再び選挙法改正を命じ、九九年末比例代表制による新選挙法が生じ、一九〇〇年には舊黨は大打撃を受く。

六、二〇世紀 一九〇二年にはこのために暴動起る。一九一二年の選挙には自由黨、社會黨が勢力を占め、一九一三年には徴兵制度を斷行す。この間に英佛協定の中にベルギーは参加するに至る。一九〇九年、アルベール一世が即位す。一九一四年世界大戰の勃發するや獨佛兩國相絶交し、八月ドイツ軍は中立を犯してベルギーに侵入、ベルギー政府は八月一日アントワープに移り、ドイツに抵抗し、大戰末までル・フアーブルにより、ドイツは大戰中これを統治す。一九一八年ドイツ國內に暴動化あり一月二日アルベール一世は首府ブラッセルに還る。ドイツはベルギーにモネネー地方を割譲、オイベン、マルメデー地方は二〇年七月人民投票によつてベルギーに歸屬す。また一九二一年の賠償委員會にてベルギーはドイツに對し五十六億マルクの賠償金優先權を確保する。

II 皇室

國王——レオポルド三世 (Leopold III) 一九三四年二月二日父王アルバート (King Albert) の奇禍に遇ひ崩御の後を承けて、ベルギーの王位に即く。一九〇一年一月三日誕生、一九二六年一月四日スウェーデンの王安アストリッド姫 (Princess Astrid) と成婚、皇女及び皇子次の

如し。

皇太子——ボドワアン親王 (Prince Baudouin) 一九三〇年九月七日誕生。

皇女——ジョセフィン・シャロット姫 (Josephine Charlotte) 一九二七年一〇一一日誕生。

III 政治

A 政治機構 一八三一年制定の憲法によりベルギーは立憲世襲王國である。立法權は國王、元老院、代議院の三者に屬する。王位繼承は長男相續法により男子直系に存する。然し國王の承認なき婚姻に依る場合には王位繼承權は喪失する。但し兩院の協賛を経て、國王による復權は認められる。國王の如何なる行動も國務大臣の一人の副署が無い限り效力を發生しない。尙、國務大臣は國王に對する副署によつて當該事項に對し責任を取るべき義務あるものとす。國王は議會を召集し、閉會し、解散する。

一九二一年一〇月に憲法の改正が行はれ、元老院も代議院も等しく普通選挙に基いて選出されることになつた。
【首府】ブラッセル (Brussels)、人口八八七、六三三人 (一九三二年一月末日現在)。

B 行政 行政權は一八三一年のベルギー國憲法の第二八條により國王に屬する。國務大臣は國王によつて任命され、議會に對して責任を負ひ、國王に代つてすべての行政を執行する。行政府は大藏、外務、司法、文部、内務、工業労働、運輸、國防、植民、土木、農業、通信の一二省に分れてゐる。

【現内閣】一九三二年一〇月一八日カトリック黨のレンキン内閣 (Mr. Raikim) が財政改革案に敗れて總辭職した後を承けて、同月二二日カトリック黨のド・プロクツァル伯を主班とする内閣が成立せるも、一二月に至り戦債問題に關聯

ストリア王位繼承戰爭(一七四四—一四八)あり、一時フランス領となる。フランスのルイ一四世は工業の發展がベルギーに盛んなるを見て國境地方を侵略す。後オーストリアのヨセフ二世の中央集權は苛刻にすぎそのために却つて反抗を招く原因となる。一七九〇年一月オーストリアに抗してベルギー合衆國の獨立宣言をなす。一七九二年以後フランス革命軍が侵入し、九四年にフランス領となる。

四、オランダ領時代 ナポレオン一世時代にはベルギーは全くフランスと同一であつた。一八一五年ウィーン會議により、ベルギーはオランダと合併され、ネーデルラント王國を建設し、オランダに併せられ、ネーデルラント王國とフランスに對する障壁となす。併し新國家は兩國が各々言語、宗教、習慣等を異にし、容易に調和せず、特にオランダ人が優勢であり、またベルギーの工業がオランダの商業と相矛盾し、その獨立運動激化する。

五、ベルギー王國の成立 斯くて遂に一八三〇年に、オランダの專横に對するベルギー側の反抗となり、獨立運動勃發、一〇月四日ベルギー假政府はオランダより分裂を宣言、翌三一年六月四日フランスとイギリスとの支持により、ザクセン・コーブルク公レオポルドを國王とし、一世と稱す。同一年列國はベルギー王國の永世局外中立を認む。三三年五月二一日、ロンドン條約によつて正式にベルギーはオランダから獨立し、兩國の和解が成立す。獨立後一八四七年までは自由黨、保守派舊黨が交々に政權を握る。自由黨はロージェ、ブルッセル等に代表され、自由主義的政策を實行、外にはナポレオン三世に抗してベルギーの國利を確保す。また國內にはフランド地方の農民とウェロン地方の工業資本家とのかなり深刻な對立を示して

して閣内不一致を来たして短命にして桂冠した。然るに同伯に再び大命再降下したため、一九三二年一月十七日、第二次プロクウェル内閣がカトリック、自由、キリスト教民主主義の連立の下に成立した。一九三四年二月一日、プロクウェル首相は内閣改組を断行し、今日に至る。現内閣の顔組は次の如し。

- 首相 D.プロクウェル (Count Charles de Broqueville) カトリック
- 蔵相 シュスバール (Henri Jaspar) カトリック
- 外相 ハイマンヌ (Paul Hymans) 自由
- 法相 ジョアンソン (Paul Emile Janson) 自由
- 文相 リッペンヌ (Maurice Lippens) 自由
- 内相 ビアローット (M. Piart) 自由
- 工業労働相 イサケル (Philippe van Isacker) キリスト教民主
- 運輸相 フォルトオム (Pierre Fortomme) 自由
- 国防相 デウヘネ (M. Devèze) フランデル
- 土木相 サップ (Gustave Saps) カトリック
- 植民相 ショフエン (Paul Tscholten) キリスト教民主
- 選相 コーウエラール (M. Van Cauwelaert) 自由

C 立法 立法権は國王と議會に屬す。議會は兩院より成り、上院は元老院 (Senaat)、下院は代議院 (Chambre des Représentants) と呼ばれてゐる。

【上院】 上院議員はその任期を四年とし、一部は直接に、一部は間接に選舉される。直接に選舉される議員数は衆議院議員の總數の半數

に等しい。選舉團體は下院選舉と同様である。選舉權は二十一歳以上の男子にして、六ヶ月以上居住せるものにはすべて與へられる。また特定の大戦中その夫を失ひたる寡婦及びその他の特定の子に對しても選舉權が與へられてゐる。上下兩院の議員の選舉は一八九九年一月二十九日の法令により比例代表制の原則が採用されるに至つた。間接に選舉せらるる上院議員は州議會によつて、住民二〇萬に一人の割合で選出せられる。更に十二萬五千の住民を加へる毎に、一人の上院議員を選出し得る。すべての州議會は少なくとも三名の上院議員を選出する權利を有する。現在においては州議會選出の上院議員は四十名である。すべての州選出の上院議員は、その選出に先だつ二年間は自己を指名する州議會の議員でなければならぬ。また州議會の半數の上院議員は上院それ自身によつて各階級の權威者のうちから選出される。この最後の二つの方法による上院議員の選舉にあつても比例代表制が適用されてゐる。すべての上院議員は少なくとも四十歳以上たることを要する。皇子、或はこれ無きとき王室の正系に屬するベルギー王族は十八歳にして上院議員たるの權利があるが、二十五歳に至るまで議事に對する發言權を有しない。

【下院】 下院議員はすべて直接に選舉團體によつて選舉される。その任期は上院と同様に四ヶ年にして、その定員は現在一八七名(一九二五年三月六日の法令により)にして、人口に正比例し、人口四萬人毎に一名以上であることは許されない。下院議員は二十五歳以上の男子にして、現在ベルギーに居住するものでなければならぬ。上院及び下院は年々十二月に開院し、少なくとも四〇日間は續開しなければならぬ。但

し、國王は緊急を要する場合、議會を召集し、同時に、或は別々に解散する權利を有する。解散の場合には四〇日以内に新たな總選舉が行はれ、二ヶ月以内に兩院が臨時に開院されなければならぬ。休會は兩院の協賛なくして一ヶ月を超過する期間に互つて行はるゝことを得ない。豫算案及び軍事費に關する議案の議定權は下院にある。

【現議會】 上院選舉は一九三二年一月四日に行はれ、下院選舉は一九三二年一月二七日に行はれたものである。上下兩院の議長、及び各政黨の勢力關係は次の如し。

- 上院議長 E. Dignef (自由)
- カトリック黨 (キリスト教民主黨を含む) 七五名
- 社會黨 六五名
- 自由黨 一八名
- フランデル國民黨 一名
- 計 一五九名
- 下院議長 Jules Ronolet (カトリック黨) 一八七名
- カトリック黨 (キリスト教民主黨を含む) 七九名
- 社會黨 七三名
- 自由黨 二四名
- フランデル國民黨 八名
- 共産黨 三名
- 計 一八七名

D 司法 ベルギーには大審院一及び控訴院三が置かれ、刑事訴訟を取扱ふ巡回裁判所制度が設けられてゐる。第一審裁判を行ふ地方裁判所は全國に二六を數へる。また全國を二三〇區に分ちて、その各々に治安裁判所が設けられてゐる。その他各種の特殊裁判制度が設けられ、且つ陪審制度も行はる。これ等すべての裁判官は國王の任命による。但し控訴院の所員及び地

方裁判所の裁判所長及び副所長は裁判所及び州議會の各々推薦する二個の「二重名表」(Liste Double) 中より、また大審院の判事は上院議員及び大審院の各々推薦する二個の「二重名表」中より、國王が之を任命する。すべての裁判官は終身官にして、その身分の保證を受ける。

E 地方行政 ベルギーの諸州及び市町村自治體は大規模な自治機關を有し、一九三二年にその數は二、六七〇に及ぶ。

自治體の選舉に關しては、一九二〇年四月五日の法律により、二一歳以上のベルギー人は、同一區内に六ヶ月以上居住せる場合には、男女の區別なく、選舉權を有すと明確に規定されてゐる。そして比例代表制が地方自治體の選舉にも適用され、その議會は六年毎に改選せられる。各自治體には市長 (Burgomaster) 議長、一定數の參事會より組織される行政執行機關が置かれてゐる。

F 政黨 ベルギーの政界はカトリック黨 (Catholic Party)、社會黨 (Socialist Party) の二大政黨が對立し、常に第三黨たる自由黨 (Liberal Party) がキリスト教民主・ポートを握り、政權は多く保守黨と自由黨との連立内閣に握られる。然しこの政黨戦列も國民經濟政策、言語問題、社會立法の問題をめぐつて意見の衝突を來たし、混亂に陥る。その他、國防問題及び教育問題もよく紛糾の原因となる。以下、各政黨の綱領及び黨領袖を列擧する。

【カトリック黨】 現在、兩院における最大多數黨にして、自由黨と聯合して政權を握る。フランデル民主派、ウォールン民主派、保守主義者、國家主義者等の雜多の分子の集りたるも、教會に對する忠誠といふ點において約束を堅め、中産階級及び保守主義者の利益を代表してゐる。對外政策においては、平和諸條約及び賠償規定の確保、國際聯盟との協力を主義とする。國內政策においては、カトリック教會の利益の保護のために、宗教學校經營に對する國家の補助、公立學校における宗教教育を主張し、且つ社會改良、適度の國防、婦人參政權を唱導する。カトリック黨と協同してゐるキリスト教民主黨 (Christian Democratic Party) はカトリック労働階級の政黨であつて、カトリック教徒に屬する労働者の社會黨から引離さんとして社會改良の政綱を掲げてゐる。

【社會黨】 フランデル派とウォールン派との二派より成る反教權主義的な改良主義政黨である。對外政策においては、第二インターナショナルの綱領に賛意を示し、國際聯盟、軍備縮小、自由貿易を擁護する。國內政策においては、鑛山、保險會社、發電施設の國有化、資本の課税、工場管理に對する労働者の參與、社會及び失業保險、強制職業教育、小住宅建築に對する政府の補助、労働者の税負擔の低下、等々をその政綱とする。

黨領袖 — Emilie Vanderveide (前外相)、Daniel Hysmans (前學藝相)、現アントワープ市長)、Edmund Anseele (前選相)、Louis de Bro-

外交 【一九世紀】 一八一五年ウィーン會議にてベルギーはオランダと合併せしめられフランスに對する防壁となる。併し國內の工、農の矛盾は一八三〇年の革命となつてベルギーはフランスとイギリスとの支持の下にオランダから獨立す。ロンドン會議(一八三〇-一三一年)によつて獨立が承認さる。かくてベルギーは最初からイギリス、フランスに對し外交的政治的に親密であつた。

【世界大戰】 一九〇八年ベルギーはアフリカのコンゴに植民地を獲得、世界大戰には中立を宣して間もなく、ドイツ軍の侵入に遭ひ、英佛協商と結んで大戰に参加。大戰中ベルギーの殆んど大部分はドイツ軍に占領さる、このために國內の疲弊は極度に達す。

【フランスとの提携】 大戰後フランスとの共同外交は一層密切となつた。平和條約締結後、舊聯合國とドイツとの間の諸問題に關し、種々英佛間に對立が生じた際にも常にフランス側に味方す。

【エスコー問題】 ベルギーの唯一の國際問題はエスコー河の事件である。アンツワール、即ちアントワープは國際的貿易港であり、エスコー河の北海の河口フリシゲンから九〇キロメートルの奥にある。しかも河口は幅五千二百米に達する一種の入江であり、この兩岸の大部分がオランダ領となつてゐる。エスコーはベルギー建國以前、一八三九年の條約以來の問題である。これによつてウィーン條約を認め、ベルギーは多大の經費を商港に向け、オランダはこれを利得するまゝであつたが、一八六三年買収條約を結び、千七百四十四萬一千六百六十ギルターにてエスコーの水路権をオランダから買収。大戰勃發後、オランダは中立しながらもドイツに便宜を與へ、同港はドイツに占領され、一九一八年の休戦後も、オランダはドイツに對する好意を示した。かくてエスコー河問題は依然として未解決のままに一つの難問題として殘されてゐる。

【最近のベルギー外交】 大戰後は世界平和工作のためにアルベール皇帝は全力を盡し、佛獨の對立を緩和し、その矛盾を拒否することに大いなる功績を示す。特に國際聯盟に對しては重要な役割を示し、戰後の經營に著しい展開を示したが、やがてナチスの勃興と共に佛獨間の對立は益々深刻化し、この間に立つて皇帝は非常なる苦心をなした。遂に三四年二月十七日、山嶽登攀の際、過まつて崩御せられたことは世界平和外交上、重大なる損失と云ふべく、今後のベルギーの立場は今日の急迫せる歐洲政局の上の一の決定権を有する如く思はれる。

【國防】 【陸軍】 一九二三年通過の「陸軍條令」(Military Law)により、ベルギー陸軍は毎年聯隊召集兵と義勇志願兵によつて補充せられる。陸軍兵は以上の聯隊召集兵とては義務的である。而して義勇志願兵は一七歳のものは五ヶ年、一八歳のものは四ヶ年、一八歳以上のものは三ヶ年とする。

一九三三年における陸軍兵力は海外陸軍を除き下士官五、〇二五名、士卒八九、〇〇〇名である。而して同年度の陸軍軍費は八七三、二六二、〇七三フランに上る。

【空軍】 ベルギーの空軍勢力は陸軍のうちに含まれ、二飛行聯隊あり、七氣球隊、一三飛行隊より編成さる。

【海軍】 ベルギーは現在經濟的理由により、嘗て組織されてきた小海軍を廢止してゐる。イギリスより讓渡されたスループ艦 Vinia 號(一、二〇〇噸)は現在漁業監視船の役目を行つてゐる。

III 經濟

A 財政 大戰以來ベルギーの財政は極端に悪化した。歴代の内閣によつて銳意財政の改善が試みられて来たが、財政は困窮する一方に於て、且つベルギーのフラン貨は墜落に墜落を重ね、大戰前英貨一ポンドに對して二五フランであつたものが、遂に二四〇フランまで下落するに至つた。この間に於いて一九二六年五月、財政改革と經濟界の安定とを使命としてカトリック黨、社會黨、自由黨の三大政黨より成る舉國一致内閣は徹底的財政整理に着手するに至つた。即ち、政費の節約、公債償還基金の設

定、税法改正を斷行した。ベルギー財政の痛である公債に對する償還基金の財源として、増税により年額約一五億フラン、國有鐵道を七五ヶ年間に互つて民間會社の經營に移し、その權利金百億フランを基金に繰入れることとなつた。

この結果、ベルギーの財政状態は著しく改善され、且つフラン貨安定のために二千萬ポンドに上る海外浮動公債が契約され、著しくフラン貨の安定を助成するに至つた。一九三二年五月に至り、ベルギーの財政を根本から建て直すために、緊急財政獨裁法案が上下兩院を通過した。

即ち同法案は政府に對し、(一)課稅率並に俸給額を變更し、(二)國家財政の均衡を恢復し、以

最近の歳出入 (單位百萬フラン)

年度	歳入	歳出
1930	11,561	11,850
1931	11,685	11,976
1932	9,091	12,117
1933	10,297	10,708
1934	9,863	10,384

註 以上の統計表の數字はすべて通常會計豫算に依る。國民の債權を保障する非常權に附與するに至つた。

銀行等がある、

C 貨幣 ベルギーの貨幣單位はフラン (Franc) にして、純金〇・〇四一八四二グラムを含む。一八八二年以來金貨の鑄造は、一九一四年の五百萬フランの鑄造を除き、中止せられてゐる。また一八七六年以來五フラン銀貨の鑄造も行はれない。

一九二六年一〇月二六日、ベルギー・フラン貨は政府の對策が效を奏して安定し、ベルギー國立銀行の紙幣はすべて金及び對價の外國通貨を以つて支拂はれることとなつた。そしてベルギー (Belg) と呼ばれる新貨幣單位が採用され、一ベルガは純金〇・二〇九二一グラムに等價である。一ベルガは五紙幣フランに等しく、三五ベルガは金貨一ポンドに等しい。然し現在に至るもフラン貨は依然として金貨制度の基礎にして國內に流通し、すべての國內の交易の媒介物である。一九三〇年においては五フラン、即ち一ベルガの新ニッケル貨が流通するに至つた。

また二〇フランのニッケル貨が最近鑄造されるに至つた。ベルガ貨の使用はすべての外國爲替取引において強制的に使用せられてゐる。通貨安定の必要な資金を得るために約一億ドルに達する浮動公債が一九二六年に設定せられるに至つた。

【度量衡】 ベルギーの度量衡としてはメートル法が採用されてゐる。

D 生産 【産業大觀】 ベルギーにおいては工業人口と農業人口とが殆んど等しく、工業がこの國の經濟部門において極めて重要な地歩を占めてゐる。ベルギーにおける斯くの如き近代的工業の發達はその鑛産の豊富、特に石炭と鐵の埋藏量が極めて多いことに由來してゐる。

現在、ベルギーは完全な工業國である。即ち、その國民經濟は工業製品の輸出によつて維持され

【主要歳入】 歳入の主要なるものは直接税、關稅及び内國消費税、印紙税である。直接税は歳入總額の約三分の一を占め、國民に對して頗る重い負擔を與へてゐる。

項目別歳入 (1934年度)

項目別	(單位1,000フラン)
直接税	3,057,250
關稅及び消費税	2,868,295
印紙税	2,836,600
郵便収入	400,000
その他(すべて項目を含む)	9,863,360
總計	9,863,360

註 以上は通常會計豫算の數字による。

【主要歳出】 ベルギー財政において最も重い負擔となつてゐるものは公債費である。一九三四年通常會計豫算において、總支出約百億フランのうち約四十億フランが公債費である。總支出の約四割を占めてゐる。公債の項において後述する如く、ベルギー財政において如何に公債が重い負擔となつてゐるかは明かである。その他、教育費、社會保險費、國防費等が主要な支出項目を爲すもいづれも總額の一割前後を占めてゐるに過ぎない。

項目別歳出 (1934年度)

項目別	(單位1,000フラン)
公債費	4,147,792
司法省費	291,577
教育費	1,041,751
木事業費	239,583
社會保險費	894,512
國防費	869,356
その他(すべて項目を含む)	10,384,206
總計	10,384,206

註 以上は通常會計豫算の數字による。

【國債】 一九三三年九月三〇日現在、ベルギーの國債は總計五七、六二七、四五〇、〇〇〇ベルギー・フランに上る。うち内國長期債二八、六

式銀行、私立銀行、農業銀行、信用組合、庶民

種類別輸出入額 (1933年度、単位千フラン)

Table with 3 columns: 種類 (Category), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows include 畜産品 (Livestock products), 食品及飲料 (Food and beverages), 原料品 (Raw materials), etc.

大西洋より中央ヨーロッパ諸国への要路を占めて通商貿易が盛んに行はれてゐる。これ等の貿易は、通商貿易が盛んに行はれてゐる。これ等の貿易は、通商貿易が盛んに行はれてゐる。

最近の輸出入 (単位1,000紙幣フラン)

Table with 3 columns: 年度 (Year), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows for years 1929, 1930, 1931, 1932, 1933.

註 1933年度は暫定数とする。

は主としてアントワープ港において行はれる。また一九二二年ベルギーとリユクサンブルとの間に締結され、且つ一九二二年修正された協約により、兩國間に完全なる経済同盟が成立し、關稅障壁は廢棄せられた。

主要國別貿易額 (1933年度、単位千フラン)

Table with 3 columns: 相手國 (Partner country), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows include フランス (France), ドイツ (Germany), オランダ (Netherlands), etc.

リカに對しては輸入超過である。F 交通【道路】一九三二年度における道路は、国道五、四四八哩、州道九八〇哩、私設道一三哩、合計六、四四一哩に及ぶ。

【主要貿易品】その輸入品は工業原料品を最大とし、一九三三年度においては總輸入額の約半額を占めてゐる。即ち、七〇億フランの原料品の輸入に對して工業製造品の輸出が七五億フランに上つてゐるといふ事實は、ベルギー工業の發達及び同國經濟界の堅實性を指示するものでなければならぬ。その

てゐる。即ち總輸出の半額以上は工業製品で占めてゐる。その他、總輸出の三割五分以上が礦産物等の原料品によつて占められ、礦業もベルギーの重要産業の一つである。また農業も極めて盛んに行はれ、耕地は全國土の六割に達し、著しく集約的にして、その收穫率は世界第一である。これは國土の狭小と、化學肥料工業の異常な發達とのために外ならない。

主要農産物 (1932年度)

Table with 3 columns: 作物別 (Crop type), 面積 (Area), 産額 (Production). Rows include 小麦 (Wheat), 燕麥 (Oats), 甜菜 (Sugar beets), etc.

【畜産業】農業と同様全國各地に盛んに行はれ、一九三二年度における糧秣の植付けは全耕地の四〇・九%に及ぶ。また林用の甜菜の栽培は盛んにして、一九三二年度にはその栽培面積は二〇八、三七一ヘクタールにして、その産額は六、一八三、〇六一メートル噸に上る。一九三二年一月末日現在における家畜飼養数は馬が二三八、〇一二頭、牛が一、七八四、四四六頭(うち

石炭の産額 (単位メートル噸)

Table with 3 columns: 種類 (Type), 1932, 1933. Rows include 石炭 (Coal), 焦炭 (Coke), 従業員 (Employees).

註 1933年度は概算数による。一九三三年度におけるその産出量は石炭二千二百萬噸、焦炭四百萬噸、従業員は一三萬人餘に上る。

鐵の産額 (単位メートル噸)

Table with 3 columns: 種類 (Type), 1913, 1933. Rows include 鉄 (Iron), 鋼 (Steel), 銅 (Copper), etc.

また鐵の産も極めて多く、石炭の豊富と相俟つてベルギーをして世界有数の工業國たらしめてゐる。従つて製鐵工業の發達は目覺ましく、世界最大の産鐵國の一つである。一九三二年度における鉄の産額は一、三三二、六七二、〇〇〇メートル噸に上る。また鋼の産額は二、九七一、二六〇、〇〇〇メートル噸に上る。また亜鉛の埋藏に富み、特にオイベン地方に多く、またドイツより割讓された地方に豊富なる鐵區あり、亜鉛製造業を盛大ならしめてゐる。

乳牛は九四一、八一四頭、豚が一、二四四、六五四頭である。

【鑛業】ベルギーは古來石炭の産出において有名である。同國においては石炭紀層が千三百平方哩の地域に亘り、上部及び中部ベルギーにおいて特に豊富である。

一九三三年度におけるその産出量は石炭二千二百萬噸、焦炭四百萬噸、従業員は一三萬人餘に上る。

一九三三年度におけるその産出量は石炭二千二百萬噸、焦炭四百萬噸、従業員は一三萬人餘に上る。

【工業】石炭と鐵とに富む結果、ベルギーにおいては近代工業が著しく發達してゐる。殊にリエージュを中心として大冶金工業が盛大に行はれ、機械類、兵器、機關車、各種鐵道用品、自動車などの主要製作國を成してゐる。またベルギーは古來ヨーロッパ織物業の中心地にして、中世においてもカン、ブリュージュ、イーブル等は紡績の大中心地であつた。また化學工業盛んに行はれ、ガラス製造業は特に優秀なる製品を以つて名高い。

その他、一九三一年度の統計を見れば、粗糖工場四〇、その生産高一九〇、八四六メートル噸、精糖工場三、その生産高一四四、三五六噸、蒸餾工場三二、飲料用及び工業用アルコールの生産高一八、三七七、四六四ヘクタール、醸造工場一、四九四、そのビール生産高一八、三七七、四六四ヘクタール、リットル、人造バター工場一六、七、四六四ヘクタール、二、九二二噸、醋酸工場五〇、その生産高一四三、三九六ヘクタール、リットル、マッチ工場一五、その生産高五九、九八三萬個である。一九二六年一月三日施行の工業調査に従へば、一〇人以上の労働者を使用する工業會社は一三、〇八二を數へ、その全労働者は一、〇八〇、三三一人に及ぶ。うち男子八七四、三〇九人、女子二〇六、〇二二人である。また有給職員は九六、五六七人を數へ、うち男子八四、三〇九人、女子一、五六二人である。

【船舶】一九三三年七月一日におけるベルギーの所有船舶は二二二隻、四五六、二〇七噸にして、うち汽船は一七五隻、三九三、〇九四噸に上る。一九三一年におけるベルギー各港に入港せる船舶は一七、五五五隻、二七、七九三、一四一噸にして、出港せる船舶は一七、四八六隻、二七、六五一噸である。ベルギー最大の港灣はアントワープ(Antwerp)にして、これ等の出入船舶の半數以上はこの港に出入港せるものである。

また内陸水運は概して平野に富むためよく發達し、一九三〇年においては河川及び運河を合計して一、〇三六哩に及ぶ。

【航空】ベルギーにおける航空輸送は極めて活潑に行はれてゐる。主要な航空路はブラッセル、オスタンブール、アントワープ、リエージュ、ル・ゾートの間に行はれてゐる。

【通信】郵便局は、一九三一年末において、一、七〇三局を數へる。同年度における郵便物取扱数は一般封書三三三、八六〇、〇〇〇通、公用封書六六、三〇三、〇〇〇通、葉書八九、〇八八、〇〇〇枚、印刷物四〇二、〇八一、〇〇〇通、新聞四二二、四五七、〇〇〇通に上る。

一九三一年度における電信發信数は九、八九九、二六四通にして、うち二、三三三、六五四通は公用電報である。公設電話線は六、二二二哩にして、その餘線は三一、六八八哩に上る。

電話局は一九三一年において四六一局あり、公衆電話四九五、加入者二二七、〇〇〇人に及ぶ。電話線は一、六一七、三三三哩にして、うち都市間連絡電話線二二三、四三六哩、地方電話線一、三一七、四九四哩、國際電話線六五、四二三哩に及ぶ。その呼出回数数は二二三、四七七、〇〇〇回にして、うち長距離三一、〇三三、八二八回を含む。

V 社會

A 社會構造 ベルギーは世界一の人口密度一平方キロメートルにおける人口約二五〇人を示し南方にはワロン人多く、北方にはフランドル人が多数である。言語の状態はフランス及びフランドル両語を語るものが約九七萬、フランス語のみが二八五萬、フランドル語のみが三二〇萬、フランス語とドイツ語を約四萬六千、ドイツ語のみは約一萬七千人である。

【職業人口】一九二〇年の國勢調査による職業人口は次の如し。農業四七、六五八、漁業二、九〇六、工業一、四六六、六四六、商業及び運輸業五六六、三四〇人、自由職業一、一六〇、一七九人、官公吏一七三、〇三七人、僕婢一六〇、〇八一一人。

B 階級運動

【ベルギー階級運動の展開】一八七二年エドワ・アンゼールはカン市に労働階級の生産消費金融等の組合機關を作る。一八八〇年頃にはヴールイ(Vooruit)と呼ばれるまでに發達す。現在では全国的に支部があつて三十萬の労働者を加入せしむ。また一八四五年頃に労働組合(Syndicats Ouvriers)が結成され、發展して「労働者同盟」(Commissie Syndicats du Porti Ouvrier)を形成す。更に純政治的なる「社會主義労働同盟」(Ligue Ouvrière Socialiste)が結成された。

【現狀】ベルギー労働黨は一八八五年結黨、當時は定員一二五名中三〇名の議員を有したのみであるが、一九二五年の總選舉には一八六名の定員中、カトリック黨と同数の七八名を得た。党内にはヴールイの創設者アンゼール、ラ・フォンテニス、ヴァンデルヴェルデ等の有力者を有し全國の黨員は約七〇萬と云はる。更に第三インターナショナルのベルギー支部(Section

Bolchevisme)を構成する共產黨は、一九二一年まで労働黨内にあつたが、同年九月に分裂す。併し未だ顯著なる發展を示さず、一九二五年四月の總選舉には總投票二、〇八〇、二六四の中、労働黨八二〇、一四八、無産黨は三四、一四九である。ツヤクモットを中心指導者とし、一九二七年、黨員千五百を數へる。更に三二年には一萬七千人の黨員がある。同年夏の礦山ストライキの後、二ヶ月間に一、一五六人の黨員を増加し、三二年の選舉には七萬票を獲得す。

C 労働組合 一八四八年革命の影響にて少數の労働組合が結成されたが永續せず、一八六〇年代に協同組合運動が起きた。一八八一—五年にカン、ブラッセル、リエージュ、シャルルロワ等に労働者消費組合が成立、一九一三年シエマツの協同組合會議に到つて始めて大組合作に發達すべき條件を備へた。その現狀は生産に従事してゐる一八〇萬の労働者、三〇萬の俸給生活者及び官吏、二〇萬の農業労働者の中、五二萬はアムステルダム・インターナショナルに屬する改良主義的組合に組織され、二〇萬はカトリック労働者同盟に、四萬五千人は中立的組織に、五千人がプロフィンタルン加盟の「労働騎士團」に組織されてゐる。

【新労働綱領】一九三三年一月二四—五日、労働黨は特別大會をブラッセル市に開催、ベルギー労働組合評議會も参加、かねてアンリ・ド・マン博士の作製せるベルギー労働運動の「労働計畫案」を承認し、これを労働黨及び労働組合評議會の根本方針と定む。その主旨は、經濟機構そのもの變革を目標とせるもので、社會化の要求をなすにある。社會主義實現への第一歩として混合經濟制度の樹立を主張す。私的經濟と公的經濟との併存を認め、金融、

が、これにては不十分なりとし、これに對抗すべき新方法を考究し、その決議によつて、失業保險制度の國營の敢行と一週三六時間制度實施が要求された。

VI 文化

A 宗教 國民の大部分はローマン・カトリック教徒であるが、現在では國勢調査において信仰の調査を行はなため、正確な數字は不明である。一九二九年の僧侶數を見るに、ローマン・カトリックの高僧八六名、普通僧侶六、一八六名、プロテスタント牧師三五名、イギリス教會牧師九名、ユダヤ教牧師一七名がある。

B 教育 大學はブラッセル(Brussels)、ルーヴァン(Louvain)、ガン(Ghent)、リヘーシユ(Liège)にあり、最後の二校が國立である。又一九二三年にはアントワープの植民學校が熱帶藥學學校を合併して植民大學となつた。特殊學校としては工業及び商業の高等學校三一、アントワープに美術學校あり、農業研究學院二、國立國語學校一、デザインの學校六、國立音樂學校四があり、高等教育には國立のアシニアム(Athénium)二四、特殊アシニアム二〇、自治體及び地方のカレッジ五、私立のカレッジ一〇、高等中學(Free-schools)八があり、中等學校には國立のもの一四四校、自治體及び地方中學一四校、私立五校、小學校は一九三二年末八、五八二校、生徒數九五、五六〇人、幼稚園四、〇三三校、児童數二五二、二四八人、無學者教育學校一、二八四校、生徒數三四、〇二二人、師範學校八、一八四校、生徒數八、九八九人、高等師範學校七校、學生數三七二人。尙その他私立の學校あり、多くは宗教學校で、その正確な數は調査されてゐない。各自自治體は少くも小學校一校を設立しなければならないことになつてゐる

が、その經費は自治體の負擔であり、國家及び州の補助金が與へられる。【圖書館】一九三二年の全國圖書館數は二、三八八、その藏書數四、三三〇、七八二巻及び教科書六四九、五五八巻、貸出數八、二〇七、四三三巻に上る。

C 藝術 【音樂】 古くはニードラントの音樂であつて、ラティン音樂或はゲルマンのそれを強く反映したものであつた。中世紀より近世にかけてベルギー音樂は殆んど他國の模倣の上にあつて、未だ獨自なる形式を創造しなかつた。一八三〇年に至りベルギー王國が獨立して以後、漸くその新しい音樂の表現に進んだ。王國はゲルマン系のフランドル人とラティン系のワロン人との結合であり、この兩民族の綜合に新しい形式を作出せんとしたが、併し兩者はなほかなり明かな對立を示してゐた。フランドル派はドイツ音樂の傳統を表はし、ゲツヴェルト(Gesellschaft)を代表的なものとし、一流の音樂史家であり、また作曲家でもあつた。彼と對立するベーター・フノア(Peter Benoit)は大オラトリオの作曲をなした。彼の弟子にオペラ作曲家のブロックスがあり、現アントワープ音樂學校長のモルマン・タルマン(S. Morante)がある。今日の作曲家にはギルソン(Gilson)があり、その新しきポリフォニーの交響樂は最も卓越せる和聲法を示す。またヘルベリクス(Herbier)は尖鋭なる感覺の奔放なる表現を試みる。その他にルブルン(Lubertus)、ヤック(Beck)、ルンヤン(Lunens)、ヴァン・メッフェル(K. van Niffler)等の作曲家を出す。ワロン派はフランス系であつてサミュエル(Samuël)によつて始められた。デュボン(Dupout)はピアノ作曲家であり、ユーベルタイ(G. Hubert)は歌謡作曲家である。現代は主として

最近の失業者數

年度	全部失業		部分失業	
	實數	%	實數	%
1927	11,112	1.8	23,763	3.9
1928	5,385	0.9	22,293	3.5
1929	8,462	1.3	18,331	3.0
1930	23,250	3.6	50,918	7.9
1931	79,186	10.9	121,890	16.9
1932	161,458	19.0	175,259	20.7
1933	167,189	17.0	170,023	17.2

註 以上の數字は失業保險統計によるものにして、1933年12月現在の失業保險者は980,405人に上る。

獨占化する重要産業等は公的經濟に屬するもので、その部門毎に委員會(Commissariats)を設け、私的經濟には獨占的資本制度の干渉妨害を防護する。信用の國有化、基本産業の國有、運輸機關の組織化、私有制度の合法化、政治改革を表明す。

D 失業

ベルギーにおいてもヨーロッパ工業諸國におけると同様に、最近失業問題がその政治的にも、經濟的にも、社會的にも重大な問題となりつゝある。失業保險統計によれば、一九三〇年を契機として別表に見られる如く、失業者の數は急激に増大し、一九三二年以降には更にその傾向が拍車かけられてゐる。一九三三年現在において全部失業者一六七、一八九名(全數の一七・二%)、部分失業者一七〇、〇二三名(全數の一七・二%)に上り、失業保險者總數の約三分の一までが失業者であるといふ驚異的數字を示してゐる。

斯くの如き失業者の増大に對してベルギー労働組合評議會は一九三一年以來、國內の失業對策確立のために臨時大會をしばしば開催した。ベルギーの失業救済は從來カン制度の下に行は

セザール・フランクの影響の下にギヨーム・ルキュー(Guillaume Lécuyer)の天才を見る。更にテオ・イザイ(Théo Ysaie)の天才はベルギーの大なる誇りである。その他にヴリユル(Yvelin)、ヨンゲン(J. Jongen)等がある。歐洲大戰によりベルギーは大いに荒廢して音樂の發達を著しく妨げたが、今日それを急激に恢復せんとして新しい綜合主義者(Synthetists)の一運動があり、これにシューメーカー(M. Schoemaker)、ブート(Poet)、ルネー(R. Bernier)等がある。

【美術】 初期美術—ベルギー美術はフランドル美術にその起源を有す。始めビザンティン様式を受け、一四世紀の市民生活の發達と共に畫家のギルト生ず。一五世紀前半にヴァン・エイク兄弟の出現によつてフランドル繪畫の獨立を見る。兄のユベールはカンで制作し、弟のジャンはバヴリア、ブリュージュに居り、宗教感情と肖像畫を發達せしむ。以後ダレ、ロシェール、ウェーデン等を門下に持つ。更にハンス・メムリング出でて風景の背景を作る。中期美術—次いでフランドル繪畫の第二期にあつたのはブロッツは聖ビエール寺に「最後の晚餐」の傑作を描く。以來イタリヤ繪畫の影響大となり、一六世紀にはフランドル自身の特色を失はんとしたが、一六世紀の後半ルーベンスの出現と同時に俄かにフランドル美術は世界的水準に達した。豊麗絢爛な肉體感と生命感とは稀に見る最高傑作を生んだ。更に彼の門下にヴァン・ダイクは師と反對に沈靜端嚴な内面的深化をなし、またジョルダーンは貴族生活に非ざる市民農民の風俗を描寫した。同門のフイトがあつて動物畫を能くした。ブレイは精密なる海邊風景を畫いた。一七世紀に入つてはマニエリスム・プリル、弟のバウル・プリルが風景畫の傑作を出し、共にイタリヤ美術の影響大であり、アント

が、これにては不十分なりとし、これに對抗すべき新方法を考究し、その決議によつて、失業保險制度の國營の敢行と一週三六時間制度實施が要求された。

が、その經費は自治體の負擔であり、國家及び州の補助金が與へられる。【圖書館】一九三二年の全國圖書館數は二、三八八、その藏書數四、三三〇、七八二巻及び教科書六四九、五五八巻、貸出數八、二〇七、四三三巻に上る。

が、これにては不十分なりとし、これに對抗すべき新方法を考究し、その決議によつて、失業保險制度の國營の敢行と一週三六時間制度實施が要求された。

ワープに制作したが、後ローマに行き、そこで客死するに至つた。以来フランス美術は寧ろイタリア美術の移入にのみ力を致した。

後期美術—一八世紀にフランス美術は衰微し、これに代つてフランス美術の積極的な模倣により古典主義の傾向に進んだ。ダヴィッドの弟子のナヴェー (François-Joseph Navez) がアカデミーを主宰し、その弟子からは更にローマン主義美術の発展を示した。ポルタエルス (Portalis) が代表的な後継者となる。なほ古典主義に反対するワッセル (Folde Charles Wappers) はアントワープにその運動を起し、またそれに影響せられてガレー (Louis Gallait) が歴史画を描き、ルーベンスへの復興が見られた。更に一八五一年クルベールの作品がブラッセルに展覧されたためにリアリズムの様式がベルギー繪畫に發達するに至つた。エ・ブラーケレー (Henri de Braecker) の市民生活の寫實、スタッパール (Jean Stobaerts) の家畜の描寫、シャル・ド・シラル (Charles de Groux) の風景畫の展開を示した。一八六八年ブラッセルに「自由美術協會」(Société libre des Beaux-Arts) が設立、「自由美術」を機關紙として發行す。賛助員にはボードレール、コロ・クールム、ド・ミエ等が名を列ぬ。反アカデミズムを主張し、工場畫や労働者を描寫せるコンスタンタン・ムニエ、都市生活の裏面を描破せるフエリシヤン・ロープス等の畫家を生む。この運動に刺戟されて更に一八七六年に「エッサー・クラブ」(Essor Club) が組織された。

現代美術—更に印象主義の移入と共に「美的自由」(Libre esthétique) の名の下にサロンを毎年開く。外光派にリッセルヤング (Th. van Rysselberghe)、雨の畫家ヴォグエル (G. Vogels) 等がある。なほ神秘的傾向を有するマンネ (George Minne)、ヤルメック (Constant Permeke) 等も有る。

す。ベルメックは表現主義的傾向に近づく。

【建築】近代建築—ベルギー建築はフランス建築の影響を常に強く受けてゐた。これがオランダ建築のドイツ様式との著しき相異を示す。ベルギーでは自由市の發達が早く外國との通商繁きたために、その經濟上の富有が建築にも強く反映す。ベルギー建築はゴシック建築にも強く源を有してゐる。トゥールネー本寺、ブラッセル本寺、アンヴェル本寺等の高壯なる大寺院を建つ。特に著しく高い鐘樓を建てた。この他に商業の發達のために市廳建築、そしてブリエーヌのペフロアの高塔、ガン市廳、ルーヴェーン市廳等は著名なるものである。また一三—四世紀にかけてイブール取引所が美しく建てられたが、歐洲大戦に壊滅に歸す。なほ市廳前にギルト組織の金融、會合、取引等に用ひられるギルトホールが建設され、ブラッセルのそれはその代表的なるものである。次にルネッサンス時代にはフランス風と同時にイギリス様式が採用された。アンヴェル市廳は一六世紀に建てられ、ケープルの裝飾に重點を置く。

一九世紀時代—一九世紀に入つては復興主義が盛んとなり、ブラッセルの國立歌劇場や國立劇場がその様式によつて建設された。一九世紀のヨーロッパ最大の建築物は白堊の石造建築なるブラッセルの裁判所である。なほイギリスのウィリアム・モリス派の運動に刺戟されてアー・ムーボールの新建築運動が盛んとなり、現代建築の基礎をなすものである。ブラッセルのアー・ムーボールの住宅、商店がアンカーやオルタ等の建築家によつて非常な流行を示すに至つた。特にヴァン・ド・ヴェルドの新様式建築は一九世紀末の最も特異なる進歩形式を表現せるものである。

現代建築—現代のベルギー建築はヴァン・ド・

ヴェルドがドイツに歸國して以來、一時沈滞したが、歐洲大戦以後全く一變し、特にオランダの新建築の影響の下に新建築運動が起り、盛んに新人の輩出を見た。都市の建築は主として直線的な新様式を採用しモダニズムの明朗性を表はさんとし、これにはスウェーデルマン、ホーベン、エググリー等の新建築家の出現となり、更にそれを一歩進めてヤム・曲線美によるファンタステイクな傾向が次第に見えてゐる。ベルギーの本質を表出するやうに見える。

【文學】中世紀文學—國內にはフランス語とフランス語の兩語が通用し、そのために二語系の文學が發達す。フランス系文學は早くから存在し、Gautier de Saint-Eulais といふ詩はフランス語文學の起源をなす。一二世紀頃よりフランス語は教養ある階級に使用さる。中世紀には宮廷やブラバン王侯の宮殿にフランス語文學が發達す。フロワサル (Henri van Troyen) コーミンヌ (Flandre Commynes) 等の諸作家が出で、なほプロヴァンヌにはエ・アノー (Colin de Hainaut)、シャートルラン (Jastelain) 等の作家があつた。

近代文學—一五世紀に全歐に文名を振つたジャン・ルメール・ド・ベルジュ (Jean Lemaître de Belges) はフランス文學に多大の影響を與へた。一七、八世紀には一般に文學は古典研究に入り、主としてラティン文學の復興、解釋等に入つて創作活動は振はず。一七七二年、オーストリア女王マリア・テレエズがその文化愛好のためにブラッセルに科學、文學のアカデミーを設立し、今に至るまで殘存してゐる。

一九世紀文學—一九世紀には國民的政治運動に伴ひ、漸く文學も再び獨自なる方向に進出し、こゝに一八八〇年に至り眞の文學復興の運動が勃興す。「若きベルギー」(La Jeune Belgique) といふ雑誌は、この運動の中心となつた。

igné) をマックス・ヴァレネ (Max Waller) が中心となつて創刊し、これによつてボードレールのナルナシヤンの運動を始め、シンカン (Yvan Gikin)、「モーゼル」(Henri Maibel) 等が出て、更に「青島」によつて世界の戯曲界に王座を占む。モーテルリント (Maurice Maeterlinck) の形而上學的、中世紀的雰囲気濃厚に漂はせた理想的象徴戲曲は當時の自然主義戯曲に極めて力強い對立として出現し、超現實的存在の美しき幻影を表現した。この他に彼の知友のローテンバック (Georges Rodenbach) の繊美なる詩情は最高の藝術性を示す。

現代文學—更に現代の小説家としてはガルーニエ (Georges Garnier)、「グルムネー」(Edmond Glanier)、「オフェル」(Van Hoffe) 等の諸作家を生み、また詩壇にはドミニク (Jean Dominique)、「ロー (Georges Malow)」、「ノトム」(Pierre Notomb) 等の詩人を出し、また劇壇にはクロムドランク (Crommelynck)、「マチュナ」(Marguerite Duterne) 等があり、なほ又藝術批評にはヴァン・ゲット (Maurice Wilmotte)、「ヴァン・ユン」(Firmin Van den Bossche)、「ドゥワー」(Paul Devaux)、「ロシエ」(Roger)、「ピカール」(Picard) 等の激刺たる論者を出してゐる。

D 新聞—ベルギーにおける新聞は、その言語がフランス語とフランドル語とに分れてゐる如く、この兩語系統の新聞に分けられてゐる。日刊新聞ではフランス語新聞は二七紙を數へ、

フランドル語新聞の九紙に比較する時、壓倒的に優勢である。

【フランス語新聞】この系統に屬する «L'Éclair» (首都 Brussels 發行) はベルギーにおいて最も廣汎な讀者網を有する新聞にして、政黨的色彩はなす。これに次ぐフランス語新聞に自由黨系の «Le Matin» (首都發行)、「獨立の La Meuse」(Liège, Brussels 發行) あり、その他 «L'Indépendance Belge» (首都發行) は自由黨系にして、外交、經濟、外國ニュースに特色あり、船隻及び市場關係のニュースに權威を持つてゐる。また月刊の «Flambeau» (首都發行) は自由黨系に屬し、外國の諸問題に就いて權威を持つてゐる。

【フランドル語新聞】この系統に屬する新聞紙のうち «Gazet van Antwerpen» 及び «Nieuwe Gazet» の兩紙が有名にして、兩者ともアントワープにて發行され、前者は民主的カトリック派に屬し、フランドル語新聞のうち最も著名なるものであり、後者は自由主義的色彩を有し、アントワープ地方において廣汎なる讀者網を持つてゐる。

E 言語—ベルギーは人種的に北部はチュー・トン系、南部はラティン系に屬し、北部の住民は多くフランドル語 (Flemish) を使用し、南部の住民はフランス語を使用する。

一度三三分である。

B 地勢—ベルギーはニデルラントの一部で、一般に土地低平であるが、北面に低く、南東に至るに従つて高起し、地勢上之を上・中・下の三區域に分けることが出来る。上部ベルギーはマース河及びその支流サンフル河 (Sambre) とが一直線に北東より南西に走り、この一線によつて限られた右方一帯の地で、これと接近するフランス、リユクサンブル、ドイツのラインラントと共に、主としてデボン紀の粘板岩より成り、歴史時代に大森林地帯たりし地方で、ベルギー中最高の地域に當る。中部ベルギーはマース河の北西岸からブラッセル附近までの地域を言ひ、アルダンヌ地塊の北西斜面に厚く發達した第三紀層と、その上を諸所に被覆する第四紀層とからなる起伏の多い丘陵乃至臺地より成つてゐる。下部ベルギーは、シエルト河流域を中心として西北海岸地帯及び北部オランダ國境附近、即ちフランドラスとカム・バインの兩地を含む地域で、一望の低原をなし、オランダの如く土地の沈降著しく、海面以下の低地もあり、發達した砂丘と築堤によつて漸く海水の侵入を防いでゐる。砂丘はフランスよりオランダまで連續し、運河排水溝が整然と排列し、この下部ベルギーはヨーロッパ中でも最も豊沃な地域に屬する。河川はマース河及びミニューズ河を主要なものとする。

C 氣候—概して溫和で、オランダと大差なく、その大部分は北緯五〇度と五一度の間に於いて比較的暖く、海洋に面して灣流の恩恵に浴して、二度二、七月一八度三、年平均一〇度三で、この國の大部分の平均氣温はこれに近い。一體に西風多く、濕潤で濃霧が多い。たゞ東部及び南東部に至るに従つて稍々大陸性を帯び、乾燥し

てゐる。 D 面積・人口 ベルギー本國の面積は總計三〇、四四四平方キロメートル(一、七五二平方哩)で、オイベン(Eupen)及びマルメーディ(Malmédy)の兩郡はヴェルサイユ條約によつてベルギーに譲渡され、一九二五年三月六日リエージュ州(Liège)に合併された。人口は一九三

州別面積・人口

Table with 4 columns: 州 (Province), 面積 (平方哩) (Area), 人口 (1932年末) (Population), 一平方哩当たり人口 (Population per square mile). Rows include Antwerp, Brabant, Flanders, etc.

二年末の推計によれば八、二二三、四四九人で、密度は一平方哩六九九人、自然増加は三六、六〇九人である。

E 住民

國民は、北部はフランドル系、南部はラテン系に属するが、甚だしく混血して殆んど區別することが出来ない。一九三〇年の調査による在留外國人數は、ドイツ人二、七四九人、フランス人七〇、二〇一人、オランダ人六四、〇七九人、イギリス人一一、五三二人、ポーランド人四八、八四〇人、イタリア人三四、八九〇人で、他の外國人も加へた總計は三二六、九八二人である。

を掃せんとする。かくてロシアは益々積極的にポーランドを企てるに至る。

四、ポーランドの分割 プロシア王フリードリッヒ二世はロシアの南進を抑へ、ポーランドに勢力を擴大するために、ロシアにポーランド分割案を提示、オーストリアもこの議に賛成、一七七二年、普・奥・露三國の第一回ポーランド分割を實行。プロシアはポーランド領プロシヤの大部を、ロシアはドゥヴィナ、ドニエプル兩河以東、オーストリアは東ガリシヤ地方を獲得す。ポーランド人はこれに反抗したが武力のため屈従す。志士は世襲王國として國運恢復に努めたが、露帝カタリナはこれを内外から壓迫、一七九三年プロシヤと第二回分割を實行。ロシアはポリニヤ、リツアニアを取り、プロシアはポゼンの大ポーランド地方を奪取す。ポーランド志士コシチュシコ等は、一七九四年獨立軍を興したが、大敗し、一七九五年普・奥・露の三國はポーランドの残部を全部分割す。

五、獨立運動 ナポレオン治下に、舊ポーランドの一部はワルソー大公國として復活、一八一五年、ウィーン會議にて大公國を廢し、大公國をもつてポーランド王國を造り、ロシア皇帝が王位を兼ね、一八三〇年ワルソー中心の獨立暴動があつたが、ロシアのために平定され、自治權を失ひ、ロシアの一州と化す。シヨパンの悲劇はこの時代の反映である。諸國亡命の志士は獨立を企て、一八六三―四年に反亂を起し、益々國內は抑壓されるに至つた。

六、世界大戰 世界大戰前ヨセフ・ビルズスキ元帥は自由主義の旗の下にポーランド獨立の反亂を起し、シベリヤに追放され、大戰勃發するやオーストリア軍に加入、ロシアを攻撃、一〇月の大革命により、獨・奥の兩軍とも戦ひ、ワルソーに還つてポーランド共和國を建設に努

ち一六、五〇八人はヨーロッパ諸國へ、一、七七八人はヨーロッパ以外の諸國へ、入國者數二六、一一二人である。

F 主要都市 一九三二年末における人口五萬以上の都市を挙げれば次の如し。ブラスセル(Brussels)一八八七、六二三人(郊外も含む)。アントワープ(Antwerp)一八二二、六五一人。ガント(Ghent)一六九、六四八人。リエージュ(Liège)一六五、一六九人。メクラン(Mechin)一六一、四四人。ボルゲルハット(Borghout)一五五、九八五人。ブルゲス(Brugge)一五二、五七一人。

G 植民地 ベルギーは植民地としてアフリ

33

ポーランド

Rzeczpospolita Polska, 英 Poland, 獨 Polen, 佛 Pologne.

立憲共和國

I 歴史概観 一、建國時代 史上には明確に定め難いが、紀元九六〇年にスラヴ人によつて建設される。ポーランド王國はムシユカ王によつて統治される。王はボヘミヤの王女を妃とし、ビヤスト朝を創む。カシミル王の時、國勢大いに振ひ、都をクラカウに定め、以來一六世紀まで國都となる。一二世紀の初蒙古の大軍は南露の西に侵略、ポーランドを蹂躪す。シレシヤのハインリッヒ二世はこれと戦つたが全滅、ポーランドの損害は莫大に上つた。カシミル三世は一時ポーランドを再興したが、一三七〇年、舊ビヤスト王朝亡ぶ。

二、リツアニア王朝 次いでリツアニア(ス

カに白領コンゴ(Belgian Congo)を領有する。その面積は九二〇、六〇〇平方哩にして、本國のそれの約九〇倍にあたり、その人口は九、五八四、九三六人(一九三〇年概算)にして、本國のそれより約百萬以上多い。その他、白領コンゴの接隣する舊獨領ルアンダ(Lunda)及びウルンディ(Urundi)の兩地方が大戦の結果、委任統治地としてベルギーの支配下にある。この地方の面積は合計二〇、五〇〇平方哩、その概算人口は三、四五〇、〇〇〇人になり、現在白領コンゴと同一行政區に置かれてゐる。(以上ベルギーの植民地に就いて詳しくはアフリカ篇の「白領コンゴ」を参照)。

力す。 七、ポーランド共和國の建設 斯くてフランスはこれを支持し、ウィルソンの民族自決主義はこれに好意を示した。また一方、聯合國に對しても好意を有せざる農民政派のモラチエフスキが政府を作つたが、一九一九年の政府は力を失ひ、パリからのパテレスキはベルズスキの下に首相となり、一九二〇年サウエト・ロシアと戦ひ、フランス兵の援助の下に赤軍を敗り一〇月に休戦、二年講和條約が結ばる。ポーランドは不滿にて一九二三年二月國際聯盟の決定として、二〇年の大使會議を正當とした。ポーランドは以來國境の不安に苦しみ、一九二一年にはベルズスキの國民自由黨が第一回總選舉にて力を失ひ、辭職せんとしたが、全國民これを止め、首相パテレスキは却つて辭職す。以來彼は苦境に立ちながらも、獨裁制を否定して飽くまで議會主義により大統領たることを好まず。二六年、首相兼陸相となり國力の發展に努力す。併し財政は良好でなく、二六年にはアメリカから財政顧問を招く。その後國勢は次第に盛んとなり、ベルズスキも遂にファッシズムの合法化を行ひ、漸くその獨裁化を成す。

II 政治

A 政治機構 ポーランドは世界大戰と革命の結果、一九一八年一月九日獨立宣言後、同月十四日ベルズスキ(Prisudzi)が最高執政官となり憲法議會を召集す。斯くて翌一九一九年六月二十八日に至リヴェルサイユ講和條約はポーランド獨立を承認す。共和國憲法は一九二一年三月一七日、下院により採用され、次の如き根本條項より成る。即ち、男女兩性を問はず下院二一歳、上院三〇歳以上のもの選舉權を有し、普選比例代表制を採用す。立法權は上下兩院に

ラヴ系)の太公はポーランド王となる。リツアニアの勢力大となり、北はバルチック海に、南は黒海に達す。ポーランドも國力進み、文化大いに發達し、ヤゲロ王治下に黄金時代となり、近代天文学の祖で、天體運動の科學認識を定めたコペルニクスも國都クラカウ大學で研究した。一六世紀には英王ジギスムント二世の時、リツアランドを獲。この後、貴族専横となり王嗣なきために選舉王國となる。一七世紀末葉にはフランスと結び、大いに國威を振ふ。

三、衰退時代 一七世紀スウェーデン王チャールズ二世はワルソーに侵入、なほロシアはポーランドの内政に干渉。ポーランド貴族は一七六八年露土兩國の不和に乗じ、ロシアの勢力

所屬し、大統領は下院の召集、開會、閉會の權限を有す。その後、一九二六年八月、憲法改正行はれ、現在に至る。 一九二六年八月の憲法改正による現行憲法によればその政治機構は次の如し。即ち、大統領は内閣の決議に基づき下院の解散權を有し、下院解散より次期召集までの九〇日間に法令發布の權限を有す(但し解散後九〇日以内に總選舉を行ふ)。通常議會は毎年一月以前に召集し、豫算案は九月より翌年一月までの期間下院において論議せらる。もし一月に至るも該案通過せざる場合には政府の提案がそのまま有効となる。大統領は平時においては軍の最高司令官にして、外交大權を有し、その任期七年、上下兩院合同の國民議會に依りて選出される。大統領死亡のときは國民議會議長がその職務を代行す。ポーランド市民は大統領の被選舉權を有し、大統領は政治上個人的に何等の責任なく、重要な法律はすべて各省大臣の副署により行はる。市民の權利義務に關しては信仰、言論、結社、職業の自由を認め、法律の前には各人平等であり、自國語尊重を規定す。

憲法改正には議會における五分の三以上の同意を要す。兩院は二五ヶ年目には必ず一回憲法がその時代に適應するや否やを審議し、多數決を以つて憲法改正を行ふことを規定す。 一九二二年七月二十八日の法律により、下院選舉區を六四區、上院選舉區を一七區に分ち、下院議員數四四四名、上院議員數一一一名とす。

【大統領】 イグナツ・モスチツキ (Prof. Ignacy Moscicki)、一八六七年一月一日誕生、ベルズスキ獨裁政權の支持の下に一九二六年六月一日七ヶ年の任期を以つて選出され、一九三三年五月八日再選される。任期は一九三三―四〇年間とす。

【首府】ワルソー(Warsaw of Warszawa)人口一七七八、二二一人(一九三二年國勢調査)。

B 行政 行政権は大政事會(Pada Ministrow)と稱せられる内閣がこれを行使し、下院に對して責任を負ふ。

【現内閣】一九三三年五月一〇日、エドモ

- 首相 アヌン・エドモセウイチ (Janusz Jędrzejewicz)
外相 ヴェック (Joseph Beck)
蔵相 ザアウマンキー (Ludwik Zajączkowski)
法相 ミカロスキ (Oskar Jasziński)
内相 プロシヤキー (Bronisław Pierucki)
商工相 ザルマスキ博士 (Dr. Ferdynand Zarzycki)
農相 クルローンキー博士 (Dr. Bronisław Nakonecznikow Klukowski)
交通相 マックローウイチ (Ing. Michał Darczyński)
宗教相兼文相 マックローウイチ (Michał Jędrzejewicz)

【現議會】現上院(任期五ヶ年)は一九三〇年一月二三日の選舉により、現下院は同じく一月一六日の選舉により選出されたものにして、兩院議長、及び各黨派別選出議員数は次の如くである。

上院議長—Władysław Raczkiewicz (超黨派

Table with 2 columns: Party Name and Number of Members. Lists various political groups and their representation in the parliament.

下院議長—Casimir Switalski (超黨派同盟)

D 司法 一九二八年の共和國憲法は大統領令により普通裁判所の編成を規定し、翌二九年一月一日に裁判所の統一計られ、同年三月の改正を経て現在に至る。新刑法は一九三二年九月一日より施行せらる。最高裁判所としては八一人の判事と四〇人の検事を有する大審院が首

府ワルソーにある。大審院は民事部、刑事部の二部よりなる。このほか各州に五五〇州裁判所(County Court)あり、判事一、七七〇名を有し、小事件を取扱ふ。又巡回裁判所(Circuit Court)あり、州裁判所よりの上訴に當る。巡回裁判所よりの上訴を取扱ふものとしては八控訴院(判事二〇名、検事四一名)を有す。

構成要素—超黨派同盟の中堅を爲すものは在郷軍人團にして、その他、その主要構成分子はValery Slavak 大佐(前首相) Alexander Pysator (前首相) Casimir Switalski (下院議長) Jędrzejewicz (首相) Adam Koc 大佐(下院議員) Miedziński 大佐(下院議員) Polakiewicz 大佐(下院議員)等によつて指導せられてゐる。ループ、ピルツスキの民主主義者グループ、Bobrowski 及び Samikowski の指導下の政府支持派の社会主義者(左翼)の社会黨員、J. Radziwill 公(下院議員)、Targowski 及び Stecki (上院議員)の指導下にある大地主階級の利益を代表する保守派グループ、W. Wislicki によつて率ひられるユダヤ人グループ、P. Pomyński によつて率ひられるウクライナ人グループ、Bjorko、Kielak 及び Gwizdz の指導下のピルツスキ支持の農民グループ、Ewert 及び Makowski の指導下にある同じくピルツスキ支持の労働者グループ、等々である。

【農民黨各派議會クラン】(Parliamentary Club of Peasant Parties) ユダヤ人派(Polish) ヌヤノキ派(Wyzwolenie) 農民同盟(Peasant Union) の三黨の聯合よりなりしが、現在は農民

黨各派議會クランとして單一政黨となり、下院に四一名の多數の議員を送つてゐる。而してその政綱としてはピルツスキ派は富裕な農民階級を代表し、土地改革を支持す。これに對してウイッソネ派は農業労働者、小地主の間に勢力あり、政教分離を主張する。また農民同盟は急進農民分子の間に勢力を持つ。

【農民黨各派議會クラン】(Parliamentary Club of Peasant Parties) ヌヤノキ派(Wyzwolenie) 農民同盟(Peasant Union) の三黨の聯合よりなりしが、現在は農民

諸國はポーランドの文化、国力發達を阻止するため極力之れに對するに壓迫政策を以つて臨んで来た。特に一九一五年獨逸大軍のポーランド國境侵入に加ふるに、ロシアの革命軍は首府ワルソーに侵入した。この戦亂の結果、ポーランドの國土は全く荒廢に歸し、世界大戦の結末を告ぐるやヴェルサイユ平和會議によりその獨立共和國たるを承認せられしも、その後の國政は極めて困難なるものがあつた。

ナ市をリツアニア首府と規定したので、兩國間の事態は益々險惡に陥り、この打解のため國際聯盟が乗出さざるを得ざる事態に至り、ウィルナ市民の一般投票によりその歸屬を一氣に解決せんとしたが、リツアニア政府不賛成のため現在では聯盟としてこの問題は成る可く兩國の直接交渉に任せんとする態度に出てゐる。

に反し、一方ウクライナ共和國內には又社會主義から離反してポーランド人と共に非社會主義的獨立共和國を建設せんとウクライナ人が居る故、兩國何れもその國境住民を中心にして係争を續けて来た。これに對して第一回ポーランド共和國ビルツスキー新政府は一九二〇—二三年において國境問題に關する紛争協定の結果、リツアニアと締結して一先づ小康を得るに成功した。しかるにその後一九二八年には波ソ兩國間に、(一)ソヴェット公使暗殺事件、(二)第三回ボナナショナル第六回大會におけるブハリリンのポーランド誹謗事件、(三)ポーランド駐在ソヴェット通商代表暗殺未遂事件、等々により兩國關係はしばしば緊張を呈するに至つた。しかるに最近に至り兩國政府間に自發的安全保障條約の締結が見られ、ソヴェットの勧誘へ應じてポーランドはモスコにおいて不戰條約實施議定書に調印してゐる。爾來ポーランドは歐洲資本主義諸國のソヴェット赤化政策の緩衝地帯として歐洲政局の上に極めて重大なる地位を有し、その中に英佛外交が混入し、フランスのドイツ包圍外交の一環として重要な役割を有しつゝ、複雑多岐を極める外交的地位に運命附けられて来たのである。

【ウィルナ市歸屬問題】 ポーランドの對リツアニア關係においてはウィルナ市(Vilna)の歸屬問題が未解決のままである。元來ポーランド、リツアニアは一聯邦を形成してゐたが、大戦の結果各々獨立國となるに及んで兩國をめぐつてのウィルナ市歸屬問題がこゝに現出したわけである。一五世紀時代には同市はリツアニアの首府であつたが、ポーランド・リツアニア合併後、ポーランド人は漸次勢力を占めるに至り、遂に一九一〇年の統計によれば全人口一八二、〇〇〇人のうち、ポーランド人九七、〇〇〇人の過半数を有し、これに反してリツアニア人僅に二二、〇〇〇人を有するにすぎなかつた。ウィルナ市歸屬問題解決のためポーランドは一九二七年一月二月國際聯盟理事會の決議により一九二八年三月ケーンニヒスベルク、同年五月コヴノにおいてリツアニアと協議したが、その結果は不調に終り、且つリツアニアはその新憲法の中にウィル

【對ソヴェット關係】 ポーランドとソヴェットとの係争點はウクライナ民族問題に集中されてゐる。現在ウクライナはソヴェット聯邦内の一獨立社會主義共和國であるが、しかし兩國國境のポーランド地方には約四百萬人のウクライナ人が居住して、ポーランドから獨立してウクライナ社會主義共和國に加入せんとする意向強き勢力を占めてゐる。

【憲法改正】 斯くてビルツスキー政權は政權獲得後直ちに一九二六年八月には憲法を改正し、大統領の權力を増大し、その後一九三三年以來、更に再度憲法改革を意圖して以つて大統領の權限強化及び上院の改造を遂行せんとしたが、憲法改正に必要な三分の二の多數を下院に制することが出来ず、遷延に遷延を重ねて来たが、一九三四年一月二六日に至り、反對派議員の一齊退場を機會として、憲法改正法案を一氣呵勢に採決し、ビルツスキー萬歳と國歌合唱裡に憲法改正が行はれた。

獨逸公使及びノイラート獨逸外相は不侵略協定に署名した。尙前記通信社は今次の協定は昨三三年秋、波獨接近の目的を實行したものである旨を明かにし、一九三三年一月一日リツアニア駐獨逸公使及びヒットラー獨逸宰相會談の結果、兩國政府は兩國間諸問題を直接交渉に依り處理し、兩國間の關係に於いては力に訴へない決意を定めた旨公表したが、爾來この意向を實現する爲商議を重ね、漸く二六日、本協定に署名するに至つた旨附言してゐる。その協定の内容は兩國政府の聲明に依れば、その骨子を次の七項に見ることが出来る。

【軍事費】 一九三二—三三年陸空軍費豫算は七九一、九七〇、〇〇〇ツロイ(Koty)、海軍費豫算は四〇、六八〇、〇〇〇ツロイ、計八三二、六五〇、〇〇〇ツロイに上る。

- 一、ケロッグ條約の原則を波獨關係の基礎とし、其の原則を之に適用せんとするものなること。
二、今次の聲明は兩國が他國と約束せる義務と矛盾するものに非ざること。
三、國內問題に關係なきこと。
四、兩國間諸問題を直接交渉又はその他の平和手段に依り解決して強力に訴へざること。
五、右の兩國間平和確保の努力は兩國間諸問題の解決に好果を齎らすべきこと。
六、延て歐洲一般の諸國に對し好果を齎らすべきこと。

【政治の動勢】 ポーランドはその建國以來、戰禍のため国力疲弊して、財政困難を極め、一時フランスを始め、英米の財政的援助を得て小康を見たも、一九二五年の秋以來再び激しい經濟的、財政困難に襲はれ、失業者は増大し、國內は政治的、經濟的、社會的不安に襲はれた。

七、實施期間は一〇ヶ年なること。
H 國防【陸軍】 一九二四年五月二三日の法律により國民皆兵主義を採用し、兵役義務年限を二一歳より五〇歳までと規定す。即ち服役年限は二九ヶ年間、現役二ヶ年、豫備役一八ヶ年、四〇歳以下期限一〇ヶ年の地方軍(Territorial Army)へ編入される。平時においては共和國大統領が統帥大權を有す。その他、一九二六年一月二五日の法令により大統領は國防委員會(Committee of National Defence)を設置し、首相、國防相、内相、外相、藏相、陸軍

【ベルツスキー獨裁政權の確立】 斯かる政局不安裡に成立せる舉國一致内閣も翌二六年四月に至り難局に堪へずして退却し、次いでヱイトス内閣がその後繼内閣として出現せるも、政局不安去らず、遂に同年五月一二日に至り、共和國建設の功勞者ヨセフ・ビルツスキー(元帥)(Jozef Pilsudski)のクーデター行はれ、元帥は部下を率ひて首府ワルソーに侵入し、遂に獨裁政權を樹立して、自己の輩下のモスチツキー(Moskietki)を大統領として、議會權力及び既成政黨を彈壓して獨裁政權を確立し、現在に至つてゐる。

A 財政 ポーランドは歐洲大戦によつて最も甚大な破壊を受けた地方の一つである。獨逸占領軍のために、或は戦後のポリシェウイキの侵入のために、殆んど荒廢に歸した土地が少なくなかつた。この荒廢に歸した土地及び工業の復興のため、戦後新しく成立したポーランド政府は財政状態を無視して復舊事業に着手しなればならなかつた。斯くて國內の復舊事業は、一先づ完成せらるゝも、その結果通貨の膨脹を招來し、國家の財政は危殆に瀕するに至つた。一九二三年、議會は政府に一定期間の間、財政獨裁權を附與し、一九二四年に徹底的な財政改革が斷行せられ、爾來、ポーランドの財政は著しく

最近の歳出入

(單位百萬ズロテイ)

Table with 3 columns: Year, Income, Expenditure. Data for 1930-31 to 1934-35.

註 (1)は豫算に依る。

る。年々多額の歳出超過に苦しみ、國民は租税の重課に苦しんでゐる状態である。

一九三三—三四年の歳出超過に苦しみ、國民は租税の重課に苦しんでゐる状態である。

【國債】一九三三年一月三日現在の内債は五四〇、二二一、〇〇〇ズロテイ、外債は四、五一四、二三五、〇〇〇ズロテイにして、その公債總額の九割までは外債によつて占められてゐる。

【金融】法令により設立されたポーランド銀行(Bank of Poland)は一九二四年四月二十八日に營業を開始するに至つた。

改善せられるに至つた。然しポーランドの財政状態はその後ともいへども依然として

〇%まで保證準備を必要とする。保證準備不足の場合、同銀行はその不足額に應じて高率となる特別税を支拂ふ義務を負ふ。

【貨幣】ポーランドの貨幣單位はズロテイ(Zloty)にして、一ズロテイは一〇〇グロス(Grosz)である。

【度量衡】ポーランドにおいてはメートル法が採用されてゐる。

【生産】産業大観】ポーランドの産業は大戦によつて完全に荒廢に歸せしめられた領土から復興して來たものである。

【林業】ポーランドの森林面積は非常に廣大で、一九三一年には八、三二二、四三三ヘクタールに上り、同國の主要産業の一つを成してゐる。

【鑛業】ポーランドは極めて有用鑛物の埋藏に富む。石炭及び石油を最大として、天然ガス、岩鹽、ボタシウム鹽、鐵、亜鉛の産が少くない。

【工業】ポーランドは石炭及び石油の燃料に恵まれ、その他有用鑛物が豊富なため、工業發展の素地を完全に具へてゐる。

主要農作物

(1931—32年度)

Table with 3 columns: Crop, Area (hectares), Yield (tons/hectare). Data for Wheat, Rye, Oats, etc.

【畜産業】極めて盛んに行はれ、畜産物は同國の主要輸出品である。

主要鑛産物

(單位メートル噸)

Table with 3 columns: Mineral, 1932, 1933. Data for Coal, Oil, Gas, etc.

【工業】ポーランドは石炭及び石油の燃料に恵まれ、その他有用鑛物が豊富なため、工業發展の素地を完全に具へてゐる。

最近の輸出入

(單位千ズロテイ)

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Data for 1929 to 1933.

【外國貿易】一九二九年を最高として爾來ポーランドの外國貿易は年々著しい激減を示してゐる。

工業地域は國の西南部及び中部にある。これ等の地方にはその主要な燃料及び動力資源が集中されてゐる。

一九三二年一月一日現在、ポーランド繊維工業は綿工業においては、紡錘一、八〇九、〇二六個、織機四七、二四三個にして、羊毛工業においては紡錘七二、七四〇個、織機一五、二九一個に上る。

【外國貿易】一九二九年を最高として爾來ポーランドの外國貿易は年々著しい激減を示してゐる。

に對して、輸出においては一九二九年の二億...

主要輸入品

Table with 4 columns: 品別, 数量(トロン), 單位(千ツイ), 價額(千ツイ)

主要輸出品

Table with 4 columns: 品別, 数量(トロン), 單位(千ツイ), 價額(千ツイ)

コ、ア等を主なるものとする。

【主要輸入品】 ポーランドの主要輸入品は、棉花、化學製品、羊毛、金屬及びその製品、機械類、皮革等...

物、化學製品、豚、ライ麦、大麥、砂糖、種類等を主なるものとする。
【國別貿易】 その貿易相手國を見るにドイツ、イギリス、アメリカ合衆國を最大とする。

港の繁榮を奪はんとする勢にある。一九三二年に同港に入港せる船舶は三、六一〇隻、二、八三一、六〇〇噸にして、出港せる船舶は三、六〇四隻、二、八三八、六〇〇噸に上る。

動は極めて執拗なるものがあつた。露領ポーランドの一八三一—一八六三年の獨立反亂は激烈を極めたものであつた。...

A 文化概観 一九一八年の獨立宣言以來、

新興文化の建設に積極的な展開を遂げてゐる。大半は農民生活者であり、亡國の間は搾取に苦しみ非常なる苦惱の生活を送つた。...

育は無月謝にして、初等教育は義務的である。一九三二—三三年度における共和國の全學校は次の如し。小學校一、二六、八三八校、その教師七、九、二五〇名、生徒四、五一〇、六三一名。...

フランス文化の模倣が著しい。一九世紀に入り分割の悲運は國人に對して著しい感激を強制した。かくてローマン主義文學が澎湃として勃興した。小説のシェンキウイッチ (Sienkiewicz, 1845-1910) の世界的天才は「火と剣」「大洪水」「英雄ミカエル」の三部作より一六四七年から七四年の國民的大叙事詩文學を作り、特に「クオ・ヴァデイス」は歴史文學の世界最高峰に立つものである。彼の外にツエロムスキー (Zeromski)、プリビツェウスキー (Przybyszewski) 等があり、また國民の情熱性は詩において最もよき表現を示し、アシニク (Asnyk)、スタッフ (Stall) 等が著名である。なほ現代には「青年ポーランド」運動が有力である。また純藝術派にウイスヒアンスキがあり、また大作家にステファン・ジェロムスキーがある。また一九二四年にノーベル賞を得た農民作家ウラデスロ・レイモント (一八六七—一九二五) の「農民」四部作はポーランド方の精密にして奔放な文學である。なほ國民主義文學にヨゼフ・ウエイセンホフがあり、「黒貂」と少女は著名である。またフェルディナンド・ゴエデルはアンドレ・ジイドを思はず小説を書く。ジグムンド・バルトキイウツチ、アダム・シュウマンズキ等がある。また詩人ライデルは史的ドラマ「魔法の輪」を書いた。

E 新聞 ポーランドの新聞界はその政界に見られる如く極めて分裂的である。然し大體において多かれ少かれビルツスキー獨裁政權支持派が有力である。その代表的なものは Express Poranny, Dzień Dobry, Dobry Wiezior and Kurjer Czerwony と Instrowany Kurjer Codzienny 二紙である。前者は首府 Warsaw において、後者は Cracow において發行されてゐるものである。

F 風俗 従來、史上に變遷流轉の多かつた國人の風俗には痛ましくその變易が刻印せられてゐる。ストラウとの對立はすでに久しいことであり、この風俗も著しい相違がある。ポルスカの服装は農民的であり、美しい色彩の調和を示し、金髪の色はポルスカの少女風俗の代表である。併し獨立後は新興文化のために、フランス型風俗の移入が非常に盛んとなつた。「北歐のバリ」と云はれるまでにワルソーはバリ化した。なほ今日ではアメリカ式新建築が盛んに建設されるために、アメリカ風俗もまた著しい發達を示し、舊來のローマ文化の正統派に對して一つの明白な新風俗となつてゐる。

A 位置 ポーランドはヨーロッパの中央にあり、東はロシア本國に隣り、北はラトヴィア、リツニア、東プロシア、ダンツィヒ、及び北海に臨み、南はチエコスロヴァキア、ルーマニアと境を接し、西はドイツと連なる。

B 地勢 ポーランドはその北西の一隅が僅かにバルチック海に面する外全く海と絶縁されてゐる。而も従來は海に面する部分も港なきため、ダンツィヒ自由市を通じて海上の交通をなしたが、ポーランド領のグデイニアに近代的海港を築造し、自國の港を持つに至つた。

ポーランドは殆んど全部が平野であり、北ドイツ平原の續きて、東はロシア大平原に連なる。南部國境にはカルパチア山脈が略々東西に縱走して高地を作つてゐる。北部リツニアとの國境にはリツニア高原があり、これよりメーメル河 (Memel) が西流してバルチック海に注いでゐる。ポーランドの大部分の水はウイスツラ河 (Wisla) に流入し、ダンツィヒ自由市を経てバルチック海に注ぐ。西部國境近くを流るワラルテ河 (Warthe) は西流してオーデル河 (Oder) に合流する。プリベット河 (Prut) は國の中央を東へ流れ、ロシアに入り、ドニエストル河 (Dnieper) は東南に流れ、ロシアとルーマニアとの國境を黒海へ注ぐ。プリベット河の流域は土地低く湿地をなす部分が多い。

C 氣候 ポーランドの氣候は海洋性を有する西ヨーロッパと大陸性のロシアとの中間に位置し、冬は寒冷にして、夏は炎暑となり、この兩季は比較的長く、春と秋とは短い。氣温は北ドイツと大差ないが、ワルソーは一月には北ドイツよりも著しく寒く、七月には幾分か温度が高い。國の西北部ポーゼン附近は東部レンベルヒ (Lemberg) 及びアレスト・リトヴスク (Brest Litovsk) よりも暖い。ワルソーの年平均温度は七・五度にして、最低の一月は氷點下四・三度、最高の七月は平均一九度となる。ウイスツラ河は冬季の三ヶ月間は凍結して、船舶を通じない。

雨量 大體ロシアと等しく、冬季に少なく夏季に多い。ワルソーの年降雨量は約五六〇耗にして、六月が最も多く九一耗に達し、冬は三〇耗にも及ばない。南部カルパチア山脈に近いガリシア (Galicia) 地方は全國において降雨量一番多く、年平均約七三〇耗に達する。

D 面積・人口 一九三三年一月一日において、ポーランドの面積は一四九、二七四平方哩、概算人口は三二、六三三、〇〇〇人となつてゐる。人口密度は一平方哩につき約二一九人である。一九三一年一月九日の調査によると都市人口は總人口の二七・二%に當る。

E 住民 ポーランド語を用ふる人口は二二、〇五二、〇〇〇人にして全人口の六九%に當り、九、八九〇、〇〇〇人は各々自國語を使用し、全人口の約三三%に當る。ポーランド人はスラヴ族に屬し、外國人はルシニア人 (Ruthenian) が最も多く、ユダヤ人がこれに次ぎ、ドイツ人、

オーストリア人、チエコスロヴァキア人等が居る。ポーランドよりの移住民は一九三一年には七六、〇〇五人であつたが、一九三二年には二一、四三九人に減じた。

F 主要都市 一九三一年一月九日における人口一〇萬以上の主要都市を擧げれば次の如し。ワルソー (Warsaw) 一、一七八、九一四人。ロズ (Lodz) 一、六〇五、四六七人。ルウォフ (Lwow or Lemberg) 一、三二六、一七七人。ポツナ

34 ポルトガル 立憲共和國

Republica Portuguesa, 英・獨・佛 Portugal.

I 歴史概観

一、古代史 もとケルト・イベリア族が居住す。次いでフェニキア人、ギリシア人、カルタゴ人等が次々に植民地となした。前二〇一年第二ポエニ戦役以後ローマに征服される。四一年アラン、スエヴィ兩族東方より侵入。民族大移動により西ゴート族がこれを平定、六一八世紀に西ゴート王國を建設す。七一一年同國はモーロ人のために亡ぼさる。次いでサラセン人これを領し、コルドヴァのオンマヤ朝に支配される。

二、ポルトガルの建國 これに對するカスチリア王國の反抗となり、ミニオ河とドゥエロ河を占領、ポルト港に據り、ポルトガルと呼ぶ。アルフォンス一世は一三九九年サラセンをクリクに敗り、一四七七年リスボンを奪つて首府に定む。一二五一年今日の領域を占領す。ヘンリー(航海親王)は盛んにアフリカ西部海岸を探検

し、新陸地を發見、占領す。ジョン二世(一四八二—一四九五)の時、バルトロメオ・チャスが始めてアフリカ南端に達し喜望峯と命名す。なほヴァスコ・ダ・ガマは印度への航路を發見、以後半世紀間ポルトガルは東方貿易を獨占し、商業資本著しく増大、國富は歐洲第一となり、王權も非常に大となる。科學が發達し、一二九一年に大學が創立された。一五〇五年にはセイロン島を占領、一五〇〇年には南米ブラジルをカブラルが発見す。かくてリスボンは當時世界第一の港となり、一五四三年にはポルトガルの極東艦隊は日本の種子島に達す。

三、ポルトガル王政の内紛 世界の植民地を集中したポルトガルの外的發展は却つてその内政の紊亂を來たし、ジュニイト教によつて國政は左右され、一時ヨセフ一世は王權を恢復したが、王妹マリア一世の時には再び僧權が絶對となる。このために海外發展も漸く不調となり、

一七世紀頃から、オランダ、フランス、イギリスに各植民地を侵略せらるゝに至る。なほポルバ侯爵の内閣により「啓蒙絶對主義」が始まり、貴族階級に對する反抗が生じ、一七五五年リスボンの大地震は全世界に異常な衝撃を與へ、ヴォルテールの「カンディッド」はこれを主題とせるもので、これにより國內の疲弊は一層大となり、國力は益々衰退した。

四、ナポレオン以後 ポルトガルはナポレオンに反抗しイギリスと共同す。一八〇七年にフランス軍が侵入、國內は荒廢に歸す。一八〇八年ウエリントンが恢復、一八二〇年に國民ブルジョア革命が勃發。自由主義政治が布かる。一八二二年ブラジル植民地はペドロ一世を擁して獨立分離す。三年ブラジル皇帝はリスボンを占領、娘マリアの位を復す。以後、自由、保守兩黨の争闘は常に甚しく、一八五八年ペドロ五世の時、表面的には兩派の和協成る。二〇世紀に入るまでに國力は全く衰へ、一九〇七年、カルロス一世は議會を停止して獨裁政治を行ひたるに對して國民反抗し、一九〇八年、太子ルイと共に暗殺される。かくてポルトガルにブルジョア共和制が成立し、一年には新憲法が發布される。

五、世界大戰以後 大戰にはイギリスに從つて聯合軍に加はり、兵士の反亂が屢々勃發す。一九一九年ポルトガルに再び君主制が立てられたが直ちに崩壞す。一九二六年にイギリスの支持により軍人による大反亂が勃發、二七年カルモナはフランスに獨裁を實施す。なほこれに對する反抗はフランスに亡命せる舊大統領ベルナルダノ・マカドがあり、三一年四月ロデイル島に反亂起き、政府はこの島を占領す。これによつて幾分政情不安は鎮壓されたが、政府の力は決して強力でなく、たゞイギリスの國力の左右するところとなつてゐる。

一七世紀頃から、オランダ、フランス、イギリスに各植民地を侵略せらるゝに至る。なほポルバ侯爵の内閣により「啓蒙絶對主義」が始まり、貴族階級に對する反抗が生じ、一七五五年リスボンの大地震は全世界に異常な衝撃を與へ、ヴォルテールの「カンディッド」はこれを主題とせるもので、これにより國內の疲弊は一層大となり、國力は益々衰退した。

四、ナポレオン以後 ポルトガルはナポレオンに反抗しイギリスと共同す。一八〇七年にフランス軍が侵入、國內は荒廢に歸す。一八〇八年ウエリントンが恢復、一八二〇年に國民ブルジョア革命が勃發。自由主義政治が布かる。一八二二年ブラジル植民地はペドロ一世を擁して獨立分離す。三年ブラジル皇帝はリスボンを占領、娘マリアの位を復す。以後、自由、保守兩黨の争闘は常に甚しく、一八五八年ペドロ五世の時、表面的には兩派の和協成る。二〇世紀に入るまでに國力は全く衰へ、一九〇七年、カルロス一世は議會を停止して獨裁政治を行ひたるに對して國民反抗し、一九〇八年、太子ルイと共に暗殺される。かくてポルトガルにブルジョア共和制が成立し、一年には新憲法が發布される。

五、世界大戰以後 大戰にはイギリスに從つて聯合軍に加はり、兵士の反亂が屢々勃發す。一九一九年ポルトガルに再び君主制が立てられたが直ちに崩壞す。一九二六年にイギリスの支持により軍人による大反亂が勃發、二七年カルモナはフランスに獨裁を實施す。なほこれに對する反抗はフランスに亡命せる舊大統領ベルナルダノ・マカドがあり、三一年四月ロデイル島に反亂起き、政府はこの島を占領す。これによつて幾分政情不安は鎮壓されたが、政府の力は決して強力でなく、たゞイギリスの國力の左右するところとなつてゐる。

II 政治

A 政治機構 新憲法は一九三二年五月二八日發布され、大統領は任期七ヶ年を有し、戸主による直接投票によつて選出される。大統領は一〇名の議員よりなる樞密院(Privy Council)によつて輔佐されることを規定してゐる。國民議會のほかに合同會議(Corporative Chamber)を設置し、死刑廢止を定む。新憲法は一九三三年三月一九日、國民投票の結果承認される。

【大統領】アントニオ・オスカル・デ・フラゴソ・カルモナ將軍 (General Antonio Oskar de Fragoso Carnoua)。一九二八年三月二五日大統領に選出せられ、同年四月二五日就任す。その任期は四ヶ年なりしが、一九三二年の改選期に更に二ヶ年延長され現在に至る。

【首相】リスボン (Lisbon)。人口五九四、三九〇人(一九三〇年國勢調査)。

B 行政 大統領カルモナの獨裁下にあり、現内閣は一九二六年七月九日文武官獨裁制内閣 (Military-Civilian Directorate) として組織され、議會の支持をうけず、一九三三年七月二四日再組織される。閣僚の顔觸は次の如し。

- 首相兼蔵相 サラザル (Dr. Antonio de Oliveira Salazar)
内相 ヲライネ (Antonio Raül da Mata Gomes Pereira)
土木・交通相 バケロ博士 (Dr. Duarte Pacheco)
外相 ヲタ博士 (Dr. José Caetano de Matos)
海相 キッタ博士 (Commander Aníbal de Mesquita Guimaraes)
法相 ロドリギエス博士 (Dr. Manuel Rodrigues, Junior)
陸相 オリウエラ少佐 (Major Luiz Alberto de Oliveira)

- 農工商務相 カマルカ (Ing. Sebastião Garcia Ramires)
文相 サント博士 (Dr. Alexandre Alberto de Sousa Pinto)
植民相 キンタイロ博士 (Dr. Arimindo Rodrigues Monteiro)
農相 ト・マ (Teorizido Queimado Franco de Sousa)

C 立法 一九三三年三月一九日採用の新憲法によれば一院制を採用し、國民議會 (National Assembly) は九〇名の議員よりなり、その中四五名は行政團體 (Administrative Corporations) 及び植民團體 (Colonial Corporations) によつて選出せられ、残りの四五名は直接投票によつて選出せらる。

なほ樞密院 (Privy Council) は一〇名の議員よりなり、國民議會と共に大統領を輔佐する。

【現議會】一九二五年一月七日の總選舉によるものにして、一九二六年、現大統領カルモナ將軍のクーデターによる獨裁政權の確立と共に上下兩院を閉鎖し、現在に至る。然し一九三三年の新憲法に従ふ新組合制議會は未だ選出されるに至つてゐない。舊憲法による一九二五年の總選舉による上院 (Senado) と下院 (Câmara dos Deputados) とにおける議長及び各政黨の勢力關係は次の如し。

- 上院議長—Gen. A. X. Correia Parreto (穩和民主黨選出) 三九名
穩和民主黨 一一名
獨立案 九名
王黨 五名
左翼民主黨 四名
カトリック黨 二名

- 農民黨 七一名
計 八五名
穩和民主黨 二五名
國民黨 一五名
獨立派 一三名
自治統一黨 七名
左翼民主黨 六名
王黨 四名
カトリック黨 四名
農民黨 二名
社會黨 二名
自治黨 二名
計 一六三名

D 司法 全國を司法上一五七區 (Comarcas) に分ち、各區に第一裁判所を置く。控訴院はリスボン、コイムブラ、オポルトの三箇所にあり、大審院は首府リスボンにある。その他に州裁判所七、區裁判所九三六を數ふ。

なほポルトガルにおいては一九三二年の新憲法により死刑が廢止される。

E 政黨 一九一〇年共和制樹立以來ポルトガル議會は常に民主黨の絕對多數の占むる所となり、大統領は常に民主黨に組閣を命ずるの結果、他の群小政黨は喜ばず、政權乗取手段として非合法なる暴力革命の擧に出づる傾向益々劇しくなり、一九二六年の内政不振の結果、これに伴ふ國民の不平に乗じ急進黨は軍隊の助力の下に民主黨倒閣へと邁進した。ポルトガル陸軍の總將ゴメス・ダ・コスタ將軍は國民軍總司令官としてカベサダス大佐をして革命委員長に任じ民主黨内閣倒閣運動を助成し、遂に一九二六年五月二九日民主黨内閣辭職し、政權は革命軍の手に歸するに至つた。かくて當時のイタリヤ及

びスペインの獨裁政治的傾向と共にポルトガルにおいてもカルモナ獨裁制が確立され、今や全く政黨休戦時代に入つてゐる。

【穩和民主黨】 (Moderate Democratic Party) 舊議會における最も有力な自由主義黨にして、自由主義政策を基調とし、ローマン・カトリック教、宗教統制を反對す。現在、カルモナ獨裁政權下に完全に窒息してゐる。

黨領袖—Antonio Maria da Silva (前立憲政權最後の首相) Dr. Domingos Pereira (前首相) Victorio Guimaraes (前蔵相、前首相) Heruliano Galhardo.

【國民黨】 (Nationalist Party) 同黨も舊議會における政黨にして、保守的共和主義的にして、信仰、新聞、言論の自由を強調し、産業貿易には政府の干渉を絶対に排斥する立場に立つ。

黨領袖—Dr. Julio Dantas; Ginebral Machado.

【自由統一黨】 (Liberal Unionist Party) 同黨も舊議會における政黨にして、保守共和主義的にして、その政綱は穩和民主黨に酷似す。前身は民主黨である。國家と教會の分離を辯護し、間接累進税、産業自由を政綱とす。

黨領袖—Jose Domingues dos Santos (前首相)。

【左派民主黨】 (Left Democratic Party) 同黨も舊議會における政黨にして、急進自由主義的にして、その政綱は穩和民主黨に酷似す。前身は民主黨である。國家と教會の分離を辯護し、間接累進税、産業自由を政綱とす。

黨領袖—Francisco P. da Cunha Leal.

【王黨】 (Monarchist Party) 同黨も舊議會における政黨にして、保守的共和制を反對す。

黨領袖—Jogo d'Azavedo Coutinho.

【カトリック黨】 (Catholic Party) 同黨も舊議會における政黨にして、ローマン・カトリック教會

の利益を代表し、その政綱は自由なる教會と自由なる國家にある。

黨領袖—Dr. Antonio Lino Neto.

【社會黨】 (Socialist Party) 同黨も舊議會における政黨の一にして、立憲的社會黨ともいふべく、第二インターナショナルに屬す。

黨領袖—Dr. Ramada Curto.

【自治黨】 (Autonomist Party) 同黨も舊議會における政黨の一にして、アンレス島の自治を高調す。

黨領袖—Dr. Amorim Ferreira.

【國民統一黨】 (National Union Party) 最近獨裁政權下に組織された政黨の一にして、ポルトガルにおける獨裁政治を支持し、政治的、宗教的の信念の如何に拘らずカルモナ獨裁支持の同一方向の下に結成したものである。

黨領袖—Dr. Homen de Sampaio e Melo.

【共和社會同盟黨】 (Republican Socialist Alliance Party) 最近獨裁政權下に組織された新政黨の一にして、共和主義的諸政黨の黨員より組織され、專制政治への反對を標榜し、その政綱は民主黨のそれに類似してゐる。

黨領袖—General Norton de Matos; Dr. Ramada Curto; Dr. Belo de Marnais; Azavedo e Silva.

F 外交 一九四八年、ヴァス・コダ・ガマのインド航路の發見を機縁とし近世史の劈頭植民地帝國の名を遺いままにしたポルトガルも苛斂誅求を基調とせる誤まれる植民政策の結果、早くも一七世紀頃よりオランダ、イギリス、フランス等のため海外植民地を侵蝕せられ、一九世紀にはブラジルをさへ失ひ、遂には海外植民事業の先驅者たりしブラガサ王朝の失脚となり、漸く植民地帝國ポルトガルの衰運は現はるに至つた。がしかし、現在ポルトガルの國際

的に見て重要な地位は、大西洋にアゾレス群島、マデイラ島、アフリカにおけるアンゴラ、モザンビク兩州、印度のニア、東洋のマカオ、チモール等、その植民地全面積は本國の二二倍に及び、人口においても本國のそれより百數十萬多く、イギリス、フランス、ベルギーに次ぐ世界第四位の植民地帝國といふ點にある。

【對英關係】 かく海外に有する植民地の關係より傳統的にイギリスと提携し、イギリスは自國擁護の積極的立場より、ポルトガルは植民地保護の消極的立場より親善關係を結んできてゐるのである。かくポルトガルの外交基調は對イギリス親善政策に終始し、かの世界大戦におけるドイツに對抗する英葡同盟はこの邊の消息を如實に表示するものであると云つても間違ひではない。しかば英葡同盟の成立の意圖は那邊にあつたかを見るに、元來スペイン對ポルトガル關係は常に利害相反し、長い間對立を見て來た。それに加へてスペインの勢力漸次ポルトガルを凌駕し一四、五世紀頃以來大西洋の制海權掌握の野心を抱くに至り、ポルトガルはこゝにおいて、之を快からずと思つてゐたイギリスと提携し、イギリス海軍の威力を藉りて常にスペインに當らんとする苦肉の策に出て來た歴史を有する。

要するにポルトガル外交政策の基調はイギリスを對象としてゐる。ポルトガルが現今かくの如き世界有数の海外植民地を安全裡に維持してゐるのは、一にかゝつてイギリス海軍の賜物であると云つても過言ではない。

【對西關係】 ポルトガルとスペインとの關係は、ポルトガルが上述の如き英葡同盟を以つてスペインに當らんとする策に出でし歴史對スペイン外交にも見られる如く、極めて好ましからざるものがあつた。従つて古來ポルトガルとス

ペインの外交関係は良好を缺くこと屢々であつたが、近來兩國は從來の行懸りを捨て、積極的に政治経済的握手をなさんとすの機運に向ひつゝある。

G 國防【陸軍】一七歳より四五歳まで服役期間、現役服役期間四ヶ年、豫備役一六年である。ポルトガル近海の諸島は四陸軍區と二二の徵集豫備區域を含む。一九三三年の平時兵力は士官四、三九五名、下士卒二、五七、七三四名を有す。近衛兵は歩兵八個大隊、騎兵一聯隊、將校二一五名、下士五、四七九名より成る。防備軍としては大陸に三大隊、諸群島に四中隊、總兵力五、一六五名を有す。

【海軍】ポルトガル海軍はB級巡洋艦九隻、一五、二〇〇噸、驅逐艦六隻、六、九四〇噸、潜水艦五隻、二、三四〇噸、航空母艦一隻、五、六〇〇噸を有す。

海軍航空隊は一九一七年九月に建設せられ、一九三一年には二一臺の飛行機を有してゐる。現在海軍士官一、三四一名、下士卒五、五二二名を有す。

【軍事費】一九三三―三四年の軍事費は三一、八、七三七、七三六エスクード(escudos)である。

III 經濟

A 財政 ポルトガルの財政は、一九一〇年共和制樹立以來一九二六年の獨裁政治確立に至るまでの約十數年間、政黨内閣の放漫な財政政策の結果、年々多額の歳入不足に苦しんで來た。然しカルモナ獨裁政府はその成立以來銳意財政の改善に努力した。その結果、一九二八―二九年度以來ポルトガル財政の收支状態は著しく改まり、僅かながらも年々歳入超過を見るに至つた。

【主要歳入】その歳入の主要なものは直接税

最近の歳出入概算 (單位千エスクード)

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). Rows cover years from 1928-29 to 1933-34.

と間接税とに、一九三三―三四年の歳入は公債費が最大にして、一九三三―三四年の歳入概算において、全歳出の二二、二二〇、〇一十エスクードのうち三七〇、八三五エスクードを占めてゐる。次に陸軍費の三一、八、七三八エスクード、土木事業及び交通費の二九二、八一四エスクード、教育費の二、五七、一八九エスクード等が主要なものである。

【公債】一九三三年六月三日現在におけるポルトガルの公債は六三、三六八、八一八ポンドに上り、うち外債は三〇、三六四、一〇九ポンドに上り、總額の約半分を占めてゐる。

B 金融 國立銀行はポルトガル銀行(Banco de Portugal)にして、同行の資本金は一億エスクードである。一九三一年六月六日の法律によつて、發券銀行としての同行の期限は一九三一年七月一日より向ふ三十年間延期する。同行の信用發行限度は二百二十萬ポンド(1,000,000,000 Escudos)である。一九三三年一月二七日現在における同行の現金保有高は金貨七四

と間接税とに、一九三三―三四年の歳入は公債費が最大にして、一九三三―三四年の歳入概算において、全歳出の二二、二二〇、〇一十エスクードのうち三七〇、八三五エスクードを占めてゐる。次に陸軍費の三一、八、七三八エスクード、土木事業及び交通費の二九二、八一四エスクード、教育費の二、五七、一八九エスクード等が主要なものである。【公債】一九三三年六月三日現在におけるポルトガルの公債は六三、三六八、八一八ポンドに上り、うち外債は三〇、三六四、一〇九ポンドに上り、總額の約半分を占めてゐる。B 金融 國立銀行はポルトガル銀行(Banco de Portugal)にして、同行の資本金は一億エスクードである。一九三一年六月六日の法律によつて、發券銀行としての同行の期限は一九三一年七月一日より向ふ三十年間延期する。同行の信用發行限度は二百二十萬ポンド(1,000,000,000 Escudos)である。一九三三年一月二七日現在における同行の現金保有高は金貨七四

アルムーン(Almunde) 三・七英ガロン

(リスボン地方) 五・六英ガロン (オポルト地方)

D 産業 【農業】ポルトガルは現在においても純然たる農業國にして、同國農務省の發表するところによれば一九三一年における可耕面積(各島嶼を除く)は一五、九一七、六五四エーカーにして、全國土の七〇%を占めてゐる。農産物は小麦、玉蜀黍、燕麥を主とし、米、馬鈴薯等を多く産出する。また葡萄はドイロ河流域に多く、葡萄酒は全國土の五・四%に上る。一九三二年度における葡萄酒の産は一三五、三五九、〇〇〇ガロンに上る。南部には果實園多く、全國土の六・一%に上る。その他オリヴ栽培が盛んで、その植付面積は四三〇、三七二ヘクタール、その産額は九、四六八、一八四ガロンに上る。

【畜産業】スペインにおける程ポルトガルにおいては牧畜業は國民經濟上重要な役割を演じてゐない。山地にあつては羊及び山羊が、低地にあつては牛、豚、馬等が飼養されてゐる。羊

家畜飼養数 (1925年)

Table with 2 columns: Species (種類) and Quantity (頭数). Rows include Horses, Donkeys, Cattle, Sheep, and Pigs.

毛、その他の副産物も少くない。一九三一年度における羊毛の産出額は二、七九三メートル噸である。

【林業】ポルトガルの森林面積は全國土の二六%に上り、コルク、松、オーク、胡桃等を主として産出する。就中コルクの産が最も多く、

森林面積

Table with 2 columns: Area (エーカー) and Species (種類). Rows include Pine, Oak, Cork, etc.

一九三一年には七四、二八八メートル噸を産し、主要輸出品のうちの一つで、一九三二年度の輸出額は八千萬エスクードに上る。

【水産業】ポルトガルは海洋に面する面積多く、その近海は漁業に富むため古くから漁業は盛んに行はれ、同國の主要産業であると同時に、ヨーロッパにおける主要漁業國の一である。一九三二年度における漁夫は五四、一七五人、漁船は一四、二七三隻、五五、五八八噸に上る。鰻は主とし、一九三二年度におけるその漁獲高は一一、九一六噸、六九、〇一〇、二八四エスクードに上る。また同年の鰻の鰹詰輸出高は四四、一七四噸、一五三、二一一、一二七エスクードに上る。鰹詰業の中心地はリスボンの十哩北方にあるセテバル(Setúbal)である。その他、鰻の漁獲高も少くない。

【工業】ポルトガルは可成り豊富な礦産物を埋藏してゐるが、資本の缺乏、動力の不足、交通の不便等によつて未だ殆んど開發されるに至つてゐない。一九三二年度における全礦産物は四九七、〇一一メートル噸にして、うち石炭の二五七、四八五メートル噸、黄銅の二二、三七、八四噸が主要なものである。その他、鐵、亜鉛、錫、鉛、マンガ、銅等の産出がある。

【工業】ポルトガル工業の最大のものには織工業にして、その労働者は四萬八千人を數へてゐる。うち紡績業に従事せるものが二萬五千人にして、その他毛織、製絲、リンネル工業に従事してゐる。その他、ポルトガルにおいて獨特な工業はタイル工業にして、ムーア人から傳承せ

一、七四〇、〇〇〇エスクードにして、流通紙幣發行高は一、九八一、七六二、〇〇〇エスクードに上る。その他のポルトガルの金融機關としては、大陸部に三七〇登録銀行と島嶼部に一八の登録銀行を數へる。その總資本金はそれぞれ一、七三一、四九二、二八八エスクード、五八、三九二、一六七エスクードである。また一九三三年八月末日現在における總預金高はそれぞれ三、四五二、五〇六、三六一エスクード及び二五二、八七〇、八二五エスクードである。C 貨幣 一九一一年五月二二日の假政府法令(Decree of the Provisional Government)により制定された貨幣制度は一九三一年に至つて變更せられた。貨幣單位はエスクード(Real)である。一エスクードは一〇〇セント(Centavo)にあたる。一、〇〇〇エスクードは一コント(Conto)にあたる。エスクード金貨は純分千分の九百の金〇・〇七三九グラムの重量を持つ準備金貨である。ポルトガル銀行の發行せる二・五、五、一〇エスクードの三種の小額紙幣は一九三三年二月末日より流通から回収せられ、同額面價格の銀貨によつて取代へられるに至つた。金貨は二五〇、一〇〇、五〇エスクードの三種である。銀貨は一〇、五、二・五エスクードの三種である。白銅貨は一エスクード、〇・五エスクードの二種である。青銅貨は二〇、一〇、五センチの三種である。現在、ポルトガルは外國爲替管理を嚴重に行つて金貨の流出を防ぎ、極力エスクード貨の下落防止に努力してゐる。【度量衡】ポルトガルにおいてはメートル法の使用が法律上規定されてゐる。然し次の舊度量衡が現在でもなほ使用されてゐる。

最近の輸出入 (單位千エスクード)

Table with 3 columns: Year (年度), Imports (輸入), and Exports (輸出). Rows cover years from 1927 to 1932.

【主要輸入品】その輸入において主なるものは織物原料、石炭、海産物、鐵及び鋼鐵の四つとする。然しこれ等はいづれも一億エスクードに達して、輸入總額の一割以下である。その他、砂糖、自動車、化學製品、石油、皮革、米、コーヒー、小麦等を主とする。全體として輸入品を見る時、食料品と工業製品とが最も大きい割合を示してゐる。

主要輸出品

Table with 2 columns: 品目別 (Category) and 金額千エド (Amount in thousands of Escudos). Includes items like 絹織物 (Silk), 石炭 (Coal), 海産物 (Sea products).

【主要輸出品】 また輸出に上り、総輸出額に占める割合は、葡萄酒が第一にして二億一千萬エドに上り、これに次ぐものは魚類の一億七千萬エドに上り、この大部分はポルトガルの名産たる鯛の鱠詰である。その他、コル果實等を主とする輸出品とす。

主要輸出品

Table with 2 columns: 品目別 (Category) and 金額千エド (Amount in thousands of Escudos). Includes items like 葡萄酒 (Wine), 魚類 (Fish), コルク (Cork).

【主要輸出品】 また輸出に上り、総輸出額に占める割合は、葡萄酒が第一にして二億一千萬エドに上り、これに次ぐものは魚類の一億七千萬エドに上り、この大部分はポルトガルの名産たる鯛の鱠詰である。その他、コル果實等を主とする輸出品とす。

主要國別貿易額

Table with 3 columns: 相手國 (Partner Country), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Lists countries like イギリス (UK), アメリカ合衆国 (USA), ドイツ (Germany).

【主要輸出品】 また輸出に上り、総輸出額に占める割合は、葡萄酒が第一にして二億一千萬エドに上り、これに次ぐものは魚類の一億七千萬エドに上り、この大部分はポルトガルの名産たる鯛の鱣詰である。その他、コル果實等を主とする輸出品とす。

文化

A 文化概観 ポルトガルは既に古代文化の國で今日はその過去の残映を止めてあるに過ぎない如く思はれる。嘗て詩聖カモエンスを出し、航海王ドン・エンリケを生み、冒險家ヴァスコ・ダ・ガマを現はした偉大なるポルトガル文化は當時全世界植民地の覇をスペインと争つた大強國であつた。カモエンスの詩篇「ウス・ルジーアダス」はその光榮ある文化の絶頂を反映せるものである。正にダンテの「神曲」、シエクスピアの「戯曲」に相並ぶ世界的に構想雄大な詩曲である。以來有能なる人才は悉く海外に去つて國內は小人物のみとなり、一四四一年ヌノ・トリスタンはアフリカからニグロの奴隷を輸入して、國人は遊惰となり、國富は増大して國人は驕奢に流れて生活力を失ひ、宗教上の極端なる彈壓と非常に優秀なるユダヤ人の追放は國力を甚しく激減した。このために遂に文化は消衰し、徒らに過去の回想に文化の榮を偲ぶのみである。 B 宗教 ポルトガルにおいては信仰の自由は完全に認められてゐる。然しポルトガルは舊教國にして、國民の大部分はローマン・カトリック教に屬する。

C 教育 一九二〇年の國勢調査によればポルトガル國民の約五四・七%までは読み書きの能力を有しないものである。初等教育は義務制にして、一九一一年三月二九日の臨時政府令により施行されて來た。一九三二―三三年度には幼年學校は六五校、教師一〇〇名、児童四、一三四名、公立小學校は八、二四七校、教師九、六九七名、児童四四一、八二二名、中等學校は三七校、教師八〇八名、生徒一七、三七一一名、師範學校は五校、教師五〇名、生徒一、〇八六名である。

は總額の約四分の一、輸出においては總額の約五分の一以上を占めてゐる。之に次ぐものはアメリカ合衆國、ドイツ、フランス、ベルギー等である。フランスを除くこれ等の諸國に對する貿易において、いづれもポルトガルの輸入がその輸出よりも著しく超過してゐる片貿易であることは大に注目する。

F 交通 ポルトガルの交通は古來概して發達してゐない。スペインの如く山地が多く交通を阻害してゐるといふ地理的條件が少いにも拘らず、國民は既に進取の氣象を失ひ、産業的開發に熱意を失つてゐる結果、國內交通の不完全のみならず、外國貿易の如きも殆んどすべて外國船によつてゐるといふ實狀である。 【鐵道】 國營鐵道は八二四哩にして、うち廣軌七三五哩、狹軌八九哩である。民營鐵道は六幹線、一、一七七哩を數へる。うち八八二哩が廣軌にして、二九五哩が狹軌である。また一九三一年度における道路は八、八八二哩である。

G 通信 一九三一年における電信線は五、六〇三哩にして、電信局の數は七四四局にして、受付電信二、二一七、〇六二通、發送電信二、五九〇、二三六通に上る。ポルトガルには無線電信局は五校、教師五〇名、生徒一、〇八六名である。

D 藝術 【繪畫】 一五世紀にジャン・エイクが使節としてポルトガルに來り、フランドル風の寫實が盛んとなつた。その後イタリア美術の影響強くヴァスコ・フェルナンデスが特に著名である。一九世紀にはフランス繪畫が多く移入され、ホセ・ウイタル、シルヴァ・ポルト、ヌニョ・ピント等が卓越せる畫家である。

E 新聞 ポルトガルの新聞界は餘り發達を見てゐない。日刊紙としては全國に一四紙を數へ、うち三紙がポルトガルに發行されてゐる以外、他のすべては首府リスボンの發行に屬する。これ等のうち最も有力なのは Journal do Commercio e das Colonias 紙にして、政黨的色彩なく、保守主義的傾向を有し、經濟紙として有力、且つ古い歴史を有する。また Diario de Noticias 紙も前者と同じくポルトガルにおける最も古い歴史を有する新聞の一つである。同紙は保守的にして政黨的色彩を有せず、特に外國ニュースの報道に勝れてゐる。また獨裁政府の機關紙としては Diario do Governo 紙あり、またその半機關紙としては Diario de Manhã を有す。以上の各紙はいづれも首府リスボン發行のものである。

F 風俗 ポルトガル人は一般に情熱的な詩的國民であり、全く南歐の民族の典型的なるものである。東洋人的氣質、慣習が非常に濃厚である。國人の極めて愛好する舞踊、民謡には東洋風の最も豊潤なるものが多い。その基調は回教文化とムリア人風であり、緩漫なリズムの中に最も甘美な情緒をたよはすものである。また富麗の制度が發達し國人の投機心をあ

電信局は一三局を數へる。 電話は國營と民營とによる。一九三一年における國營電話線は一六三哩である。民營電話は英葡電話會社 (Anglo-Portuguese Telephone Co., Ltd.) の經營にかゝり、各都市間に八五、二八一哩、リスボン市に六二、五二八哩、オポルト市に二六、七八二哩の電話線を所有してゐる。

階級運動

【階級運動】 ポルトガルの最初の社會主義團體は一八七二年リスボンでラファエル・ゴスニョ唱され、スペインからの亡命社會主義者によつて結成された。一八七五年には社會黨が成立し、一八九二年には最初の労働組合が組織された。それ等はすべてアナルコ・サンシカリズムの傾向が主であつた。一九一〇年の革命後、労働運動が盛んとなり「オ・ソシアリスタ」がその有能な機關紙であつた。労働組合はサンシカリストがその中心であつた。大戦と共に社會黨は主戰論者となつた。一九二〇年にはサンシカリストは全國的な労働組合聯合を組織す。ペルリントはナルコ・サンシカリストの労働組合インダナシヨ

【階級運動】 ポルトガルの最初の社會主義團體は一八七二年リスボンでラファエル・ゴスニョ唱され、スペインからの亡命社會主義者によつて結成された。一八七五年には社會黨が成立し、一八九二年には最初の労働組合が組織された。それ等はすべてアナルコ・サンシカリズムの傾向が主であつた。一九一〇年の革命後、労働運動が盛んとなり「オ・ソシアリスタ」がその有能な機關紙であつた。労働組合はサンシカリストがその中心であつた。大戦と共に社會黨は主戰論者となつた。一九二〇年にはサンシカリストは全國的な労働組合聯合を組織す。ペルリントはナルコ・サンシカリストの労働組合インダナシヨ

小説は、一六世紀に入つて漸く形體をなす。 一九世紀のロマン主義文學はポルトガル人に適合し、エルクラノ (A. Herculano 一八一〇―一八七七) は歴史小説家として秀拔なるものである。なほ情熱の作家カステロ・ブランコ (Castelo Branco 一八二六―一八九〇) は小説の第一人者であり失明自殺した生活と相俟つてポルトガル最高の文學である。またリアリズムの作家としてケイロス (Teófilo Queiroz 一八四六―一九〇〇) がある。

F 風俗 ポルトガル人は一般に情熱的な詩的國民であり、全く南歐の民族の典型的なるものである。東洋人的氣質、慣習が非常に濃厚である。國人の極めて愛好する舞踊、民謡には東洋風の最も豊潤なるものが多い。その基調は回教文化とムリア人風であり、緩漫なリズムの中に最も甘美な情緒をたよはすものである。また富麗の制度が發達し國人の投機心をあ

電信局は一三局を數へる。 電話は國營と民營とによる。一九三一年における國營電話線は一六三哩である。民營電話は英葡電話會社 (Anglo-Portuguese Telephone Co., Ltd.) の經營にかゝり、各都市間に八五、二八一哩、リスボン市に六二、五二八哩、オポルト市に二六、七八二哩の電話線を所有してゐる。

主要輸入品 (1932年度)

Table of main imports with columns for item (品目別) and amount (金額千エド). Items include raw materials, minerals, and machinery.

【主要輸出品】また輸出においては葡萄酒が第一にして二億一千萬エド以上を占めてゐる。

主要輸出品 (1932年度)

Table of main exports with columns for item (品目別) and amount (金額千エド). Items include wine, fish, and textiles.

主要國別貿易額 (1932年度、單位1,000エド)

Table of trade by country with columns for country (相手國), imports (輸入), and exports (輸出). Countries listed include UK, USA, France, and Belgium.

ク、綿製品、オリイウ油、黄銅鐵、果實等を主とする輸出品とする。

は總額の約四分の一、輸出においては總額の約五分の一以上を占めてゐる。之に次ぐものはアメリカ合衆國、ドイツ、フランス、ベルギー等である。

F 交通

ポルトガルの交通は古來概して發達してゐない。スペインの如く山地が多く交通を阻害してゐるといふ地理的條件が少いにも拘らず、國民は既に進取の氣象を失ひ、産業的開發に熱意を失つてゐる結果、國內交通の不完全のみならず、外國貿易の如きも殆んどすべて外國船によつてゐるといふ實狀である。

【鐵道】國營鐵道は八二四哩にして、うち軌七三五哩、狹軌八九哩である。民營鐵道は六幹線、一、一七哩を數へる。うち八八二哩が廣軌にして、二九五哩が狹軌である。また一九三一年度における道路は八、八八二哩である。

【船舶】ポルトガル所有の船舶は一九三三年度において汽船一六三隻、二三七、九〇八噸、帆船八六隻、二、三〇五噸に過ぎない。また一九三一年度のポルトガル各港(島嶼をも含む)への入港船舶は七、二七隻、二四、六八八、三四〇噸、同じく出港船舶は七、〇三七隻、二二、三三四、一五二噸に上る。以上の入港船舶のうち、ポルトガル船は三、〇四八隻、四、五三三、四三二噸にして内國沿岸航路に従事してゐるものが多い。外國船はイギリス船の一、三五四隻、八、四八六、〇八五噸を筆頭として、ドイツ船の七三九隻、三、八八九、一六〇噸が之に次ぐ。

【電信】一九三一年度における電信線は五、六〇三哩にして、電信局の数は七四四局にして、受付電信二、二一七、〇六二通、發送電信二、五九〇、二三六通に上る。ポルトガルには無線

電信局は一三局を數へる。電話は國營と民營とによる。一九三一年における國營電話線は一六三哩である。民營電話は英葡電話會社(Anglo-Portuguese Telephone Co. Ltd.)の經營にかゝり、各都市間に八五、二八一哩、リスボン市に六二、五二八哩、オポルト市に二六、七八二哩の電話線を所有してゐる。

III 社會

その社會狀態は一般に貧困で、また資本主義的には甚だ振はぬ情勢を示してゐる。社會的生產は微力であり、人口の増加率も甚だ僅かである。住民の殆んど全部はポルトガル人である。人口は河川の流域、海岸地方中部地方に多く、南部地方は極めて稀薄である。なほ年々多數の移住民が國外に進出してゐる。南部及び中部地方には人口は絶對的減少を示してゐる。唯、中部地方、エストレアドラ地方のみが人口は増加してゐる。國內の生産は農業が主で、人口の四分の三はこれに従事してゐる。北部地方は小農經營であり、南部地方は大土地所有制や封建制が多い。

【階級運動】ポルトガルの最初の社會主義團體は一八七二年リスボンでラファエルにより唱され、スペインからの亡命社會主義者によつて結成された。一八七五年には社會黨が成立し、一八九二年には最初の労働組合が組織された。それ等はすべてアナナル・サンシカリズムの傾向が主であつた。一九一〇年の革命後、労働運動が盛んとなり「オ・サンシカリスタ」がその有能な機關紙であつた。労働組合はサンシカリスタがその中心であつた。大戦と共に社會黨は主戰論者となつた。一九二〇年にはサンシカリスタは全國的な労働組合聯合を組織す。ベルリンのアナル・サンシカリスタ的労働組合インタナシヨ

V 文化

A 文化概観 ポルトガルは既に古代文化の國で今日はその過去の殘映を止めてゐるに過ぎない如く思はれる。嘗て詩聖カモエンスを出し、航海王ドン・エンリケを生み、冒険家ヴァスコ・ダ・ガマを現はした偉大なるポルトガル文化は當時全世界植民地の覇をスペインと争つた大強國であつた。カモエンスの詩篇「ウス・ル・ジ・アダス」はその光榮ある文化の絶頂を反映せるものである。正にダンテの「神曲」、シエクスピアの「戯曲」に相並ぶ世界的に構想雄大な詩曲である。以來有能なる人才は悉く海外に去つて國內は小人物のみとなり、一四四一年ヌノ・トリスタンはアフリカからニグロの奴隷を輸入して、國人は遊惰となり、國富は増大して國人は驕奢に流れて生活力を失ひ、宗教上の極端なる弾壓と非常に優秀なるユダヤ人の追放は國力を甚しく激減した。このために遂に文化は消衰し、徒らに過去の回想に文化の榮を偲ぶのみである。

B 宗教 ポルトガルにおいては信仰の自由は完全に認められてゐる。然しポルトガルは舊教國にして、國民の大部分はローマン・カトリック教に屬する。

C 教育 一九二〇年の國勢調査によればポルトガル國民の約五四・七%までは読み書きの能力を有しないものである。初等教育は義務制にして、一九一一年三月二九日の臨時政府令により施行されて來た。一九三一年一三三年度には幼年學校は六五校、教師一〇〇名、児童四、一三四名、公立小學校は八、二四七校、教師九、六九七名、児童四四一、八一二名、中等學校は三七校、教師八〇八名、生徒一七、三七一名、師

範學校は五校、教師五〇名、生徒一、〇八六名である。また大學は Lisbon (一九一一年創立)、 Coimbra (一九〇九年創立)、Oporto (一九一一年創立)の三校とする。

D 藝術 【繪畫】一五世紀にジャン・エイクが使節としてポルトガルに來り、フランドル風の寫實が盛んとなつた。その後イタリヤ美術の影響強くヴァスコ・フェルナンドスが特に著名である。一九世紀にはフランス繪畫が多く移入され、ホセ・ガイタル、シルヴァ・ポルト、スーサ・ピント等が卓越せる畫家である。

【彫刻】スペインの時代にはコインブラ美術館の「ピエタ」、リスボン美術館の「キリスト」等の名作を有す。一八世紀にはアントニョ・フェレイラが優れ、一九世紀には却つてアカデミズムが支配して傑作が少ない。

【工藝】回教サラセン工藝が盛んなる時代、一四、五世紀のシントラの宮殿、バカローア離宮、聖アマロア堂等の裝飾は驚異すべき技術を表示してゐる。それ以後には寧ろその特徴は失せて平凡に墮してゐる。

【文學】ルシタニヤ人は一般に感情的で、文學は一般に詩的形式が主である。ポルトガルは一二世紀に始まる。一六世紀より一八世紀にかけてその黄金時代を現出す。世界の抒情詩人ルイス・デ・カモーンイス (Luís vas de Camões 一五二四—一五八〇) が出て、最もルシタニヤ人らしい情熱を發揮し、詩篇「ウス・ル・ジ・アダス」が最も著名である。一九世紀には詩人ガレット (Almeida Garrett 一七八八—一八五四) 出て、ローマン主義を代表す。

【演劇】演劇には多くイスマニヤ戯曲の模倣多く、二〇世紀に入つてジュリオ・ダントス (Julio Dantas 一八七七) はその政治家的經驗を

戯曲に多面的に表現す。小説は、一六世紀に入つて漸く形體をなす。一九世紀のローマン主義文學はポルトガル人に適合し、エルクラーノ (A. Herculano 一八一〇—一八七七) は歴史小説家として秀抜なるものである。なほ情熱の作家カステーロ・ブランコ (Castello Branco 一八二六—一八九〇) は小説の第一人者であり失明自殺した生活と相俟つてポルトガル最高文學である。またリアリズムの作家としてケイロス (Eça de Queiroz 一八四六—一九〇〇) がある。

E 新聞 ポルトガルの新聞界は餘り發達を見てゐない。日刊紙としては全國に一四紙を數へ、うち三紙がオポルトに發行されてゐる以外、他のすべては首府リスボンの發行に屬する。これ等のうち最も有力なのは「Jornal do Commercio e das Colonias」紙にして、政黨的色彩なく、保守主義的傾向を有し、經濟紙として有力、且つ古い歴史を有する。また「Diario de Noticias」紙も前者と同じくポルトガルにおける最も古い歴史を有する新聞の一つである。同紙は保守的にして政黨的色彩を有せず、特に外國ニュースの報道に勝れてゐる。また獨裁政府の機關紙としては「Diario do Governo」紙あり、またその半機關紙としては「Diario de Manhã」を有す。以上の各紙はいづれも首府リスボン發行のものである。

F 風俗 ポルトガル人は一般に情熱的な詩的國民であり、全く南歐の民族の典型的なるものである。東洋人的氣質、習慣が非常に濃厚である。國人の極めて愛好する舞踊、民謡には東洋風の最も豊潤なるものが多い。その基調は回教文化とムリア人風であり、緩漫なりズムの中に最も甘美な情緒をたゞよはすものである。また富穢の制度が發達し國人の投機心をあ

ふることが著しい。またスペインと共に闘牛が盛んであり、たゞ闘牛の角を布で巻き、その危険を避け、また牛を決して殺すことをしない相違がある。

VI 自然

A 地理 イベリア半島の西南部を占め、北と東とはスペインと國境を接し、西と南とは大西洋に臨む。地理的には明確に二分され、東北部はセラダエストラ山脈が縋まり、一帯の高地を爲し、スペイン山岳地帯の續きである。西南部は海岸平野をなし、地味肥沃にして氣候良好で、この國の生産地帯を爲す。河川にはドイロ河(Douro)、タホ河(Tago)、グワチャナ河(Guadiana)あり、すべてスペインの山地に源を發し、西流してポルトガルを通つて大西洋に注ぐ。これ等の河川はポルトガル領に進入つて水勢は著しく緩かとなり、舟運に便する。また海岸は單調にして出入に極めて乏しく、僅かにリスボン附近に多少の出入あるを見ることが出来るのみである。

B 氣候 海洋に面するによりポルトガルの氣候は概して良好で、スペインの西部海岸地方の氣候と同じである。首府リスボンの氣温は一日平均が攝氏一〇度一、七月平均が二二度、一年平均が一五度八である。雨量は比較的多く、リスボンの年雨量は七五五耗に達し、冬期一月及び一二月が最も多く、七月及び八月に最も少い。またコインブラ地方はヨーロッパ中最も雨量の多い地方で、年平均雨量が五、〇〇〇耗の多きに上る。

C 面積・人口 ポルトガルの大面積は三四、二五四方哩にして、一九三〇年一月一日の國勢調査による人口は六、三六〇、三四七人上る。これを一九二〇年の人口五、六二一、九

七七人に比較する時、十年間の人口増加は七三、八、四七〇人にして、約一三%の増加率を示してゐる。また一九三〇年度における人口密度は一平方哩につき平均一八五・六人にして、隣國のスペインの一二二・一人に比較する時、人口密度は一倍半以上である。

D 住民 ポルトガルの先住民はスペインと同様、ケルト系のイベリア族(Iberians)であつたが、同系のゴール人が移住して来てこれと混血し、その後、ラティン系のフェニキア人、ギリシア人、カルタゴ人、ローマ人等が相次いでこの地に植民し、北方よりはチュートン族が南下して來たり、次いでアフリカよりはハム系のバーバリー族とセム系のアラブ族が來て、これ等の各民族が混血して今日のスペイン人及びポルトガル人を形成してゐる。然しポルトガル人はスペイン人に比してセム系とハム系の血液を混ざることを特徴とする。

E 主要都市 ポルトガルの主要都市は首府リスボン及びオポルトである。一九三〇年一月一日

全植民地の面積・人口 (1932年末概算)

Table with 3 columns: Continent, Area (square miles), Population (thousands). Rows include Europe (Portugal, Azores, Madeira), Africa (Angola, Guinea, Mozambique, etc.), and a total row.

註 本國の面積人口には大西洋上のアゾレス群島(Azores)及びマデイラ島(Madeira)を含む

35

マルタ島英領

英・獨 Malta, 佛 Male.

I 歴史 マルタは古代に於ては順次フェニキア、ギリシア、カルタゴ等の支配を受け、次いで第二ポエニ戦争後はローマの領有するところとなり、五世紀より九世紀まではヴァンダル人、ゴート人、ギリシア人等が相次いで占據した。併しながら八七〇年に至り、アラビヤ人がこの地を占領することになった。一〇九〇年以後一五三〇年迄は「聖ヨハネ騎士團」(Knights of St. John)の手中に歸したが、一七九八年に至り、ナポレオンはこの騎士團を分散せしめて、マルタを統治することになった。ついでマルタ人がフランスの統治に對して反亂を起すや、イギリスは一七九八年より一八〇〇年迄本島を封鎖して、一八〇〇年にはマルタの實権を握つた。一八一四年のバリ條約によつて、マルタは遂にイギリス帝國の領土に併合されることになった。

II 政治

立法部は一九二一年のマルタ憲法特許狀(Malta Constitution Letters Patent)の規定により、上院(Senate)と立法議會(Legislative Assembly)とから成立する。上院は一七名の議員より成り、一部は任命議員である。立法議會は三二名の被選舉議員より成る。選舉は比例代表制によつて行はれる。一定の事項は「留保事項」と呼ばれ、憲法の規定するところにして、二重政治のイギリス側である總督が處理す

る。留保事項の中には海、陸、空軍の統制、イギリス帝國の利害、外國貿易、貨幣、移民、條約、外交關係等が含まれて居る。右の總督を輔佐するものは任命參事會(Nominated Council)である。任命參事會は副總督(Lieutenant-Governor)、法律顧問(Legal Adviser)及び海、陸、空軍の上級士官から成る。行政參事會(Executive Council)は總督(Coroner)と内閣(Ministry)とから成る。又樞密院(Privy Council)があり、樞密院は總督と行政參事會及び任命參事會の聯合とから成立してゐる。

一九三〇年に總選舉が切迫した時、統治者側とローマン・カトリックとの間の隔着が尖鋭化し、イギリス政府は憲法を停止して調査委員を派遣した。調査委員の報告は憲法の恢復を有利とし、一九三二年に至り憲法が復活されて、延期せる總選舉が行はれることになった。然しながら、イタリヤ語の代りにマルタ語を公用語とする決定を爲したため、更に一層の紛議が起ることになった。

陸軍は全員三千名のイギリス正規軍が居る。その他、三重砲中隊、一工兵中隊、一步兵大隊がある。また、海軍根據地及び給炭所にして、イギリス地中海艦隊の鎮守府がある。

【總督兼軍司令官】 キャンベル(General Sir David Campbell) 一九三一年六月二十七日任命。【副總督】 リノーケ(Sir Harry Charles Luke) 【首府】 ヴァルレッタ(Valletta)

III 經濟 【財政】 一九三二—三三年度に於ける歳入は九六六、〇四八ポンド、歳出は九七九、九七二ポンドとなつた。歳入の主要財源は關稅であり、同年度に於いて五〇五、二四五ポンドに達した。歳入の主要項目は、司法費一三〇、三三三ポンド、教育費一五三、八五八ポ

ンド、保健及び慈善施設一七六、四八九ポンド等である。

【貨幣】 マルタ島の法貨はイギリス貨幣、イギリス大藏省流通券、イングランド銀行券の三つである。一九三三年三月三十一日に流通せるイギリス大藏省流通券及びイングランド銀行券の額は、概算して六五萬ポンドとされた。その外に英麻銀行(Anglo-Maltese Bank)券及びマルタ銀行(Banco di Malta)券が極く少額發行されて居るが、その流通高は明かでない。【産業】 マルタの主要産業は農業である。主要農作物は小麦、大麦、馬鈴薯、タマネギ、ソラ豆、蔬菜、トマト、秣、ブドウ及びその他の果實、棉等である。農産物の總価格は一九三二—三三年には、六〇九、七八五ポンドに達した。工業製品はレース、綿、針金細工、ビール、タバコ等である。家畜は一九三二年一月三十一日には馬、驢馬、驢馬が一〇、四八七頭、牛四、一二九頭、羊二〇、〇八頭、山羊二八、八五六頭が數へられた。漁業については、一九三二—三三年に、七八〇隻のボートと約三、五〇〇人の漁民があり、その捕獲高は九、九八二ポンドに上つた。

【外國貿易】 マルタの貿易額は一九二九年以來漸次減少し、一九三二年には輸入三、三〇八、一九一ポンド、輸出三五九、二九四ポンドを示し、その外國貿易は連年著しい輸入超過を呈して居る。

積換貿易を除外して、一九三二年の主要輸入品及び価格は、小麦一九五、六三四ポンド、輕油一六六、一九三ポンド、石炭八二、九六六ポンド、麥粉一九、九二〇ポンド、砂糖五九、三七七ポンド、織物三六九、三〇七ポンド、金屬及びその製品一四〇、〇八五ポンド、飼糧三三一、五二三

最近の輸出入

(単位ポンド)

年次	輸入	輸出
1928	3,999,109	556,908
1929	4,041,925	585,870
1930	3,836,260	482,932
1931	3,714,530	499,055
1932	3,308,191	359,294

註 以上の数字はすべて地金及び正貨を包含す

ポンド、葡萄酒八五、五三〇ポンド、石油一、一六、九二三ポンドであり、主要輸出品は馬鈴薯一〇五、〇五四ポンド、タバコ八、六九六ポンド、タマネギ一四、四五五ポンド、皮革類一三、二七八ポンド、クムイの種子七、七九七ポンド、古金屬四、三二〇ポンド等が挙げられる。

【交通】一九三二年、マルタの港に入港した船舶は、二、三二四隻、三、七〇七、三〇一噸に及んだ。一九三二年二月三十一日に於いてヴァレツタ (Valletta) 港に所屬する船舶は、帆船が九隻で六〇二噸、汽船が一七隻で五、二九〇噸、發動機船が九隻で三〇二噸といふ割合であった。

【通信】電話線は七八五哩である。一九三二年の郵送状況は、島内では、手紙及び葉書が一、四一四、六四八、新聞及びその他が一、〇七二、三一八であり、外国通信では、手紙及び葉書一、五〇七、四九〇、新聞及びその他八三三、六〇四が受取られ、手紙及び葉書二、八〇三、〇五一、新聞及びその他一四六、一三三が發送となつて居る。小包は受取が五四、九〇七、發送が八、八〇九となる。

【社會】マルタ島は古來幾度となくその支配者を變へて來た。古代においてはフェニキア、ギリシア、カルタゴ等の支配下にあり、次いでローマの領有に歸し、その後ヴァンダル人、

ゴート人、ギリシア人、アラビアと相次いで侵入を受け、更にナポレオン支配下、次いでイギリスの領有に歸し、現在に至つてゐる。斯かる歴史的、發展過程はこの地における民族、宗教、言語關係を極度に複雑化せしめ、あらゆる社會的紛糾の原因を爲してゐる。

【文化】マルタの公用語は英語とイタリア語である。イタリア語は法廷の記録語とされて居る。英語は行政上の公用語であるが、イタリア語も亦英語を添えて二次的に用ひられる。以上の兩國語とも、大學校及び中等學校に於いて教授上に使用されると共に、勉學の對象である。マルタ語はマルタ諸島で話される言語で、小學校に於いてはマルタ語と英語だけが教えられて居る。マルタ語は又議會及び法廷に於ける言語でもある。

【教育】學校は公立學校 (Public School) が一五七校、大學校が一校、官立高等學校 (Government High School) が一校、官立中等學校 (Government Secondary School) が男女別一校づつ、工業學校 (Junior Technical School) が一校ある。私立學校 (Private School) は四三校あり、その中一二校は國庫の補助を受ける學校である。

【自然】マルタ諸島はシシリ島の南地中海の略中央に在り、主島マルタ島 (Malta) 及びゴゾ (Gozo)、コミン (Comino) の屬島より成る。マルタ島は長さ一七、四哩、面積九五平方哩あり、ゴゾ島は面積二六平方哩ある。マルタ諸島の全面積は一二二平方哩である。人口は一九三二年四月二六日の調査では、二四一、六二一人あり、一九三二年二月三十一日に於いて、軍人を除いた市民の人口は二四八、〇六二人となつた。主要都市及び港としてはヴァレツタ (Valletta) がある。

【經濟】【財政】マン島の財政収入は大部分關稅によつてゐる。一九三二—三三年度における歳入は四九三、三一一〇ポンド、歳出は四四四、六三八ポンドである。

【産業】主要農産物としては、燕麥、大麥、燕窩、馬鈴薯、牧草等が數へられる。一九三三年に於いて、水面積を除く全面積一四、五三、三二五エーカーのうち、耕地面積は七、九、七四、九、五エーカー、恒常牧草地は二、三、一、三、一、エーカーに上る。同じく一九三三年における穀物の收穫面積は一六、三、〇、一、エーカーである。また一九三三年に於ける家畜数は馬三、五五三頭、牛二、〇、六〇六頭、羊一、〇、二、五八七頭、豚三、七三三頭等が挙げられる。一九三三年の礦産物價額は四七、四九六ポンドに上つた。鐵山に使用する人員は四一四人であつた。一九二九年マン島の漁舟は一〇四隻が數へられた。

【交通】鐵道の延長は四六、五哩に及び、うち二五哩は電氣鐵道である。登記船舶の總噸數は一三、〇七八噸あり、その内譯は一九三二年、帆船五隻、三、一五噸、汽船三七隻、一、二、三、八〇噸、發動機船一七隻、三、八三噸となる。一九三一年度におけるマン島の諸港に入港した船舶は、一、〇、五、三、四、二噸、出港した船舶は一、〇、五、五、〇、二噸であつた。

【社會・文化】マン島の住民は多くケルト系のマンクス人であつて、一四世紀以來イギリスの支配下に置かれ、現在に至つてゐる。主として漁業及び牧羊に従事する。一九三三年におけるマン島の小學校は三四校あり、その中三一校まで補助を受ける學校である。一九三二—三三年度に教育部 (Educational Authority) が小學校教育に支出した費用は、總計七、一、七、三、五、三、五ポンドに達する。中等學校が四校あり、夜學校は五ヶ所ある。一九三二—三三

36 マン島 英領

英 Isle of Man
獨 Insel Mann
佛 Ile de Man

【歴史】マン島は中世紀には王國を形成してゐたが、一四世紀以來イギリスの支配下に置かれ、イギリス帝國の一部を構成しつゝ今日に至つてゐる。

【政治】マン島はイギリス帝國の一部を構成するが、コト・オブ・ティンワルド (Convent of Tynwald) により、自らの法律に従つて統治されて居る。コト・オブ・ティンワルドは知事 (Governor)、立法參事會 (Legislative Council)、及び代議院 (House of Keys) の三者から成る。知事は國王 (Crown) が任命する。立法參事會はソーダ島及びマン島 (Soder and Man) の僧正 (Lord Bishop)、二名の判事 (Deans)、検事長 (Attorney-General)、知事の任命する二名の議員及び代議院の選舉する四名の議員、即ち知事を含めて、總計十一名の議員から成る。

代議院は二四名より成り、任期は五年である。代議員の選舉權は、六ヶ月居住の成年者は男女に拘らずこれを有する。マン島は特別に明記がなければ、帝國議會條例 (Act of the Imperial Parliament) に拘束されなす。

なほマン島における警察官は、一九三二年現在においては六五人を數ふる。

【知事】バトラー (Sir Montagu Butler) 一九三三年任命。
【首府】ダグラス (Douglas)

年度における高等の教育に投じた費用は總計二七、四七五ポンドに上る。

【自然】マン島は大ブリテン島の屬島を構成する。アイリッシュ海上にあり、大ブリテン島の西方五軒、アイルランド島の東方四八軒の位置にある小島である。マン島は北東より南西に亘つて長く、その長さは五一・五軒、幅は九軒二平方哩ある。人口は一九三二年四月二七日に於いて二四八、〇六二人あり、人口密度は一平方哩につき約二二三人となる。

【主要都市】首府ダグラス (Douglas) の人口は一九三二—九三年の國勢調査によつて、その他の主要都市は次の如し。ラムゼー (Ramsey) 一四、一九八人。ピール (Peel) 一、四六二人。キャスタウン (Castletown) 一、七二二人。

37

モナコ 立憲君主國

英・獨 Monaco

【歴史】西曆九六八年以來、モナコ王國はグリマルディア家 (House of Grimaldi) に屬す。その後、一七三一年アントニー一世 (Antony I) の死後、その女ルイズ・ヒポリター (Louise Hippolyte) は女統を以つて王位を繼承す。ヒポリターは在位僅かに十ヶ月にして死去したため、その夫たるトリニー伯 (Count of Thorigny) たるシヤック・ド・ティアイヨン・ド・モン (Jacques de Gyon Matignon) はシヤック一世 (Jacques I) の名の下に王位を繼承し、ヴァランソニア公 (Duc

de Valentinois) と稱す。その子オノレ三世 (Honore III) が王位を繼承するも、一七九三年に至りフランス革命の影響を受けて同國はフランスに併せらる。その後、一八一四年に至り、彼の子オノレ四世 (Honore IV) によつて同國は再興せられ、翌年のウィーン條約 (Treaty of Vienna) によつて、サルゲニア王國の保護を受けることとなつた。

その後、フロレスタン (Florestan) の治世中、アントン (Antoine) 及びロカフルネーナ (Rocabruna) の二領地は反旗を翻し、サルゲニアの保護の下に各々自由市たることを宣言した。その子チャールス三世 (Charles III) は一八六一年に至りこの二領地をフランスに譲渡した。斯くて同國はサルゲニアの保護を離れ、フランスの保護の下に一九一一年憲法を制定し、立憲政治を布き、今日に至る。

【國王】ルネイ二世 (Prince Louis II) 一八七〇年七月二日誕生、一九二二年六月二六日父アルベール大公 (Prince Albert) の後をつぎ即位す。

【首府】モナコ市 (Monaco Ville) 人口二、〇二〇人 (一九三三年)

【政治】モナコは世襲立憲君主國にして現行憲法は一九一一年一月五日の制定にかゝるものにして、國會 (Conseil National) は普通選舉、無記名投票によりて選出せられることを規定する。

【行政】行政權は太公の下における一名の國務大臣 (Ministre d'Etat) 之れを行ひ、元老院の輔佐をうく。

國務大臣—ブーイニョー、ラフォン (M. Bouin-Houy Lafon)
【立法】立法權は太公と國會の權限に屬し、國會 (Conseil National) は任期四ヶ年の二一名

の議員より成る。國會議長は太公によつて任命される。

現議長—アンリ・セチモ(M. Henri Sottino) 現副議長—アルチュール・クロウヴェット(M. Arthur Crovetto)

【司法】一八一九年、モナコ政府はフランス法典を採用し、第一審裁判所(First Instance)及び治安裁判所(Juge de Paix)を設立して、その裁判事項を掌らしめてゐる。

【地方自治】國內は三の地方自治體(Commune)即ちモナコ市(Monaco Ville)、モンテカルロ(Monte Carlo)(La Condamine)、モンテカルロ(Monte Carlo)に區分される。三自治體にはそれぞれ一般投票によりて選出される市會あり、行政にあたる。婦人には選舉權なし。

【經濟】モナコ公國の財政は殆んどすべて賭博税によつて賄はれてゐる。賭博公認料の年額は一九一七年以後は八萬ポンド、一九二七年以後は九萬ポンドにして、一九三七年以後は十萬ポンドと定められてゐる。

その他、この國の一般經濟の統計は明かでない。要するにモナコの經濟は娛樂場によつて支へられてゐる。大規模な賭博場、それに附屬する各種の娛樂機關は、また風光明媚、氣候溫和、ヨーロッパ最大の健康地であるため、避暑地、等々にヨーロッパ各國は勿論、世界から集る觀光客の落す金は年々莫大な額に上る。その他、レモン、オレンジ、オリヴ等がよく實り、カーネーション、その他の草花が盛んに栽培せられ、香水、火酒の産もある。

交通機關には陸路は鐵道により、海路は汽船による。その港は面積四二二エーカーの小港なるも完全に風波を遮ぎれる良港にして、水深は港口において九〇呎、埠頭附近は最深二四フイートである。またその關稅制度はフランスにおけ

ると同様である。

【社會】モナコはフランスの政府保護の自治王國で、半人半獸のモノコスから轉じてモナコの國名となる。モナコは氣候良好で、レモン、オレンジの實、オリヴ油、カーネーションの栽培多く、社會生活は甚しく恵まれてゐる。モナコの公設賭博場は、一八五六年デヴルースとルフェブルがカジノをモナコに設け、大いに人氣を博し、更に港の東、モナコ灣をへだてたモンテカルロに移し、大規模の公設賭博場を設立す。これは主としてフランス人、ブラントカミール・ブランの兄弟が力を盡し、當時、モナコは財政の危機に立てるのを救ふ目的のため設立される。國家的な保護の下に發達し、今日では財政の基礎をなしてゐる。モンテカルロのカジノの建築は一八七八年のルネッサンス様式である。モナコ海水浴場、娛樂場、温浴場等贅美の限りを盡したものである。モナコの社會状態はかくて全く消費的なる經濟の上に形成されてゐる。

【文化】ヨーロッパの最も優秀なる遊山地であり、この意味の享樂的文化は遺憾なく發達し、こゝに全歐洲の流行の尖端が誇示されてゐる。

現國王の父アルベール一世は有名なる海洋學者であり、一九二二年に崩御、海洋研究を専門とし、一八八五年海流線を案出し、海流の流動と速度の研究を行ふ。王位に即くや二〇〇噸の帆船イロデーニ號を造り地中海の海洋調査を行ひ、後一四二〇噸、千馬力の大汽船にて、地中海、大西洋赤道部から北方北海に至る北大西洋全體の海洋の理化學、生物學、水産學一般の研究をなす。一八九五年には捕鯨をなし、鯨の研究を企て、有齒鯨類の餌物は二五—三〇フイートの大柔魚類(Lepidiontheus grimaldi)を食する

ユーゴスラヴィア

立憲君主國

Krajevina Jugoslavias, 英 Yugoslavia, 獨 Jugoslawien, 佛 Yougoslavie.

I 歴史概観

一、建國 ユーゴスラヴィアは、セルブ、クロアチヤ人、スロヴァキヤ人(セルビヤ人、クロアチヤ人、スロヴァキヤ人)を合併して一九一八年一月に建國する。モンテネグロもこれに合併する。かくて國內には民族的對立は非常に重大であり、これが今後のヨーロッパ政局の極の如く感じられる。一九二〇年には共產主義的農民黨がステファン・ラザイチュに率ひられて大勝利を得。併しこれに對し民族的右翼政策は次第に盛んとなり、農民と労働者の共同戦線は實現しなかつた。一九二一年六月に中央集權的な軍國主義的憲法が制定せらるゝに至つた。共產黨は徹底的に弾壓せられた。

二、農民運動 パシチヌ、バリビチエウィッチ政府は益々右翼化し、農民大衆はかくて一九二四年一部は左翼化して農民インテリゲンチヤナルに参加す。なほこの後政府の彈壓は益々強化し、一九二八年八月ラザイチュは議會内で暗殺され、かくて共和主義運動は全く抑壓せられた。なほ本來マケドニヤの原住民はその民族運動を始め、政府によつて極度に排撃される。

三、ファシスト獨裁 セルビヤのアルジョアジューは國王アレキサンダーを戴いて、軍事的ファシスト的獨裁を實現した。一九二九年一月六日勅令によつて憲法改正され、議會及び政黨はす

べて解散、絶対君主獨裁となる。ジフコウィッチはこの軍事的ファシストを強力に實行し、テロルをもつて農民層を壓迫。なほ民族問題は非常に悪化し、國內を「パノウォン」と呼び九つの行政區に分割し、少數民族を極度に抑壓す。かくて、ハンガリー人、クロアチヤ人、マケドニヤ人の間には益々反抗的色彩が濃厚となり、遂に一九三四年、國王アレキサンダーをマルセイユにおいて暗殺するに至る。

四、最近の國際事情 ユーゴスラヴィアは建國以來フランスの勢力下にあつた。それはイタリアのユーゴスラヴィアに對する壓迫が兩者を接近せしめるに至つたのである。ユーゴスラヴィアはフランスの中歐政策の根源地であり、またドイツ封鎖の重要な連鎖である。なほこゝは白系ロシア人の主要なる亡命地となつてゐる。なほイタリアとの悪化は一時その極點にまで達し、國際聯盟の平和的取扱ひによつて辛くも暫定的に今日の情勢を保持してゐるに止まつてゐる。

II 皇室

國王—ピーター二世(Peter II)、一九二三年九月六日誕生、一九三四年一〇月九日、マルセイユにおいて暗殺せられた父王アレキサンダー一世(Alexander I)の後を繼いで即位。(アレキサンダー一世の暗殺事件に就いて詳しくは

を發見、更に抹香鯨の腸内の膾涎香は、この柔魚類の嘴や他の固形物による腸内壁の負傷に對する病的分泌物を發見。一九〇二年、地中海シブラルタル海峽の西方表面下八百キロに九・五度なる高温度にてしかも鹽分濃厚なる海水を發見、これが地中海水の底流の旋回を明かにす。かくて一九一〇年に至り世界最高の海洋博物館を建設し、館内の設備は完全を極めてゐる。

【自然】南フランスの地中海に臨む一小國にして、佛伊國境に近く、ニースの東北東約一五軒のところにあり。面積は一四九ヘクタ(三七〇エーカー)にして、一九三三年一月一日の調査によれば、その人口は二二、一五三人である。うち、モナコ(Monaco)二、〇二〇人、ラ・コンダムイン(La Condamine)一〇、七〇五人、モンテカルロ(Monte Carlo)九、四二八人である。

モナコ公國は海岸アルプス山脈の地中海に迫るところにして、北は完全に高地によつて覆はれ南は景色の勝れた地中海に面し、フランス南岸に特有なミストラルといふ強風も無く、氣候極めて温暖にして、健康に適する。一月の氣温は平均攝氏一〇度、八月は二五度、年平均一五度である。

「政治の動勢」を参照。

皇太后—マリイ(Marie)、ルーマニア故國王フェルディナント一世(Ferdinand I)とマリイ皇后との間に一八九九年一月九日誕生、一九二二年六月八日故アレキサンダー一世と結婚、その間に現國王ピーター二世の外に、トミスラヴ殿下(Prince Tomislav、一九二八年一月一日誕生)、アンドレイ殿下(Prince Andrija、一九二九年六月二日誕生)を儲く。

III 政治

A 政治機構 ユーゴスラヴィアは、歐洲大戦の結果、セルブ・クロアチヤ・スロヴァキヤ王國(Kingdom of the Serbs, Croats and Slovenes)の名の下に一九一八年一月建國された世襲立憲君主國にして、一九二九年一〇月三日の勅令によりユーゴスラヴィアと國名を改稱するに至つたのである。その後一九三一年九月三日に、至り新憲法の發布を見、立憲世襲君主國となり、故アレキサンダー一世の獨裁政治は終つた。王位は嫡子相續の順序に従つて直系男子これを有し、男子相續なき場合は王がその繼承者を指名することが出来るが、王が指名せざる場合は上下兩院が會して王家の中より選出する。繼承者が一八歳以下の場合には王はその遺言書或は特別な文書によつて攝政を指名するが、指名なき場合には、兩院が會して繼承者が成年に達するまでの攝政を指名する。一九三四年一〇月九

日、故アレキサンダー一世がマルセイユにて暗殺せられた結果、幼少のピーター二世即位を見、攝政が置かれてゐる。

【首府】ベルグラード (Belgrade or Beograd) 人口二四一、五四二人(一九三一年國勢調査)。

B 行政 一九二九年一月六日、政黨政治の腐敗と紛糾の救済策として、國王アレキサンダー一世によりクーデターが強行され、議會は解散せられ、國王の獨裁制施行せられた。その後、一九三一年九月三日に至り新憲法發布せられ、名目上立憲政治復活せられるに至つたが、實質上その獨裁制には變化を見ない。

現内閣はユーゴスラヴィア國民黨の首領、ウズノヴィッチを首班とする内閣にして、一九三四年一月二七日親任を見たものである。その關係の瀕瀕は次の如し。三四年一〇月における國王の兇變により内閣は改造を見た。詳しくは「政治の動勢」を参照。

- 首相 ウズノヴィッチ (Nikola Uznovitch)
外相 エウチニッチ (Bogoljub Uvitch)
内相 ラシッチ (Zivojin Rasitch)
選相 ラズニッチ (Lazar Radivojevitich)
國防相 ストヤンヴィッチ (General Dragomir Stoyanovitch)
藏相 ゲオルゲウイッチ (Dr. Milorad Georjevitich)
商工相 テメトロウイッチ (Yury Demetrowitch)
文相 シチモノウイッチ (Dr. Iliya Shukovitch)
法相 ヤキモウイッチ (Bozhidar Maximevitch)
社會・保健相 ホウツトリ (Ivan Poutseij)

鑛山・森林相 テメトロウイッチ (Yury Demetrowitch)
農相 スルクリ (Dr. Stepan Skuli)
公務相 スルクリ (Dr. Stepan Skuli)
體育相 ハンシュク (Dr. Lavoslav Hanzhek)
C 立法 立法権は國王と議會 (Narodno Prestavništvo) に屬す。議會は嘗ては一院制なりしも、一九二九年一月六日國王のクーデターによつて廢止さる。

一九三一年九月三日、新憲法の發布を見、ここに新しく二院制の議會成立す。即ち議會は上院 (Senat) 及び下院 (Skupstina) より成る。上院議員は任期六年で、その半数は三年目毎に改選される。議員の半数は王が任命し、半数は選挙による。選挙権は二一歳以上の男子にあり。上院の選挙権は下院議員、州議員及び市長に限られてゐる。被選挙権は四〇歳以上の市民にして人口三〇〇、〇〇〇人以上の割合で選ばれる。下院議員は直接選挙者の口頭によつて選挙される。三〇歳以上のものは被選挙権を有する。下院議員は現在定員三〇五名、人口五〇、〇〇〇人に一人の割合で、任期四年とする。上下兩院とも一〇月二〇日に開會し、會期は新豫算の通過するまで續く。國王は議會の召集、停會、解散の権を有する。

【現議會】 上院は一九三二年一月三日の選挙にかかり、總員七六名、うち二九名は國王の任命、四七名は民選による。下院は一九三一年一月八日の選挙により、總員三〇五名である。以上、兩院の選挙ともアレキサンダー一世の獨裁下に行はれ、従つて上下兩院議員ともすべてユーゴスラヴィア國民黨 (Yugoslav National Party) に屬する。現在の上下兩院の議長は次の如くである。
上院議長 — Dr. Ljubomir Tomashich

の民族自決主義はこれ等南スラヴの諸族を合同團結せしめた。かくて國內にはセルビア人對クロアチア人間の闘争が烈しく、これがアレキサンダー一世の暗殺を惹起した。

【國境問題】 國境はフューメを除き一九二二年四月のラパロ條約にて定めらる。フューメはファッシストの攻勢のために一九二四年一月の協定にてイタリアに與へられ、パロシュがユ國に割讓さる。一九二三年一月にはギリシャと協定してサロニカ港に自由地帯を得、なほ一九二八年にはここに三十五萬平方メートル(陸地十九萬三千平方メートル、海面十五萬八千平方メートル)を占めた。これはイタリアによるアドリア海の壓迫の反作用であつた。二九年に國境が定まり、セルビア人が全國國家機構を左右し、國王もセルビア人の血族にて、イタリア、ドイツとの對立は大であり、フランス外交とは最も密接な關係を續く。なほユーゴスラヴィアにはファッシスト運動は成功せず、三四年六月にはこの運動を政府は排撃の宣言をなしたが、積極的な壓迫行動には出てゐない。

【最近の外交關係】 「國王の暗殺」は一時、佛、伊、ユーゴ間に重大なる危機を孕んだが、問題はユ國內の民族闘争に起因したものと判明して、この爆發を幸くも防いだ。三四年三月には佛國バルツ外相は首都ベルグラードを訪問して、對獨封鎖協定を益々確實にし、且つその同盟を企圖した。またバルカン半島の諸國は、ユーゴ以外はすべて現状打破主義を目的としてゐる。この背後に立つものはイタリアのファッシストの運動である。ユーゴスラヴィアはイタリア、ハンガリーの委任統治を樹立することに反對し、それにはフランスが共同的に反對する。イタリアとの關係は第一期は兩國關係の悪化を防ぎ、平和中にアルバニアをユ國外權ニシテ

下院議長 — Dr. Kosta Kumanđić

D 司法 司法権は獨立した國家の裁判所によつて施行されてゐる。第一審裁判所は地方裁判所、その上に控訴院あり、最高裁判所として大審院がある。その他に行政立法部の特別裁判所があり、國會が最高の行政裁判所となつてゐる。

E 政黨 アレキサンダー一世は、腐敗せる政黨政治を打破し、政界廓清の目標の下に一九二九年一月六日、勅令を以つてすべての政黨の解散を斷行し、以つて獨裁政治を確立した。然るに一九三一年九月三日の新憲法によつてその獨裁政治は立憲化せられしも、既成政黨の再組織は同様に禁止せられ、たゞ政黨が地方的、或は宗教的、或は階級的區分に從つて組織されたる場合に限り許可せられることとなつた。

【ユーゴスラヴィア國民黨】 (Yugoslav National Party) 正し、名稱は「ユーゴスラヴィア國民黨」にして、同黨は一九三一年一月八日の選挙に議員候補者名簿を提出するため、チウコウイッチ將軍 (Pera Zivkovich) 及びその他の獨裁政權の官吏達によつて全國的規模において組織せられたものである。同黨は所謂「國民的統一」を目標とし、以つてアレキサンダー一世の獨裁政權の一層の強化を企圖する。一九三一年一月の選挙におきては「三三〇名の議員候補名簿を提出し、二、三二四、一四五票の投票を得、三〇五名の代議士が當選を見た。従つて現在下院(上院と同じ)はすべて同黨の代議士によつて構成されてゐる。これ等のうち、一四五名は嘗ての急進黨(Radical Party)のメンバー、五七名は民主黨(Democratic Party)のメンバー、二八名はクロアチア農民黨(Croat Peasant Party)のメンバーである。

チは狙つた。このために伊・兩國間に「ツネノ條約」が成立。その後一ヶ年半にしてイタリア、アルバニアに「チラナ條約」が成立して、ユ國は俄かにイタリアと對立するに至つた。一九二七年には佛國間に條約が結ばれ、伊・アルバニア間に第二チラナ條約が成立、かくて一九二八年八月、ユ國外相マリノウイッチは急いで「ツネノ條約」を結び、イタリアの進出を條約的に防止せんとした。併し三一年以後も兩國間の對立は益々劇しく、ウイーンのアルバニア皇帝狙撃事件、イタリア亡命の反政府黨員ベルテック暗殺未遂事件には、更にその對立は激化した。特にイタリアによるハンガリーの積極的な支持のためにイタリア武器が発見され、伊・ユの對立は益々深刻化する。なほオーストリア獨立問題には伊・ユとは共同的でありながら、ユ國はイタリアのドナウ計畫には正面的に反對した。アレキサンダー一世のフランス訪問は、イタリアとの協定及びオーストリア問題の解決であつた。

【國王暗殺事件】 文化程度の低いセルビア人が國權を振ること他民族は反對す。セルビア人、モンテネグロ人はギリシア・カトリックで、後援をコンスタンチノープルに求め、ロシア舊勢力と結び、クロアチア人等はローマン・カトリックでウイーン、ブタペストと結び、かくてムソソリーニはこのカトリック・プロックを利用せんとする。

なほイレデンタ運動はクロアチア州自治運動をなし、背後にハンガリーがあり、中欧カトリック・プロック結成はハンガリー、チェコスロヴァキア、ポーランドを結び、ユーゴスラヴィアに當らんとする。なほクロアチアは舊オーストリア領であり、オーストリア、イタリアの親近關係は必然に、クロアチアの問題にも及ぶ。これ等の問題が遂にアレキサンダー一世の暗殺事件

の外交はバルカン問題の中心をなしてゐる。國內には錯雜する民族、宗教關係を有し、セルブ、クロアチア族を主とし、他にモンテネグロ、スロウエニヤ、ボスニヤ、ヘルツェゴビナ、ダルマチヤ諸族を混在せしめ、これをウエルサイエ

の外交はバルカン問題の中心をなしてゐる。國內には錯雜する民族、宗教關係を有し、セルブ、クロアチア族を主とし、他にモンテネグロ、スロウエニヤ、ボスニヤ、ヘルツェゴビナ、ダルマチヤ諸族を混在せしめ、これをウエルサイエ

の外交はバルカン問題の中心をなしてゐる。國內には錯雜する民族、宗教關係を有し、セルブ、クロアチア族を主とし、他にモンテネグロ、スロウエニヤ、ボスニヤ、ヘルツェゴビナ、ダルマチヤ諸族を混在せしめ、これをウエルサイエ

を起し、更に三五年一月、ハンガリーとの問題を国際聯盟に提起した。【他の諸國關係】東隣接國ルーマニアは皇室の姻戚關係であり、小協商國の一員で、ユーゴスラビアとは共同の利害關係を有してゐる。併し佛、露の接近は、中歐バルカンの新しき轉向となり、ユーゴスラビアは一層ルーマニアと接近を必須とし、ブルガリアとの對立が次第に深刻となつた。併しフランス外交政策によりブルガリア新内閣ゲオルギエフの政策にてブルガリアは、ロシア、ユーゴと接近するに至つた。かくて三スラヴ國の提携にてルーマニアはポーランドと結ばんとする。

併しなほユーゴスラビアは決して親密ではなない。またマケドニアのブルガリア自治運動が、ユーゴスラビアの反目的の因をなしてゐる。これをコミターザ運動と云ひ、活動はテロ的であり、ユーゴスラビア、ギリシヤの間を危しき革命の波がマケドニア反亂もこれの表出である。なほユーゴスラビアはアドリア海制海權にて常にアルバニア問題を中心として對立してゐる。かくてアルバニアのイニシヤチヴを兩國は盛んに窺つてゐる。これが今後のユーゴ外交の重大なる懸案となつてゐる。

G 國防 【陸軍】 徵兵制度で、服務年齢は二一歳より四五歳まで。戦時は一八歳より二一歳まで及び四五歳より五〇歳までのものも武装に堪へるものは召集される。現役は一〇年、入營期間は一八ヶ月、殘部は時々訓練のために召集される。三一歳より三八歳までを第二豫備、三八歳より四五歳までを第三豫備とする。國內は五司令區に分けられ、一司令區に二騎兵師團、歩兵、砲兵各一六旅團がある。一九三二—三三年における現役の平時兵力は士官七、

一三三名、兵一〇五、四八七名、憲兵隊は士官及び兵卒を合せ一〇、八四八名である。またその動員兵力は約百萬に上る。

【空軍】 ユーゴスラビアの空軍はすべて陸軍に屬し、陸軍航空隊は兵力一〇、八一〇名、飛行機五六八機あり、一八編隊を以つて一聯隊をなし、六航空聯隊がある。

【海軍】 ユーゴスラビアの海軍勢力は驅逐艦一(一、八八〇噸)、潜水艦四(二、八八〇噸)である。

H 政治の動勢 ユーゴスラビア王國(前名セルブ・クロアチア・スロヴェニア王國)は一九一八年南スラヴ民族の大同團結によつて結成せられたるも、建國以來、國內においてはセルビア人、クロアチア人、スロヴェニア人などの間には融和を缺き、政黨は小黨に分裂して、頻々たる政變を見、政局の安定を見る事が出来なかつた。斯かる情勢のうちに一九二八年に至り議院内における議員殺傷事件に端を発してセルビア人對クロアチア人の對立は一段と激化し、兩者の抗争による政局險惡なるうちに、遂に一九二九年一月六日に至り、突如として國王アレキサンダー一世は勅令を發布して既政黨の解散を強行し、專政獨裁政治を布くに至つた。

【獨裁政治の立憲化】 斯くてユーゴスラビアはアレキサンダー一世の獨裁下に嘗つて政黨政治の弊害を打破しつゝ、一意新秩序の確立に努力し、その後、アレキサンダー獨裁政權の一段の強化と共に一九三一年に至りその立憲化が計られ、一九三二年九月三日に至り、新憲法の發布を見、アレキサンダー一世の專制的獨裁はこゝに一應の發展的解消を見るに至つた。然し新憲法による立法院たる議會は二院制が採用せられたるも、所謂「既成政黨」の禁は解かれず、

【内閣の更迭】 その後、一九三二年四月四日に至りツィツコヴィッチ首相(Živković)の辭職を見、外相マリノヴィッチ博士(Dr. Vojislav Marinković)が首相となり、他の閣僚は留任した。その後、再び六月二十九日に至りマリノヴィッチ首相の辭職となり、ルルプ人セルシュキツ博士(Seršić)が後繼首相となり、更に一九三四年一月二十七日に至り、現首相ウズノヴィッチ博士(N. Uzunović)の就任を見、現在に至る。

【マルセーユの兇變】 ユーゴスラビア國王アレキサンダー一世(Alexander I)は一九三四年一月九日、フランス訪問の途次、マルセーユにおいて出迎へのパルツィ佛外相(Louis Barthou)自動車同乗中、一クロアチア人テロリストの襲撃を受け、而してまた犯人もその場において射殺せられて遂に兩者とも絶命するに至つた。

官を暗殺した爲め三二年死刑の宣告を受け、のち大赦の恩典に浴して出獄すると共に國外に逃れてクロアチアのテロリスト團體に加入、爾來絶えず國王暗殺の機会を狙つてゐた。

【ビーター二世の即位】 斯くてその結果、イギリス留學中の皇太子ビーターは一〇月一日、僅か一歳にて即位し、故アレキサンダー一世の遺言により、攝政として、故王の従弟パウロ公(Prince Paul)、上院議員スランコヴィック(R. Štorković)、ザグレブの總督ペロヴィック(J. Perović)の就任を見た。

【内閣の改選】 これより先き國王崩御と同時に、憲法の規定によりウズノヴィッチ首相は直ちに總辭表を提出したるも、攝政府により一旦却下された。斯くて内閣は一〇月二〇日の御大葬の終るを待つて再び改めて辭職を提出し、一〇月二三日に至り再びウズノヴィッチを首相として重大なる變化を見ずして再組織された。

III 經濟

A 財政 ユーゴスラビアの財政は漸次緊縮され、殊に一九三二—三三年度には嚴格な節約が行はれた。即ち豫算では歳入出とも一、三三三、二〇〇千デナールとなつて、經費節約によつて

最近の歳出入概算 (單位千デナール)

Table with 3 columns: Year, Income, and Expenditure. Data for years 1929-30 to 1934-35.

歳入 歳出 1929-30 14,643,851 12,464,475 1930-31 13,776,458 13,348,013 1931-32 13,692,022 13,210,304 1932-33 11,323,200 11,323,200 1933-34 10,973,579 10,438,327 1934-35 10,171,260 10,171,250

主要歳出入 (1933-34年度豫算)

Table with 4 columns: Category, Income (千デナール), Expenditure (千デナール), and Sub-category. Includes taxes, government business, and other items.

歳出を九、四八八、五〇〇千デナールまで緊縮した。然るに歳入は一層減少して九、四三一、四〇〇千デナールとなり、結局五七、一〇〇千デナールの歳出超過に終つた。これを一九二九—三〇年度に比較して見るに、歳入は五、二二二、四五一年度千デナールの減少に當り、歳出は二、九七五、九七五千デナールの緊縮となつてゐる。一九三二—三三年度までは、財政の收縮に拘らず、歳入超過をつけてきたが、連年歳入の減少が歳出の緊縮よりも大きく、遂に一九三二—三三年度に至つて歳出超過となり、財政の悪化が均衡状態を破壊するに至つた。

【主要歳出入】 その歳入において最も主要なものは國家企業收入で、一九三三—三四年度豫算では歳入總額の約三分の一を占め、これに次いで間接税、直接税、專賣收入等が主なるものである。またその歳出においては國防省が最大にして、一九三三—三四年度豫算では、歳出總額の五分の一以上を占める。その他、年金、教育費等が主なるものである。

【國債】 一九三二年七月一日における外債三二、七六三、二四二、六三六、デナール、内債六、〇二〇、三一五、〇〇〇デナール、總計三八、七八三、五五七、六三六デナールに上る。

B 金融 主要銀行はユーゴスラビア國立銀行で、ベルグラードにあり、拂込資本金一八〇、〇〇〇、〇〇〇デナール。一九三四年二月二日における紙幣流通高は四、一六一、七〇一、〇〇〇デナール。紙幣擔保は金及び外國爲替一、八五二、四〇三、〇〇〇デナール、證券及び貸出金(國家及び個人)二、一六六、四九三、〇〇〇デナール。輸出銀行(Export Bank)は外國に代理店を持ち、國內産物の輸出を助長してゐる。國立抵當銀行(Dr. Zavisna Hipotekarna Bank)は國內におけるこの種の國家機關としては唯一の大機關で、農業の進歩に大いに寄與してゐる。特權土地銀行(Prištejski Agrarni Bank)は一九二九年七〇〇、〇〇〇、〇〇〇デナールの資本金を以つて農民の利益のために創立されてゐる。これら諸銀行の一九三三年一〇月一日における預金總計は九、八六七、〇〇〇、〇〇〇デナールである。また郵便貯金は一九三二年末において口座数二一六、九五七、預金總額四四二、六七四、〇〇〇デナールに上る。

C 貨幣 一九三一年六月二十八日よりデナール(dinar)は純金二六・五ミリグラムに相當する値に安定された。即ち一デナールが一金貨デナールに等しく、また一〇〇デナールは九・一三スイス・フランに等しい(一ポンドは約二七六デナール)。國立銀行は發券銀行として、法律によつて銀行の未済債務の三五%以上に相當する金或ひは外國通貨を保有し、そのうち少くも二五%は金を保有する義務あるものと

されてゐる。流通してゐる紙幣には一〇、一〇〇、一〇〇〇の各デナール及び一〇〇、一〇〇、一〇〇〇の各デナールに等しい）があり、金属貨幣には〇・二五、〇・五〇、一、二の各デナール、銀貨は一〇、二〇の各デナール（銀含有量五〇％、重量はそれぞれ七及び一四グラム）がある。一九三二年八月三日の法律によれば新銀貨五〇デナール（銀含有量七五％、重量二二グラム）が発行されることになつてをり、全銀貨の発行額は一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇デナールとなる筈である。

【度量衡】メートル法が一八八三年以來實際に用ひられてゐる。ワーゴン（Wagon）は一〇メートル噸に等しく、石炭、根菜類、穀物等を計る単位として用ひられてゐる。

D 生産 【農業】 全面積二四、七五四、一六六ヘクタールのうち、一九三二年における耕作地面積一三、九五三、七四三ヘクタール。一九三二年における主要農産物の耕作地面積及びその産額を示せば次の如し。

主要農産物 (1932年) 表。種別、面積(ヘクター)、産額(噸)の表。

【畜産業】 一九三三年一月一日現在における家畜飼養数は、馬一、一五六、九九九頭、騾馬一六、四九九頭、驢馬一、一四七、九九九頭、牛三、八一二、二〇八頭、羊八、五一〇、四四一頭、豚二、八六三、一七七頭、山羊一、八七一、六一八頭で

【主要輸出品】 ユーゴスラヴィアの輸入に於いては綿及び綿製品が最大なものにして、輸入総額の約二割以上を占める。これに次ぐものは鐵及び鐵製品と羊毛及び羊毛製品との二つであり、いづれも總額の二割内外を占める。またその輸出においては木材と玉蜀黍が最大にして、輸出総額の約二割内外を占めてゐる。その他、豚、卵、生肉等を主たるものとする。

主要輸出入品 (1933年度)

主要輸出入品 (1933年度) 表。輸入品、輸出品の品名と単千デナール単位の金額の表。

【貿易相手國】 ユーゴスラヴィアの主要貿易國はオーストリア、チェコスロヴァキア、イタリア、ドイツ、イギリス、ハンガリー、フランス、ルーマニア、アメリカ合衆國、ギリシア等である。

F 交通 【道路】 一九三三年における公道は一、四二二哩に上る。道路建設五ヶ年計畫は一九三一年に決定され、四五〇哩の道路を六〇

ある。 【林業】 一九三一年における森林面積は一、〇六八、六三七ヘクターで、最も森林の多いのはボスニア及びヘルツェゴヴィナである。山毛櫨、樺、樅等が多いが、比較的利用されてゐない。年平均伐採量は約五三〇百萬平方フィートに上る。

【工業】 最も重要なもの、一つは製粉業で、特にバナカ(Banica)に多く、国内に大製粉工場が五〇ある。醸造業も廣く行はれ、紡績、織物、製革、製靴、陶器、製鐵等の諸工業も盛んである。絨毯製造はセルビアにおける最も古い産業の一つで、主としてセルビア南東のピロツト(Pirots)で行はれるので、絨毯もその名を附せられてゐる。その特徴は純粋な羊毛で製せられ、地方の染色業者によつて天然の色素で染められるといふ點にあるが、この染色業者は、その染色の過程並に色素の配合方法を各々秘密にしてゐる、その子にのみ傳へることとなつてゐるので、その方法はピロツトの住民にしか知られてゐない。肉類の包装工業も次第に重要視

【船隻】 一九三三年七月一日における汽船は一六七隻、三三二、二〇〇噸、モーター船は一三隻、二、二六七噸、總計一八〇隻、三、七四、四六七噸に上る。一九三二年における国内諸港の入港船舶は九一、四九五隻、一五、八四三、〇〇一噸で、そのうちユーゴスラヴィア船は八二、九六四隻、一、二〇、四八、四六九噸である。国内水路は主としてダニューブ(Danube)、サウ(Save)、ドラウ(Drau)、ティサ(Tisa)、クワ(Kupa)、タニッシュ(Tanish)の諸川及び三個の水道で、全長一、一八二哩あり、これら水路に船が水運に當り、そのうち六六％は國有船で、殘部が私立會社の所有船である。

【航空】 旅客用の最初の航空路はベルグラードとザグレブ(Zagreb)との間に一九二八年二月間開かれた。現在ではベルグラード・スコプリエ(Shoprie)間に航空路がある。國際定期航空路はベルグラードとパリ、ソフィア、ブカレスト、コンスタンチノーブルの間にある。

G 通信 一九三二年における電信線は一、二、一七哩、電話線は一〇、三五一哩に上る。また一九三二年において郵便局數四、〇〇三、電信局數一、八一九である。電話局は中央局一、二三〇及び自動連絡中央局五、加入者總數三九、一〇一名、公衆電話呼出局數一、二五〇に上る。

V 社會 バルカンの戰禍の中心であり、大戦によつて

され、原紙及び紙の製造工業も重要である。 E 外國貿易 ユーゴスラヴィアの貿易額は近年減少をつゞけた。即ち一九二九年の貿易總額一五、五一六、四五八、二五一デナールに比較して、一九三三年の貿易總額は六、二六〇、三六〇、七七一デナールと、凡そ五割九分の減少となつた。これを輸出入の各々について見るに、輸入が同期間に於いて約六割二分減少したるに對し、輸出は約五割四分の減少に當つてゐる。輸出の減少率が輸入の減少率よりも小なることは、同國の貿易が貿易總額の著しい減少にも拘らず、頗る順調に推移したることを物語る。而して最近五ヶ年の貿易狀況は一九三〇年を例外として連年輸出超過をつゞけ、漸次好調を辿らんとしてゐる。かかる貿易の好化は全く同國の豊富な林産物、農産物に歸せらるべく、農業恐慌の嵐が過ぎ去るとともに益々順調な歩みをとるつつある。

最近の輸出入 (單位デナール)

最近の輸出入 (單位デナール) 表。年度、輸入、輸出の金額の表。

輸入品の主なるものは、綿及び綿製品六八六、八三三デナール、鐵及び鐵製品二七、七、九一〇デナール、羊毛及び羊毛製品二六三、〇四六デナール等である。

建設せられた新興國である。国内は諸民族の合成であり、セルビア人三五％、クロアチア人三三％が主であり、その他にスロヴェニア人九％、マケドニア人四・五％、ドイツ人四・三％、ハンガリー人三・九％、アルバニア人三・七％、その他にルーマニア人、モンテネグロ人、ユダヤ人等を二・六％有してゐる。かくしてユーゴスラヴィアの社會はその農民對ブルジョア、農民對労働者の對立が烈しいのみならず、特に民族問題が重要な焦點をなしてゐる。農村土地を分析的に見れば、セルビアは、主として小經營であり、クロアチア、スロヴェニア等には封建的大經營が残存してゐる。ボスニア、マケドニアも同様の状態である。一九二九年一月一日に北部地方、スロヴァキア、クロアチア、ヴォエヴォディナ等の大地主の所有地、五十一萬ヘクタールが分割され、ハンガリー人の反感を益々大にしてゐる。

【社會運動】 ユーゴスラヴィアの労働者は約八千萬を數ふることが出来る。ロシア革命、ハンガリー革命の影響により一時非常なる進展を示す。一九二〇年にユーゴスラヴィア共産黨が合法的に禁止せられし以後、この勢力は俄かに激減す。世界恐慌により一九三〇年には失業者を二十五萬出し、このために却つて右翼的方向は一段と激化した。かくしてファシシ的傾向が益々強く民族問題は常に國民の重大なる關心事である。セルビア人對クロアチア人の對立は特に著しい。クロアチア農民黨はラディオに率ひられて民族運動の先頭に立つてゐる。最初は「共和主義的クロアチア農民黨」と云ひ、クロアチア獨立のスローガンを掲げて戦つたが、一九二八年八月、首領ラディオの暗殺によつてこの方向は潜在的に秘密結社化するに至り、三五年のアレキサンダー一世の暗殺の如きもその一層の激化を示すものである。

415

VI 文化

A 文化概観 バルカンにおける最も強力な軍隊を有し、その新興文化は盛んに進展の中にある。古来かなり文化の發達した遺跡を有してゐる。南部セルビアのウスケプロは中世紀の重要な政治的文化的中心であり、今もなほその古城を有してゐる。特に世界大戦の災害を受け、今はまだその復興建設の途上にある。ベルグラード、スコツツヤ、ザグレブ、ルピナは四大學があり、國粹文化の傳統を示す。

なほ一般にドイツ語を排しフランス語を主として使用する。遠く中世紀時代アヴァラノ丘の古城はゴート人に築城され、以來、幾度かの戦跡となり、一四五八年トルコ帝マホメット二世に占領さる。なほこの地ではギリシア文化が最も主なる基礎をなしてゐる。なほニシはセルビア人が最初にトルコに反抗した舊都であり、文化史的に重要な地點である。またサラエヴォは一九一四年六月二十八日、オーストリア・ハンガリーの皇太子フェルディナンド公、公妃の暗殺せられた世界史的に記念すべき小都である。

B 宗教 ユーゴスラヴィアにおいてはすべての宗教は憲法の規定により同權とする。一九三一年三月三十一日の國勢調査の結果による宗派別人口はセルビア正教徒(Orthodox)六、七八五、五〇一名(四八・七〇%)、ローマン・カトリック五、二一七、九一〇名(三七・四五%)、ギリシア・カトリック四、六〇八名(〇・三二%)、プロテスタント二、三一一、一六九名(一・六六%)、回教徒一、五六一、一六六名(一・二〇%)、ユダヤ教徒六八、四〇五名(〇・四九%)、その他二五、二七九名(〇・一八%)である。

C 教育 初等教育は義務制にして、すべての初等學校は文部大臣の管下であり、月謝は

無料である。一九三一年二年度における初等學校は八、四九八校、教師二五、一四二名、児童一、二七六、七六四名である。また初等學校に續く補修學校は教師一、九五三名、児童二七、五六三名である。また初等職業學校は五三一校、教師三八五九名、生徒六三、七三五名、中等職業學校は三六校、教師四九四名、生徒六、一六五名、農業學校は三二校、教師一九〇名、生徒一、二九七名である。

D 新聞 ユーゴスラヴィアの新聞はその各種の人類別相違に見られるが如く、各種の言語に分裂してゐる。そのうち最も有力なものは首府ベルグラード發行の Politika 紙である。同紙は何等の政黨的色彩を有せず、同國において最大の讀者網を有する。また Jugoslavinski List (Zagreb 發行) は政黨的色彩なく、經濟的新聞として極めて有力である。また Obzor (Zagreb 發行) はその最古のクロアチア系新聞である。

E 風俗 多種のバルカン民族を合併してゐるためその民間の風習はそれぞれの民族的風俗をそのまゝに傳へてゐる。國境スボチツパにはギリシア教の風俗が主であり、北部にはハンガリーの農民の風習が最も濃厚である。またセムリン地方はギリシア、イタリヤ、ユダヤ人等のあらゆる人種的風俗を混有し、またトルコの永い占領地たるためにマホメット教的色調も深へ民俗に染み込んでゐる。クロアチア地方は一九四七年マキシミリアン一世の鎮壓發見以來、

無料である。一九三一年二年度における初等學校は八、四九八校、教師二五、一四二名、児童一、二七六、七六四名である。また初等學校に續く補修學校は教師一、九五三名、児童二七、五六三名である。また初等職業學校は五三一校、教師三八五九名、生徒六三、七三五名、中等職業學校は三六校、教師四九四名、生徒六、一六五名、農業學校は三二校、教師一九〇名、生徒一、二九七名である。

幾度か民族的鬭争場となり、かくて諸民族の混合を示してゐる。モンテネグロ地方は文化未だ進まず、やゝ挑發的風習を示してゐる。

VII 自然

A 地理 バルカン半島の北西部にあり、北はオーストリア及びハンガリー、西はイタリヤの新領土及びアドリア海、南はアルバニア、ギリシア、東はルーマニアに接する。

アドリア海沿岸はジナル・アルプス(Dinaric Alps)が海岸に併行して北西より南東に走り、沿海には土地の沈降によつて生じた無數の小島が山脈軸の方向に細長い形をなして並び、何れも石灰岩を主として岩盤を露出し、良港は無い。國の北部はアドリア海岸のジナル・アルプス山脈とは多少異り、數個の小山脈が略々東西の方向に走り、その間にドナウ平原に向つて開く谷及び盆地を挟んでゐる。これに反して南方はジナル・アルプスの主軸に平行して南東へ走る褶曲線を作つて幾多の小山脈があり、その間に盆地及び種々の大いさの陥没地が存在し、起伏常なき特有な地形をなしてゐる。

河川はジナル・アルプスがアドリア海に接して分水嶺をなし、同斜面には見るべきものなく、大部分ダニエーブ河系に屬し、その支流たるサウ河(Sava)及びモラウア河(Morava)を最も大なるものとし、更にその支流が多數にあり、何れも北流する。又南方には盆地の湖沼に終る諸川があり、小なる内地流域をなしてゐる。

B 氣候 アドリア海に接するも、海岸の土地が高いために海洋の影響は甚だしく、僅かに沿岸の一部が海洋的氣候を帯びて冬暖夏涼の特性を持つが、一般には大陸的な氣候となつて、夏は相當に高温に昇り、七月平均は二三度乃至二六度で、冬季は寒冷で北部平原地方では一月平均温度は氷點を下る。雨量は比較的少なく、西部山地から北部平原に向つて減少し、降雪は他の地中海沿岸各地よりも比較的多い。

D 住民 ユーゴスラヴィアの人種は南斯拉ヴ即ちユーゴスラヴ系で、ロシア民族とその系統を同じくし、セルブ(Serb)、クロアト(Croat)、スロウヴ(Slov)の三族に大別することが出来、セルブ族即ちセルビア人はセルビ

A 政治機構 ラトヴィア憲法は一九二二年五月一五日の制定にかかり、現在に至る。即ち、憲法の規定により、ラトヴィアは獨立民主共和國(Independent Democratic Republic)であること、主權はラトヴィア國民にあること、全市民は法律上平等で、裁判官は獨立にして身分の保障を與へらるることを規定す。而して共和國元首たる大統領の任期は三ヶ年にして、議會の絕對多數によつて選出せられるも、六ヶ年以上續いて就任することを得ず。大統領たり得るものは四〇歳以上たることを要する。而して大統領はラトヴィア國軍の總指揮官にして、戦時には司令官(Commander in Chief)に任ず。大統領

縣別面積・人口

(1931年3月31日現在)

Table with 5 columns: 縣, 首都, 面積(平方哩), 人口, 一平方哩平均人口. Rows include Dravskan, Savskan, Vrbaskan, Primorskana, Drinskana, Sarayevovo, Cetynye, Navi Sad, Nish, Skoplye, and Belgrade.

39

ラトヴィア

Latvia, 英 Latvia, 獨 Lettland, 佛 Lettonie.

立憲共和國

I 歴史概観

ラトヴィアは世界大戦の結果、舊ロシア領の一部よりなれる新興の共和國である。世界大戦末期に至りロシアにソヴェート革命が勃發するや、ドイツ軍はこの地方を占領し、その支持のもとに一九一八年一月二八日獨立を宣言す。これに次いで、國民の選舉による「民衆評議會」が成立、やがてソヴェート・ロシアの勢力はラトヴィアに發展し、一八年一月二日には、ロシア・ソヴェート社會主義共和國が建設された。一九一九年にはラトヴィア共和國はソヴェート共和國と同様の憲法、社會法を制定し、その共產化を實施す。

然るに工業プロレタリアートが國內に少數なりしためにソヴェートの力が弱く、このためにドイツ軍の侵入によりこれが破壊され、一萬一千の犠牲者を出して、遂に一九一九年五月、

II 政治

A 政治機構 ラトヴィア憲法は一九二二年五月一五日の制定にかかり、現在に至る。即ち、憲法の規定により、ラトヴィアは獨立民主共和國(Independent Democratic Republic)であること、主權はラトヴィア國民にあること、全市民は法律上平等で、裁判官は獨立にして身分の保障を與へらるることを規定す。而して共和國元首たる大統領の任期は三ヶ年にして、議會の絕對多數によつて選出せられるも、六ヶ年以上續いて就任することを得ず。大統領たり得るものは四〇歳以上たることを要する。而して大統領はラトヴィア國軍の總指揮官にして、戦時には司令官(Commander in Chief)に任ず。大統領

は内閣を組織する首相を選出し、政務の執行を委任す。また議會解散権を有するが、しかしその提議は國民の同意あるを要す。若し解散権提議が國民の承認あるときは議會は解散され、新議會が召集される。若し國民の承認なきときは大統領辭職し、議會は新大統領を選出するものとす。

【大統領】アルヴァート・クワイジス(Albert Krivis)、一九三〇年四月九日、任期三ヶ年を以つて議會により選出され、更に一九三三年再選さる。農民聯合黨出身。

【首相】リガ(Riga)、一九三〇年の人口三七、九一七人。

B 行政 行政権は大統領にあり、その任命にかかると内閣により執行せられる。内閣は議會へ對して答辯の責任を有し、責任内閣制が採用されてゐる。

【現内閣】ラトヴィアの現内閣は、中央派と右翼派よりなるプロトドニークス(Brodnicks)を首班とする聯合内閣(Coalition)の後を以て、一九三四年三月一日、農民同盟のウルマニス(Umanis)を首班とし、農民同盟、労働者農民黨(共産黨系)及びラトガリアン農民黨の三派の聯合内閣にして、各閣僚の類稱は次の如し。

- 首相兼外相 ウルマニス (K. Umanis) 農民同盟
- 内相 グルビス (V. Gulbis) 農民同盟
- 蔵相 レムニークス (Remnicks) 労働者農民黨
- 国防相兼法相 パロティニス將軍 (General Palotinis) 農民同盟
- 文相 ベルダニス (Beldans) 労働者農民黨
- 派 イツブルス (Ivblis) ラトガリアン

農相 ブツヂェ (Bucis) ラトガリアン農民黨

C 立法 立法権は一院制の議會(Saeima)にあり、任期三ヶ年を有する一〇〇名の議員よりなる。二歳以上の男女は選舉権を與へられ、選舉は比例代表、普通選舉、直接選舉、秘密投票により行はる。議會の権限は新議會が召集されたとき行使され、絶対多數を以つて大統領を選挙し、宣戰布告は議會の投票によることを必要とする。

【現議會】一九三一年一月一日の總選舉により選出されたものにして、現議長及び各黨派別選出議員は次の如し。

- 國會議長——Dr. Pauls Kalnins (社會民主労働黨)
- 社會民主労働黨 二一名
- 農民同盟 一四名
- ラトガリアン・カトリック・クリスチャン農民黨 九名
- 新農民小地主黨 九名
- 労働者・農民派 (共産主義者グループ) 七名
- ロシア少数民族黨 六名
- ゲルマン少数民族黨 六名
- 民主中央黨 六名
- ラトガリアン民主農民黨 三名
- ユダヤ少数民族黨 三名
- クリスチャン國民同盟 三名
- 進歩同盟 三名
- 進歩農民黨 二名
- ポーランド・カトリック黨 二名
- 少數諸黨 六名
- 計 一〇〇名

D 司法 現行憲法により全市民は法律上

平等にして、裁判官は獨立にして身分保障が與へられてゐる。

E 政黨 ラトヴィアの政黨は小黨分立の現状である。以下各黨の政綱及び黨指導者を擧げれば次の如し。

【社會民主労働黨】(Social Democratic Labour Party) 賃銀労働者の利益を代表し、第二インターナショナルに加入してゐる。保守、共産兩黨へ反對し、對外政策としてはバルチック海諸國の聯合、バルチック海中立、ポーランド排撃、ロシアとの經濟提携を主張する。對内政策においては産業の振興、失業手當、社會保險の發達、大地主所有地の再分配を主張する。

黨領袖——Fricis Mender; Ansis Rudveris; Pauls Kalnins; (國會議長) K. Dekens; J. Celms; V. Basijanis (前蔵相)。

【農民同盟】(Farmers Union) 富裕な農民及び地主階級を代表す。外政においてはエストニア、リッパニアとの經濟的同盟及びバルチック海沿岸諸國並びにポーランドとの聯合を唱へ、内政においては強力國民内閣出現、農業保護、ルーテル教會擁護をかかぐ。

黨領袖——Alberts Kveivis (共和國大統領)、K. Umanis (首相)、Hugo Celms (前首相)、外相) Col. Iainis (前内相)、J. Blumbergs (前蔵相)、Karl Pauluks (前法相)、Gen. J. Baldis (國防相兼法相)。

【ラトガリアン・カトリック・クリスチャン農民黨】(Latgalian Catholic and Christian Farmers Party) 政綱は農民同盟、クリスチャン國民同盟に類似す。しかしラトガリア(ラトヴィアの東にある州)州民を代表し、ローレン・カトリックに特別に關心を有す。外交においてはエストニア、リッパニアとの經濟同盟、ポーランドとの協調、内政においてはラトガリアン農民の特殊

利益を擁護す。

黨領袖——Bishop Jazeps Rancans。

【新農民グループ】(New Farmers Group) 一九二〇年の土地改革により土地をまづがはれた新農民の利益を代表す。外政においては世界農民同盟結成、内政においては農民援助のため政府信用を附與することを要求する。

黨領袖——Adolis Blochicks

【労働者・農民黨】(Workers and Peasants) 共産主義團體にして、革命的労働者を代表する。ソヴェート・ロシアとの政治經濟的提携を主張する。

黨領袖——E. Sudnals

【ロシア少数民族黨】(Russian Minority) 同黨は三分派に分れ、第一はロシア正教派 (Bassian Orthodox)、その指導者 J. Romners にて、第二はロシア土木労働者派 (Russian Public Workers)、その指導者 Leonty Spolanski にて、第三は舊教信者派 (Old Believers) にて、指導者 Melety Kalistratov にて。

【ドイツ少数民族黨】(German Minority) 保守的政黨にして、バルチック海岸のドイツ人を代表し、農民改革の修正、國家産業獨占化へ反對する。

黨領袖——I. Schoeler。

【民主中央黨】(Democratic Centre Party) 中産階級、自由職業者、知識階級の支持を受け、國家的問題に關しては國民的民主的政策を臨み、小作人、借家人等の利益を主張する。

黨領袖——Christavs Zemgals (前蔵相、前大統領)、Peters Jurasevskis (前首相、蔵相)、J. Breiksis。

【ラトガリアン民主農民黨】(Latgalian Democratic Peasants) 新農民同盟及び民主中央黨と密接な關係を有する。

黨領袖——V. Rubinis; A. Dzenis

【進歩農民黨】(Progressive Peasants) ラトガリアン農民黨より分離せるものなる。

黨領袖——J. Trasnans。

【ユダヤ少数民族黨】(Jewish Minority) 同黨は諸派に分裂してゐる。即ちキリシヤ正教派 (Orthodox Party) は Mordach Dubins を指導者とし、民主派 (Democratic Group) は Marjins Nurok を指導者とし、またその他にユダヤ人統一派 (Agudas Israel) がある。

【クリスチャン國民同盟】(Christian National Union) ルーテル派にシテ、公共秩序と國民幸福の基礎としての宗教に對し特別の關心を拂ひ、禁酒政策を標榜す。外政においては國家主義的にして、内政においては急進的な社會改革に反對する。

黨領袖——K. Beldans

【進歩同盟黨】(Progressive Union Party) 社會民主労働黨に代はるにより多く國家主義的にして、より少く急進的なものである。外政においてはバルチック海岸諸國及びポーランドとの親善關係を増進し、内政においては國家幸福のため他の諸黨との協調を主義とする。

黨領袖——Magers Skujeniks (前首相)。

【ポーランド・カトリック黨】(Polish Catholic Party) その綱領はポーランド人の文化的目標を擁護する。

黨領袖——Janis Verzhickis。

F 外交 ラトヴィアの主なる住民であるレット族 (Let) は一三世紀頃からドイツと戦ひ、一三六〇年ツルン・戦役 (Durbe) に敗戦の結果、聯邦共和制 (Federal Republic) の名の下にエストニア、リッパニア、ラトガレ、コルララントと共にチュートン民族支配下にありしが、その後一七七二年第一次ポーランド分割後、ラ

トヴィアはロシアに讓渡せられた。

然るに大戰勃發後、一九一七年レット族はラトヴィアの獨立を主張し、一九一八年のロシア憲法議會 (Russian Constituent Assembly) に公然その意見を發表し、リガ (Riga) に於てラトヴィア自由國 (Sovereign Free State of Latvia) を宣言し、諸列強之れを承認し、一九二一年九月二〇日國際聯盟加入國となる。

世界大戰中一九一七年ドイツ軍の占領により國內住民の約四割はロシアへ移住した。又一方ボルシニウイキの活動甚しく、國內頓に疲弊した。その後ドイツ軍撤兵と共に一九一八年、ウルマニス (Umanis) は假政府を樹立し、ドイツ軍司令官ホルツ伯 (Gortz) と協約を結び、その援助を求む。同年末エストニア地方における革命運動は漸次南下し、一九一八年一月十七日、労働ソヴェート兵はリガを占領す。ウルマニス假政府は、ドイツ軍の援助を得て、反革命白衛軍を組織し、一九一九年五月、リガ市を奪回す。しかるにイギリス軍の壓迫により餘儀なく、ホルツ伯司令官に對しラトヴィアよりの撤兵を強要し、同年一月ドイツより賠償金を得るに成功した。同年八月には首府リガ市においてソヴェート・ロシアとの間に平和條約を締結し、ここに舊制ロシア領のリッパランド、クルラド、ウイテプスクを獲得す。その後兩國は通商條約を結び、兩國自由貿易を實行し經濟提携をなしてゐる。斯くの如く兩國の關係は極めて密接なるも、ソヴェートの共産主義に對しては極力革命思想を警戒してゐる現状である。一九二二年五月三〇日、ローマ法王廳と條約を締結し、法王廳の精神的援助をうけ、ローマン・カトリックを以つて對ソヴェートイズムに當らんとした事實に徴するも、如何にラトヴィアが、ソヴェー

ト赤化政策を恐れてゐるかを證するに足る。しかし一九二七年夏ソヴェートと通商條約を結び爾來兩國間の貿易關係は政治的には幾多の樂觀し得べからざる問題を孕みながら順調な關係を保持してゐる。

ラトヴィア政府の外債總額は一億ラートを突破してゐるが、投資高の最高を占むるものはイギリスであつて、國內の政治經濟上に重要な地位を占めてゐる。日本との關係は一九二九年一月一日に初まり、現在ドイツ大使がラトヴィア公使を兼任してゐる。

最近國內は政治的にはバルチック海沿岸諸國リツアニア、エストニア等と相協調し、經濟的にはソヴェート・ロシアとの提携可なりとする動向著しく、その外交政策の一層の發展が期待されてゐる。

G 國防

【陸軍】常備軍は士官二、二〇〇名、下士卒二、三、〇〇〇名よりなり、四ヶ師團(Division)に編成される。強制徴兵制を採用し、服役期間は二一歳から五〇歳までとする。また一九二八年五月一六日の法律により、在營期間は歩兵一二月、他は一五ヶ月に減ぜらるる。

【空軍】ラトヴィア空軍勢力は航空に服務してゐるもの五五〇人、航空一聯隊がある。

【海軍】ラトヴィア沿海防備艦隊(Coast Defence Squadron)がある。その現有海軍勢力は潜水艦二隻、海軍用汽艇四隻を有する。

III 經濟

A 財政 ラトヴィアの財政は概して均衡が取れてゐる。大戦時代ドイツ軍の侵入を受け、且つ國內の動亂によりその經濟機構は完全に破壊せられ、従つて戦後ラトヴィアの國民經濟は極めて苦難の道を通りたるも、國民一致の努力により漸次恢復するに至つた。従つて斯くの如

主要農作物

Table with 3 columns: Crop (種類), Area (面積), Yield (收穫). Rows include Wheat (ライ麦), Rye (大麥), Barley (燕麥), Clover (小豆), Potatoes (馬鈴薯), and Flax (亞麻).

その輸出は五百萬ラートに上り、ラトヴィアにおける重要輸出品の一つをなしてゐる。

主要家畜數

Table with 2 columns: Animal (種別), Count (飼養頭數). Rows include Cattle (牛), Horses (馬), Sheep (羊), and Pigs (豚).

【畜産業】ラトヴィアにおいては牧畜は極めて盛んにして、エストニアと同様、農畜業が發達し、同國産業の重要部門を成してゐる。一九三二年においてバターの輸出は三千萬ラートにして、輸出總額の約三分の一を占め、同國の最も重要な輸出品を爲してゐるのを見て、畜産業の全産業部門に對する役割が明かである。その飼養家畜は牛を第一として、馬、羊、豚を主とする。

【林業】ラトヴィアの森林面積は官有林及び民有林を合して四、〇九八、二八〇エーカーに上り、一九三一—三二年度におけるその産出木材は三、〇五三、〇〇〇立方メートルに上る。また薪用木材は一、九九〇、〇〇〇立方メートルである。また木材は主要輸出品の一にして、一九三二年度には千九百萬ラートに上る。

【工業】ラトヴィアの工業界は大戦時代の打撃による衰勢を未だ充分に回復するに至つてゐない。織物工業、製材工業、化學工業(主としてゴム製造)、金屬工業、食料品工業を主要なる工業とする。一九三二年度末における工場數は

最近の歳出入

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), Expenditure (歳出). Rows for 1929-30, 1930-31, 1931-32, 1932-33, and 1933-34.

*印は豫算概算に依る。

て困難なものとして來た。然し今日のラトヴィア財政状態は割合に落着いてゐる。

【公債】一九三三年四月一日現在におけるラトヴィアの外國債は、アメリカ合衆國に七、〇八五、四五四ドル、イギリスに一、九二五、〇〇〇ポンド、フランスに四、五〇〇、〇〇〇フラン、スウェーデン燐寸トラストに六、〇〇〇、〇〇〇ドルを負ふてゐる。その他、内國債は二、二五三、〇〇〇ラートに上る。

B 金融

ラトヴィアには一九三三年一月一日現在、一七の株式銀行、三四の相互信用組合、一二の公共信用機關がある。それらの資本金は總計三九、八七六、〇〇〇ラートにして、それ等の資産は總計一三九、三二二、〇〇〇ラートに上る。同國の唯一の發券銀行たるラトヴィア銀行(Latvian Bank)は一九二二年一月一日より業務を開始せるものにして、一九三三年一月三〇日現在におけるその發行紙幣高は三、四、九〇五、一五五ラートにして、その預金は九一、〇七七、三七七ラート(當座預金七二、〇〇〇、七九八ラートを含む)、金地金及び貨幣準備は三八、〇一〇、一四〇ラートである。

C 貨幣

ラトヴィアの貨幣單位はラート(Lat)にして、一ラートは一〇〇サンティム(100 m)である。即ち、ラート貨は金フランに等

三、五二三にして、勞働者は總計五一、九一九人に上る。E 外國貿易 ラトヴィアの外國貿易は一九二九年を最高として激減の歩行を辿り、一九三三年には輸入においては約二割近くに、輸出においては約三割に減少してゐる。そしてラトヴィアの外國貿易は年々多額の輸入超過を特徴としてゐる。然し一九三二年には國內の著しい不況のため輸入の減少率が輸出の減少率を遙かに凌いだ結果、變態的に輸出超過を見ることが出来た。要するにラトヴィアの外國貿易は最近

最近の輸出入

Table with 3 columns: Year (年度), Import (輸入), Export (輸出). Rows for 1929, 1930, 1931, 1932, and 1933.

示すものではなくて反つて同國經濟界の萎靡不振を意味するものでなければならぬ。

主要輸出品

その輸入において最大の部門を占めてゐるのは工業製品で、食料品、原料品に次ぐ。また輸出においては食料品及び工業品が首位にして原料品が之に次ぐ。即ち、一九三二年度の主要輸出品はバターの三〇、〇九一、〇〇〇ラート、木材の一、九、〇〇〇、〇〇〇ラート、亜麻の五、〇六〇、〇〇〇ラートを最も重要なものとする。

主要貿易相手國

また貿易取引國においては、輸入はドイツを筆頭とし、ソヴェート・ロシア、ポーランド及びダンツィヒ、チェコスロヴァキア、アメリカ合衆國、イギリス等が之に次ぐ。また輸出はイギリス及びドイツを最高と

價にして、純金〇・二九〇三二二六グラムを含む。流通紙幣は二〇、二五、五〇、一〇〇、五〇〇ラートの五種、銀貨は一〇、二〇、五〇サンティムの三種、青銅貨は一〇、二〇、五〇サンティムの三種である。またラトヴィアにおける紙幣發行は準備金を有する限度に嚴重に限られてゐる。然し一九三三年六月二八日金本位制停止以來、紙幣の兌換は行はれてゐない。

D 生産

【産業大觀】世界大戦はラトヴィアの國民經濟に對して決定的打撃を與へた。即ちドイツ軍の侵略と内亂の勃發とによつてその經濟機構は完壁なきまでに破壊せられた。而も大戦中ロシア政府はラトヴィアにあつた工業的及び機械的施設をすべてロシア内地に移して了つた。それがため、戦後長い間ラトヴィアは荒廢のまゝ放棄せられねばならなかつた。然し國民一致の努力の結果、その復舊は着々と進捗せるも、資金の不足及び市場の排除のため従前の規模にまで工業を再建することは出来なかつた。従つて現在ラトヴィアは戦前に比較してその國民經濟の農業化が進行せられ、エストニアと同様、牧畜的性質を多分に有せる農業を基本産業としてゐる。然しまた最近漸次工業が盛んとなり、農業人口が多少年々工業方面に移動しつゝある。林業はエストニアと同様ラトヴィアの重要産業の一つなるも、鐵産は殆んど皆無に等しい。

F 交通

ラトヴィアとソヴェート・ロシアとは交通上極めて密接な關係にある。即ちラトヴィアはロシアとバルチック海とを繋ぐ要路を占め、その西方の門戸を成してゐる。従つてロシアの輸出入貨物の多くはラトヴィアを経由して行はれるため、その主要貿易港たるリガ(Riga)及びウエンツピルス(Wentpils)とロシアの國境をつなぐ幹線は貨物輸送の便を計つてロシア鐵道の軌間に改められた。然しその西部線たるリガ・オスタンド・パリ線は一般の軌間が使用せられてゐる。一九三三年一月一日現在のラトヴィア鐵道は全長一、七五四哩にして、うちロシア軌間のもの一、〇八四哩、一般軌間のもの一九八哩である。

G 通信

ラトヴィアには碎石道路を六八〇哩數へる。また航行可能な内國水路は一、八二九哩にて、一九三二年度におけるその輸送貨物は六五五、八八五噸に及ぶ。その所有船舶は汽船及びモーター船一一五隻、一四七、六五三噸、帆船二七隻、二、四二一噸、合計一四二隻、二〇〇、〇七四噸である。また同國には碎氷船四隻がある。一九三二年度における入港船舶は二、六二五隻、一、二三五、〇〇〇噸にして、出港船舶は二、六二三隻、一、二二七、〇〇〇噸に上る。

H 郵便

ラトヴィアの郵便局は、一九三三年四月一日現在において、一、四一一局を數へる。その電信線の延長は二、〇五三哩にして、その電話線の延長は二一、二四五哩に上る。

I 社會

バルチック海とリガ灣にのぞむ高原性の國土にして森林多く、諸民族が混住して社會を構成

し、レット人七三・四%、ロシア人一〇・五%、ユダヤ人五・二%、ポーランド人二・八%、ドイツ人三・八%等が錯綜してゐる。農業が主要産業であり、農業人口は六〇・九%、工業人口は一三・六%である。農業は高原性のために大農経営が主であり、特に戦前ラトヴィアは大土地所有者で有名であつた。今日では一〇一五〇ヘクタールの経営者の面積が四八・七%、五〇ヘクタール以上が一〇・五%を占めてゐる。

【階級運動】農民が主なるために労働運動は遅く發展し、一九〇五年に組合運動は合法化されたが再び禁止さる。大戦中ドイツ軍侵入は全く労働運動を否定し、その後ソヴェト政府の樹立に際し、俄かに労働者は有力となつたが、再び一九一九年から二年に亘る白色テロルの時代には徹底的に弾壓せらる。一九一九年には社会民主労働黨はラトヴィア共産黨となつてロシア共産黨の一部となつたが、之は極度の抑壓を受け、年々數百人がソヴェト聯邦内に追放さる。

V 文化

A 文化概観 國內の地勢は沼澤多く、一般に肥沃であり、ドヴィナ河とアー河との間に廣潤な高原があり、「ヴェンデン・スイス」と呼ばれる程である。こゝに住むレット族は、本来寒國の民族であり、レット舞踊をなし、また労働は女性が主となつて働く。建築はボルスカ・スタイルが住宅様式となつてゐる。宗教はルーテル派が主であり、南方コゾノヴィル地方にはカトリック教が残存し、またラトヴィア平原の中央プラテヤウ高地から東方はロシア系の正教が信じられてゐる。リガにはユダヤ教も行はれ、各種の文化が相互に混在してゐる。

及びクルゼム州(Kurzeme)の一部にはローヤン・カトリック多(二三・六九%)、リガ、ヴェンツピルス(Ventspils)及びヴィゼム(Vidzeme)の南東にはギリシア・カトリックが多い(八・九三%)。

力な新聞は Jankas Zinas にして、民主中央黨に近い。その發行部数は十三萬と稱せられてゐる。その他、ドイツ系の Figache Rundschau あり、發行部数は二萬五千と稱せられ、ナチス系の色彩が濃厚である。

ツ人三・六八%、ポーランド人三・二二%、リツアニア人一・三六%、エストニア人〇・四〇%、その他の種族〇・四五%、國籍不明なりしもの〇・〇八%である。ラトヴィア住民の主要部分を構成するレット族はギリシア族とヒンズー族の混血族である。一九三二年の人口自然増加は一・〇二四人である。

は三七七、九一七人である。その他の主要都市及び一九三〇年の國勢調査の人口を挙げれば、次の如し。Ikepa (Ihau)一五七、二三八人。Daugpils (Dvinsk)一四三、二二六人。Jelava (Mian)一三三、〇四八人。Ventspils (Windau)一七、二五三人。Rzekne (Rostien)一三、六八〇人。Valmiera (Wolmar)一八、三六八人。Cais (Wenden)一七、六九二人。

40 リツアニア 立憲共和国

Lietuva, 英 Lithuania, 獨 Litauen, 佛 Lithuanie.

I 歴史概観

一、統一時代 リツアニアは世界大戦の結果、舊ロシアの一部及びプロシアの一部より成れる新興共和国である。古代から一三世紀頃までリツアニアはプロシア人、リツアニア人等の各諸侯が群衆す。その後リツアニア民族は次第に力を得、プロシア人を敗り、西部ロシアに侵入し、一四世紀には強大なるリツアニア・ロシア國家が形成され、キエフも征服され、白色ロシア文化が強大なる影響を與へた。その國家體制は封建制であり、公領地私領地に分たれ、文化もかなりの程度に發達す。

三、新興獨立 世界大戦中、ソヴェト革命に乗じ一九一七年ドイツ軍はこれを占領、この支持のもとにリツアニア國民議會が召集され、その獨立宣言がなされる。ドイツ軍敗北するや一九一八年一月一日、労働の革命政府が成立、リツアニア・ソヴェト共和國が建設さる。

II 政治 A 政治機構 一九二二年の憲法會議において採用され、一九二八年五月一日修正の現行憲法はリツアニアは獨立民主共和國 (Independent Democratic Republic) を規定す。共和國大統領は行政權の總攬者にして國民の選出にかり、任期七年にして、首相及び各大臣及び高級軍人、國家官吏の任命權を有す。

農相 アレクサ (Jonas Aleksa)
国防相 キドラチニス (B. Giedraitis)
政務監督官 マチエリニチニス (V. Matulaitis)
C 立法 議會 (Seimas) はリトアニア最高権力代表者にして、法律制定、諸外國との條約批准、國家豫算承認、法律施行監督等の権限を有す。

【現議會】一九二六年五月八日、九日、一〇日の三日間の總選舉によつて選出されたものにして、同年一月一七日のスメトナのクーデターによる獨裁政權確立後、翌二七年四月七日解散され、その後未だ總選舉行はれず、スメトナ大統領の獨裁下に置かれてゐる。
D 地方行政 全國を二〇區 (District) に分ち、各區の住民約十萬人、區は更に一五自治體 (Communities) に分たれ、國民中の少數民族 (ユダヤ人、ドイツ人、ポーランド人) は文化的自治權を享有してゐる。

E 政黨 一九二六年末以來、スメトナの獨裁下であり、議會は解散され、立憲政治は行はれず、政黨はスメトナ大統領に追従するもの以外、すべて彈壓を受け、無力である。
【國民同盟】 (Nationalist Union) 富裕なる地主及び産業家を代表する保守的民主黨にして、リトアニア國民文化保存を唱へ、急進的農業改革に反對する。外政においてはバルチック海諸國、特にエストニア、ラトヴィアとの提携、ポーランドによるリトアニア鐵道直通敷設に反對を主張す。内政においては立憲政治復歸、軍事的檢閲制度の漸進的修正を希望す。
黨領袖—Antanas Smetona (第一次共和國大

統領、一九二六年クーデターにより再選、更に一九三一年再選) J. Tubelis (首相兼藏相) J. Lapins; Antanas Merkys; Rev. V. Mironis; Prof. I. Tamošaitis.

【人民社會黨】 (Peoples Socialist Party) 中農、小農階級を代表し、反宗派的にして、一九〇二年、リトアニア民主黨として形成され、外政においては國際的權限の平等を唱へ、内政においては言論結社新聞の自由、農業、經濟の發達、新移民の對する土地の分配を主張する。
黨領袖—Dr. Kazys Grinius (前大統領) Mykolas Slezevicius (前首相、外相) Dr. Jonas Staugaitis (前國會議長) F. Borkeris; Z. Tolstis.

【社會民主黨】 (Social Democratic Party) 立憲的社會主義的政綱をかかぐ。銀行、自然資源、産業の國有を唱へ、第二インターナショナルに加入す。
黨領袖—St. Kairys; K. Venslauskis; L. Purinienė.

【クリスチャン民主黨】 (Christian Democratic Party) 一般選舉民のほかに多數のローレン・カトリック教徒の支持から成立してゐる。一八九〇年立憲され、キリスト教主義に基く社會改革の政綱をかかぐ。農業改革、八時間労働制、宗教教育、團結及び罷業の労働權の徹底を期す。
黨領袖—Rev. M. Krupavičius (前農相) Dr. I. Bistras (前首相、文相) Dr. P. Karvicius (前藏相) Z. Stankus (前政務監督官)。

【農民同盟】 (Farmers Union) 農民の利益を代表す。即ち農業の改善と擁護、農産物販賣統制を主張し、教權主義を支持す。
黨領袖—Aleksandras Stulginskis (前國會議長、前大統領)
【労働者聯合】 (Federation of Labor) 一九一

【對獨關係】 リトアニアはその建國當時から親獨的傾向にあつた。最近ドイツとの間に通商條約が締結されるに至つた。現在リトアニア貿易總額の半分はドイツで獨占してゐて、その後兩國の通商關係進展し、従つて經濟的にドイツの屬國の觀あり、その上、最近ナチスの勢力侵入甚しく、國內にもドイツとの親善外交を快からずと見る向も相當あり、今後の兩國關係は注目に値する。
【對ソ關係】 ソヴェート聯邦との關係は最初に兩國の不戰條約調印を見て、他のバルチック諸國の對ソヴェート關係に比して、極めて密接な關係を保つてゐる。
G 國防 強制徴兵制を採用し、適齡二一歳にして、現役服務一年半、一九三二年に現役制確立し、現有勢力は士官一、五八七名、下士官一八、六六八名にして、編成は三師團に分る(騎兵、航空、技術)。しかし補助人員(戰時動員數)を加へれば五萬二千の兵力を有す。

III 經濟

A 財政 リトアニアの財政状態は頗る良好であつて、年々常に剩餘を残してゐる。一九三二年度豫算において歳入は二九二萬リタに對して、歳出は二七八萬リタに見積られてゐる。その歳入においては直接税の七八百萬リタ

最近の歳出入 (單位千リタ)

Table with 3 columns: Year, Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for 1928-1932.

註 1932年度は概算數に依る

及び直接税及び國營企業收入の八百萬リタを最大とする。

九年立憲、小地主、新移民の支持をうけ、階級闘争理論に反對、組織的労働團體の利益を代表し、八時間労働制を主張する。ネイトレイト・クリスチャン労働者インターナショナル (United Christian Labor International) に附屬す。
黨領袖—Dr. K. Ambrozaitis; Prof. P. Dovyaitis.

【メメル州黨】 (Memel Territory Party) 即ちクルーペダ黨 (Kraipeda) と呼ばれ、すべてのメメル州選舉民を代表し、州の利益を擁護す。
黨領袖—D. Trukausis; E. Borchertus; Von Dresler.

【ポーランド人グループ】 (Polish Group) ポーランド少數民族の文化的、經濟的利益擁護を主張する。
黨領袖—V. Budzinskis
【ユダヤ人グループ】 (Jewish Group) リトアニア在住のユダヤ人の利益を代表する。
黨領袖—Dr. O. Finkelstein; Dr. J. Robinson; Max Solovejckas.

【農民黨】 (Farmers Party) 自由主義政黨にして、農業確立、農民同盟の結成、リトアニア國民文化の發達、宗教の自由を唱へ、土地改革問題に關してリトアニアの生産關係に就き特別の調査をなすべきことを主張する。
黨領袖—P. Leonas (前法相) R. Skipiitis (前内相) J. Jankevicius (前交通相) G. Cant V. Zubovas; M. Sidzikuškas (キリリス公使)。

【ドイツ人グループ】 (German Group) リトアニア在住のドイツ人の利益を代表する。
黨領袖—R. Kinderis; H. Hanzsen.

F 外交 リトアニアの歴史的國際關係を見るに、極めて複雑である。そもそもこの地は九世紀の頃よりリトアニア人の居住地となり、一三世紀初頭、大公國 (Grand Duchy) となる。一

またその歳出においては交通省費の六三萬リタ、農務省費五一萬リタ、國防費の四七萬リタを最も主要なものとする。
【公債】 一九三三年九月一日におけるリトアニアの國債は一三六、三三一、二五二リタ(一三、六三三、二五七)に上る。うち一九二七、〇四五リタ(一九七、九〇九)が内國債にして、一三四、三二二、二〇七(一三、四三三、二二〇)が外國債である。即ちリトアニアの國債は九九%まで外債に依るものである。また外債の國別は、一九三二年において、アメリカ合衆國六、三八六、二七〇、イギリス二、〇二〇、九〇九、スウェーデン一、〇三二、二〇九、ノルウェー一、二九、〇三二、二〇九である。
B 金融 リトアニア銀行 (Lietuvos Bankas) は一九二二年八月にアメリカ資本援助の下に、その株式の五〇%を國有として創立せられたものである。同銀行は資本金千二百萬リタであつて、向ふ二〇年間紙幣發行の獨占權を有する。法文上においては紙幣發行は三分の一の金準備を必要とすると定められてゐるが、實際においては眞の擔保が金又は金を基礎とせる外國の鞏固な通貨の形において一〇〇%まで置かれることを政府は同銀行に強要してゐる。一九三四年二月十五日現在における流通銀行券は八五、〇九一、〇〇〇リタである。

その他、拂込資本五千萬リタの土地銀行が政府の管理下に、農民及び農業協同組合に農業クレジットを與へるために設けられてゐる。また株式銀行は七行を數へ、一九三二年七月一日現在における資本金は合計八千六百萬リタにして、またリトアニアのすべての金融機關における預金は總計二〇五、四三三、一〇〇リタにして、貸附及び特別勘定は二七二、八八〇、四〇〇リタに上る。

三八六年國王ジョガイラ (Jogaila) はポーランド女王ヘドヴィッカ (Hedwig) と結婚し、ポーランド王となる。その後ヴィタルド (Vitold, 1392-1430) 大帝となるや、國勢繁榮し、國境は北はバルチック海より南は黒海へ達した。ヴィトルド大帝死後、一五九九年ポーランドに合併せられ、兩國は同一國王、同一議會を有するに至つた。その後一七九五年、第三回ポーランド分割に際してはリトアニアの大部分はロシア領となり、一八三〇年及び一八六三年反亂を起せるも、鎮壓さる。世界大戦中一九一五年九月當地方はドイツ軍の占領する所となり、後獨立運動はドイツの支持を得て一九一七年ヴィルナ (Vilna) における二一四名の代表者からなるリトアニア會議 (Lithuanian Conference) はリトアニア參議院 (Lithuanian State Council or Tarjya) を選舉し、リトアニアの完全なる獨立を要求し、一九一八年二月に至りリトアニア國家の獨立宣言は行はれ、一九二〇年七月二日、ロシアは列強に先んじて平和條約においてリトアニアの獨立國たるの承認を與へ、之れに次いで一九二二年一月二〇日、諸列強の正式の承認が行はれた。

【ヴィルナ市歸屬問題】 リトアニア共和國はヴィルナ (Vilna) 市の歸屬問題に就いてポーランドと十年以上も争つた前史があり、従つて兩國の關係は常に好ましくならず、ヴィルナ經由の直通列車にてリトアニアの關係を好轉せしめんとした國際聯盟の斡旋にも、反ポーランド派の驍將ヴォヂマラス首相は聯盟總會で極力之れに反對を表明せる等、ポーランドとの關係は依然順調に進んでゐない。而してヴォヂマラスに代つたトゥベリス首相 (Tubelis)、ザウニウス外相 (Zamius) も依然反ポーランド外交政策に終始してゐる。

C 貨幣 一九二二年八月一日發布の法令によつて金本位に準據する固定貨幣としてリタ(Italia)が定められ、それまでリツアニアに流通してゐたオスト・マルク(Ost Mark)、オスト・ルーブル(Ost Rouble)、ドイツ・マルク(German Mark)に代つて流通することゝなつた。リタ貨は純金〇・一五〇四六二グラムを含み、アメリカ合衆國のドル金貨の十分の一に等しい。四八六六リタが英金貨一ポンドに相當する。リツアニアには金貨は鑄造されてゐない。然し貨幣法によつて五〇リタ金貨は純分九〇〇の金八・三五九二グラムと定められてゐる。一リタは一〇〇センタ(Centas)である。

現在流通してゐる銀貨は五、二、一リタであつて、その他、補助貨幣として五〇―一センタまでの各種の青銅アルミニウム貨が鑄造せられてゐる。

【度量衡】リツアニアにはメートル法が一般に使用されてゐる。

D 生産 【産業大観】リツアニアは極めて遅れた農業國である。にも拘らずその國民經濟は大部分農業に依存してゐる。即ち、全人口の七六・七％は農業人口で、商工業及び運輸業人口は一〇％に過ぎない。而も天候その他の自然的條件によつてリツアニアの農作物は屢々凶作に遇ふことが少くない。従つてこの國の經濟狀況は常にその年の農作物の收穫に影響されて浮動し、極めて安定性を缺く。農業の外、リツアニアの産業においては畜産業と林業とが重大な役割を演じてゐる。畜産物が輸出總額の三分の二以上を占めてゐるのを見ても

全國土の利用類別
Table with 2 columns: 種別 (Category) and 全土に占める割合 (%) (Percentage of total land). Rows include 耕地 (Cultivated land), 牧場 (Pasture), 森林 (Forest), 不生産地 (Uncultivated land).

これは明かである。リツアニアの工業は鐵も石炭も無く、且つその獨立によつてロシアの市場を失つたため、何等見るべきものがない。

【農業】リツアニアの主要産業にして、農業人口は全人口の七六・七％にして、耕地は全國土の四九・六％にあたる。即ち一九三二年においては農耕地は五、五六五、八〇〇ヘクタールにして、ライ麦五七二、〇七〇メートル噸、小麦二五六、四六〇噸、大麥二三八、九五〇噸、燕麥三五六、三八〇噸、馬鈴薯一、九一八、八〇〇噸、亞麻一四、二六二噸の産額を見る。

リタ、纖維業二〇、四二〇、〇〇〇リタ、機械及び金屬具製造二、七〇三、〇〇〇リタ、皮革製造九、〇二七、〇〇〇リタに上る。また鐵産に乏しきも、一九三〇年度には泥炭約九萬噸を産す。

最近の輸出入

Table with 3 columns: 年 (Year), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Data for years 1928, 1929, 1930, 1931, 1932.

【畜産業】リツアニアの極めて重要な産業であつて、牛肉、バター、豚、鶏卵等の畜産物は同國の最大の輸出品にして、輸出總額の三分の二以上を占めてゐる。一九三二年における同國の家畜飼養数は牛一、三四〇、〇七四頭、馬五八六、六七三頭、羊一、三二一、六一九頭、豚一、三〇五、八二四頭に上る。

【林業】主要産業の一つで、森林面積は全國土の約一五％にして、一、〇二九、四〇四ヘクタールに上る。このうち七〇％が針葉樹、特に松によつて占められてゐる。林産物はその主要輸出品の一つである。

【工業】リツアニアの工業的發展は極めて遅れてゐる。一九三二年において五人以上の労働者を持つ工場は一、一五一に及び、その全従業員は二四、二九四人である。また同年度の主要工業の生産高は、牛肉及び魚肉製造四九、八〇七、〇〇〇リタ、木材製造二一、三八〇、〇〇〇

III 社會

A 社會構造 長くドイツとロシアとに分割され、何等一定の社會組織を有し得なかつた。現在の民族關係はリツアニア人八〇・一％、ユダヤ人七・二％、ポーランド人三％、ロシア人二・三％、ドイツ人四％等の割合で、主としてリツアニア人によつて占められ、その生産様式は農業國であり、全人口の七九％が農民層で、商工業人口率は僅かに九・五％にすぎない。農業經營も農業改革が徹底せぬ舊式のものであり、工業の發達は全く今後待たねばならない。特に最近は大規模的獨裁により民族意識の強調のために國民社會教育は大いに發達し、新興民族主義的社會狀態を現出し來る。

B 民族運動 リツアニアにおいては一般に民族運動は頗る盛んである。「農村民衆同盟」も民族運動のために成立し、「社會民主黨」も最初これを目的とし、その民族的獨立がこれ等の運動を全国的に一致せしめた。國民議會(タリバ)はこの民族運動の中心的機關であつた。ドイツに支持されし獨立運動は、ソヴェエト政府に敗れ、再びポーランド等の侵入のために民族自由主義が主張され、その後新興共和國形成された後には、直ちにファシストの方向に進んだ。特に最近の經濟恐慌を脱するために積

極的にファシスト獨裁を進展せしめた。二七年にはファシスト内部に對立があつたが、ポーランドのファシスト化と同時に、それに對立するリツアニアとしてはスメトナ大統領の總裁下にその民族主義的傾向を一層強化しつゝある。

A 文化概観 リツアニア民族は非常に愛郷心が強く、他國人、特にドイツ人との烈しい闘争の歴史を有す。一五六九年以來ポーランドと同盟しその文化的影響が極めて濃密である。今日の文化はそれと同一である。また自然美はこの國の特色であり、史詩「ダイノス」にはこれが最も美しく傳説化されてゐる。なほ南部リツアニアはロシア文化風俗と同様であり、その文化は將來非常に期待されるべきものを多く有す。

【鐵道】この國では餘り發達して居らず、一九三二年一月三日現在においては鐵道全長

【教育】一九三二―三三年度の小學校二、五四八校、教師四、六五六人、生徒二五八、〇〇五人、中等學校四八校、教師四〇六人、生徒五、一七二人、ジュナナジウム(高等學校)六五校、教師一、二〇人、生徒一六、三五三人、師範學校一校、生徒一、一八五人。その他に商業、工業、美術、音樂等の高等專門學校二四校あり、普通專門學校一〇七校がある。コヴォノ(Kovono)に大學があり、學生數四、五四八人。農業アカデミー一、學生數二、六四四人がある。

A 位置 ヨーロッパ、バルチック海の東に位し、東と南東とはロシア本國及びポーランドに接し、南西は東プロシアに境する。

一つはその東を走るラトヴィア丘陵で、メメル河の東支流によつて切斷され数塊となるが、これがために國の西部と東部には丘陵地がある。河川の主要なものメメル河(Memel)は、ロシアより来り、クリフシエス海に注ぐ。

C 面積・人口 その南部のメヴァルキ地方(Savalki)とポーランドとの境界は未だ決定されてゐない。現在確定せるリツアニア國の面積は、五五、六七〇平方キロメートル(二一、四八九平方哩)で、人口は一九三三年一月一日に二、四二一、七七七人である。住民はリツアニア族を主とし、全人口の約八四%を占め、他にユダヤ族が約七・七%ある。

41 リーヒテンシュタイン 立憲君主國

英・獨・佛 Liechtenstein

I 歴史 リーヒテンシュタイン公國(Principality of Liechtenstein)の紀元は一二世紀にあり、オーストリアのヴォラルベルグ(Vorarlberg)とスイスのセント・ガレン(St. Gallen)及びグ

42 リュクサンブル 立憲君主國

英・獨 Luxembourg

せず、兵役の義務もない。國民は主としてドイツ系の住民である。また國民は農牧業を主とし、酪産物、葡萄酒、木材等の生産によつてその經濟生活を行つてゐる。

VI 文化 宗教は主として天主教である。赤褐色の圓形劇場はウインター・スポーツマンの快き遊樂の場所である。國人に納税、兵役の義務なき平和なる農村の夢の國の如き文化を有してゐる。明媚なる風光、豊沃なる野邊、緑深き山林、柔かな牧草、人間はすべて自然の素朴な喜びに恵まれてゐる。首都ヴァズツの丘の上に國王ヨハン二世の居城は博物館を兼ねてゐる。

夏の夜は、村の男女による中世紀風のペイツェントがロマンティックな叙情詩にあふれた情景を演出する。この美しい野外劇を見るために遠く他國から来るものが多量にある。リーヒテンシュタインの古城は今もなほ懐しい中世紀の蒼古なる文華の残映を、深々とからむ青蘆のさやぎに偲ばせてゐる。

VII 自然 リーヒテンシュタインはオーストリアとスイスとの間、上部ライン地方に横たはる一小公國である。即ち東はライン河を隔てて、オーストリア共和國のヴォラルベルグに對し、北より南はスイス共和國に接し、シェレンベルク州(Schellenberg)とヴァツツ州(Vaduz)の二地方より形成せられてゐる。その面積は六五平方哩、人口は一九三〇年の國勢調査によれば一〇、二一三人にして、住民は多くドイツ系で、殆んど農業に従事し、その宗教別はカトリック九、四九二人、プロテスタント二五三名である。主たる都市は首府ヴァズツ市(人口一、七五五人)である。また一九三二年の出生数は一九六名、結婚数は九五組、死亡者は一〇六名である。

ラウベングン(Grundigen)兩縣との間に介在し、以前ローマ帝國領有なりしシェレンベルグ(Schellenberg)とヴァツツ(Vaduz)の二國よりなる君主國である。シェレンベルグは一六九九年に、ヴァツツは一七二二年にリーヒテンシュタイン家に歸屬し、一七一九年一月二三日、カール六世(Karl VI)によりてリーヒテンシュタイン公國(Principality of Liechtenstein)として承認される。然るに一八〇六年公國互解するや、ナポレオン一世の下にライン聯合(Confederation of the Rhine)に加擔し、一八一五年より一八八六年迄ドイツ聯合(German Confederation)に加入せしが、爾來かかる聯合に一切加擔せず、獨立公國としての地位を維持し、現在に至つたものである。

II 國王 フランシス一世(Francis I)、一八五三年八月二日誕生、一九二九年二月一日、七一年間リーヒテンシュタイン大公の位にあつて八九歳の高齡にて崩御せし兄大公ジョージ二世(George II)の後を繼いで即位す。

III 政治 一九二一年一月制定の憲法によりリーヒテンシュタイン公國は立憲世襲君主國として男系の子孫之れを繼承すと規定す。【行政】 大公任命の行政長官(Administrator)がこれにあたる。その下に行政機關としては行政參事會あり、施政にあたる。現行政長官—ジョセフ・ホープ博士(Dr. Joseph Hoop)、一九二八年八月四日任命。首府—ヴァズツ(Vaduz)、人口一、七五五人、中央政廳あり、同國の政治の中心地を成す。

【立法】 立法權は一五名の議員より成る議會(Diet)にあり、普通選舉及び比例代表に基く直接投票により選出せられ、議員の任期は四ヶ年である。現議會—一九三二年三月一三日の總選舉にか

I 歴史 リュクサンブルはドイツ、フランス、ベルギーの間にある大公國(Grand Duchy of Luxembourg)にして、大體早期の歴史を次の如く四期に分つことが出来る。即ち(一)古ローマ帝國領土(九六三—一四四三年)、(二)スルカンチアン期(一四四三—一五〇六年)、(三)スペイン期(一五〇六—一七一九年)、(四)オーストリア期(一七一九—一九一九年)。

一四世紀に至り始めてリュクサンブル公となる。一四七七年、ハプスブルク家領となり、その後スペイン領となり、スペイン王位繼承戦の結果、一七一四年オーストリアの領有に歸す。その後フランス革命戦役後、一七九五年フランス領となり、一八一五年ウィーン會議の結果獨立公國としてネーデルラント大公がその王位につく。一八三〇年ベルギー獨立の際、國土の一部はベルギーに奪はれ、オランダ國王ウィルヘルム一世(Wilhelm I)が王位を兼ねぬ。同時にドイツ聯盟に加入し、一八四二年以來ドイツと關稅同盟を締結せしが、その後ドイツ聯盟廢止せられ、一八六七年ロンドン會議において永世中立國となる。

一九一九年九月二八日、リュクサンブル公國の政治經濟の將來を決定するため人民投票行はれたる結果、太公支持六六、八一一票、ナザウ、ブラカンザ支持一、二八六票、他の王朝支持八八九票、共和國支持一六、八八五票、フランスと

かるものにして各黨派選出議員は保守黨一三名、人民・民主黨二名、計一五名である。【司法】 司法機關としては一つの高法院(High Court)があるのみである。【國防】 リーヒテンシュタイン大公國は國際的に完全に中立的地位を占め、従つて軍備を有してゐない。

IV 經濟 一九二一年二月以來リーヒテンシュタインにはスイス通貨が流通し、一九二〇年の條約により郵便電信の管理はスイスに委任し更に一九二三年三月二九日の條約により二四年一月以來スイス關稅同盟に加入してゐる。【財政】 一九三四年の豫算案によれば、歳入一、四七〇、〇〇〇スイスフラン、歳出一、四四七、〇五九スイスフランである。なほ一九三四年における國債は總計四、六〇八、一四四スイスフランに上る。

【産業】 その地理的環境から大部分の住民は農業に従事し、農産物の主なるものとして穀物、果實を産す。その他、高山牧草地においては牧畜業よく行はれてゐる。なほ工業の主なるものとしては織物、紡績、革製品を産し、その他大理石をも産出する。

V 社會 ライン河に沿ふた僅かな沖積平野と山谷を有し、人口約一萬、面積一五九キロ平方にすぎない。地理學者エリセ・セルクリュが、ライン河の氾濫は忽ち國土の大半を浸水すると云つた程に狭少である。嘗つてはローマ帝國直轄の地で、リーヒテンシュタイン家はシェレンベルク(一六九九年)とヴァツツ(一七二二年)とを領有した。ハプスブルク家滅亡と共に孤立す。現在はスイスと關稅同盟をなし、スイスの貨幣、交通機關を用ふ。立憲君主の議會を有するが、國王が内帑金を國費とするために議會で豫算を決する必要がある。また國民は納税の義務を有

の經濟的合併支持六〇、一三三票、ベルギー聯合支持二二、二四二票にして、遂にシャロット太公(Charlotte)を推戴することに正式に決定された。

- II 女王 シャロット姫(Charlotte)、一八九六年一月二三日誕生、一九一九年一月九日、姉マリー・アレクサンドレ(Marie-Alexandre)の後を繼いで太公女(Grand Duchess)の位に就く。一九一九年一月六日、ブルボン・パルメ家(Bourbon-Parma)のフェリックス公(Prince Felix)と結婚す。【皇太子】 ジュアン(Jean)、一九二一年一月五日誕生。【第一皇女】 エリザベット(Elizabeth)、一九二二年一月二二日誕生。【第二皇女】 マリー・アドレアンヌ(Marie-Adelinde)、一九二四年五月二二日誕生。【第三皇女】 マリー・ガブリエル(Marie-Gabrielle)、一九二五年八月二日誕生。【第二皇子】 シャール(Charles)、一九二七年八月七日誕生。【第四皇女】 アリックス(Alix)、一九二九年八月二四日誕生。

III 政治 現行憲法は一八六八年一〇月一七日發布せられ、一九一九年に數ヶ所の修正を加へられたものにして、主權は國民に屬することを規定す(第三二條)。而して諸外國とのあらゆる秘密條約は廢棄すべく(第三七條)、國會議員は普通選舉により比例代表に基き選出せらるべきものとす(第五二條)。首府—リュクサンブル(Luxembourg)、人口五三、七九一人(一九三〇年)。【行政】 行政權は内閣によつて行使され、各國務大臣は太公の任命にかかり、議會(對して責任を負ふ。

現内閣一九二六年七月、カトリック保守黨及び急進黨よりなる聯立内閣にして、各閣僚の顔觸は次の如し。

- 首相 ベンシト (J. Beck)
- 外務・司法相 デモン (M. Dumont)
- 公務・貿易・産業相 シンマート (M. Simint)
- 大蔵・社会相 テボム (M. Dupont)

【國務會議】内閣の外に國務會議 (Conseil National) あり、參議會に提出されたる議案及び法律案を議決し、又はリユクサンブル太公によりて提出されたる問題に關し意見を發表し、或は之れを議決する権限を有す。參議會は太公の任命にかゝる一五名の議員より成り、元老院として機能を果す。如何なる法律案も最初國務會議によりて討議せらるゝに非ざれば國會に提出することを得ず、即ち參議會は先議權を有す。而して參議員はすべて太公によりて任命せられ、首相は參議員中より任命さる。

【立法】立法權は國王及び一院制の議會 (Assemblée des Députés) 之れを有す。國內を南、北、中央、東の四選舉區に分ち、選舉權を有する者はリユクサンブル市民にして、二一歳以上の男女之れを有す。被選舉資格は二五歳以上にして選舉權を有する者すべて之れを有す。選舉は一般國民投票により、憲法第五二條ノ項に定められたる條件に従つてなされることを要す。現議會一九三一年七月七日の選出にかゝるものにして、現議長及び各黨派別選出議員數は次の如し。

- 國會議長—Emile Reuter (カトリック保守黨) 二六名
- カトリック保守黨 一四名
- 社會黨 六名
- 急進社會黨 四名
- 獨立派 四名

獨立急進派 二名
獨立左派 二名
計 五四名

【外交】リユクサンブルは一八六七年ロンドン會議の結果永世中立國となり、一八四二年以來ドイツとは關稅同盟を締結し、親善關係を維持して來た。が一九一四年世界大戰勃發直前國內の鐵道はドイツ軍の占領する所となり、八月上旬よりドイツ軍國內集結、首府リユクサンブルは八月下旬より九月上旬にかけてドイツ軍大本營所在地となる。一九一九年のヴェルサイユ條約により一八四二年以來繼續し來たつた兩國關稅同盟破棄せられ、一九二一年ベルギーとの間に關稅同盟締結さる。

外交使節は現在、ベルギー、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ五ヶ國に派遣せられ、その他の諸外國に就いては必要の際にはベルギー使節之れを兼任する。日本との關係はベルギー大使がリユクサンブル駐在を兼ねてゐる。

【財政】リユクサンブルの財政状態は極めて良好である。年々適度な歳入超過を見て極めて健全な歩行を辿つてゐる。最近一九三二年度において歳入超過を示してゐるが、之は何等同國の財政の悪化を物語るものではない。また同國の公債は一九三二年度末において七〇八、五九二、一七〇フランに上つてゐる。

最近の歳出入 (單位千フラン)

年度	歳入	歳出
1929	400,763	362,378
1930	440,576	433,472
1931	511,453	453,560
1932	409,571	413,593
1933	358,223	313,704

註 以上は臨時歳入歳出をも含む。また1933年度は概算數による。

家畜飼養數 (1931年12月現在)

種別	飼養頭數
馬	16,967
牛	98,901
豚	148,958
羊	7,733
山羊	5,046

飼養も極めて盛んである。同國の産業として最も重要なものは鐵業である。鐵鐵の産が最も多く、一九三三年の産出額は三、三六九、八六一トール噸に上る。従つて鐵工業は極めて盛んにして、同年度の鐵鐵の産額は一、八八七、五三八噸、鋼鐵の産額は一、八四四、八三八噸に達する。一九三二年度における熔鐵爐の數は四六、使用労働者は三、三四九人である。製鋼工場は七、その労働者は一、九二二名に上る。

【外國貿易】以上の如く製鐵業が極めて盛んに行はれてゐる結果、その燃料として石炭の輸入は同國の主要輸入品となつてゐる。またその輸出品は鐵鐵、鋼鐵、金屬製品等を主とする。

【交通】リユクサンブルの交通、通信機關はその地勢が高地形なるにも拘らずよく發達し

てゐる。一九三一年において國道は一、二九七哩、地方道路は一、三三〇哩に上る。また同國の鐵道は三三七哩に達する。

【通信】電信線は八〇〇哩、その條線の總延長は二、〇二五哩にして、電信局は四五五局を數へる。また郵便局は一九三一年において一四一局を數へることが出来る。

【社會】人口の七分の一は農業に従事す。始め社會改良主義者が有力であつたが現在はブルジョアが中心勢力である。労働運動は大戦後に始まる。一九二一年、組合員は三千人に達す。左翼分子は二年以來壓迫され、アムステルダム・インタナショナルに屬する一九二五年「労働組合委員會」には一三、五〇〇人の組合員があり、また一部の労働者はカトリック労働組合聯盟に屬してゐる。社會民主黨員は約三千五百の黨員を有し、一九二一年には同黨から共産黨は分裂す。

【文化】首府リユクサンブルは古來著名なる舊都であり、史蹟に甚だ富み、嘗つては堂々たる城壁をもつて都市を護つてゐたが、一八六七年ロンドン條約にて中立國となり、その城壁は廢棄さる。一部は公園と道路となり、保存されて昔日の遺跡となつてゐる。市廳舎には著名なる多數の繪畫を藏し、またノートルダム、王城、圖書館等はすべて建築文化史上重要な建築物である。市中には數多の記念碑、銅像等の藝術品が林立してゐる。また織物の織細なる技藝は特に一般の産業文化として優れてゐる。

【宗教】住民の殆んどすべてはドイツ人なるも、カトリック教を信ずる。新教徒は四、六五一一人、ユダヤ教徒は二、二四二人、その他の宗派を信ずるもの五〇九人である。

【教育】六歳より一三歳に至る全兒童は義務教育を受ける。教育はベルギーの教育制度に則

る。一九三〇年において初等學校は教師一、〇〇六名(うち女教師五〇三名)を有する。高等小學校二四校、古典學校三校、工業專門學校三校、女子專門學校二校、技術學校四校、男女師範學校二校、礦山學校、農業專門學校、音樂學校各々一校を數へる。

【言語】國民はすべてドイツ語を用ひるが、公用文書には普通ドイツ語とフランス語とが並用されてゐる。

【自然】獨・佛・白の三國間に介在せる一小國にして、面積は僅か九九九平方哩、一九三一年末における人口は二九九、七八二人にして、一平方哩に付き人口密度は三〇〇人にあつてゐる。

地勢は殆んどすべて山地にして、北部は概して高くドイツ及びベルギーに跨るアルデンヌ高地

43

ルーマニア 立憲君主國

Romania, 英 Roumania (Rumania), 獨 Rumänien, 佛 Roumanie.

I 歴史概観

一、古代史 ルーマニアの國名はローマ人を意味する Roman より出で、「ローマ人の土地」の意である。西暦百年頃ローマの屯田兵が二十萬餘人に居住し、ダキヤ人の侵入を防ぐ。しかもこれと混血して今日のルーマニア人が形成せらる。トラヤヌス帝はローマ領となし二七〇年ゴート人の侵入となる。同國がすべてストラヴ系住民なりし時に唯一のラティン系の人種とな

つて、今日に到る。二、中世紀以後 中世紀には數多の封建的侯國に分割され、一三九二年にトルコに征服され、以後永くその隷屬下にあつた。一八五九年ワラキヤ、モルダヴィアの二侯國が合併し、トルコ保護下の一侯國となり國をルーマニアとなし、ルーマニア建國となる。これはパリ會議によつて公認さる。第一回の統治者はアレキサンドル・クーザであり、一八六四年ロシアの農奴解放に影響されて農業改革を斷行、封建制の農奴を

解放す。この改革の二年後、これに不満なる貴族のクーデター行はれ國王、クーザは退位、ホーヘンツォレルン家のカロロ一世の即位(一八六六年)を見、これが現ルーマニア王朝の祖である。

三、資本主義の發展 その後貴族等が一時獨裁したが一九世紀末葉からブルジョアの勃興となり、新地主階級(チョコー)が生れ、國民自由黨が成立す。一八七七年の露土戦争にはルーマニアはロシアと結び、その獨立を承認され、ベッサラビア南部をロシアに割譲す。ベルリン會議(一八七八年)に公認さる。主としてオーストリア・ハンガリー、ドイツに接近す。世界大戦の勃發により、ルーマニアは初め中立を宣言、後聯合軍に歸属す。一九一六年八月二十七日オーストリア・ハンガリーに對し宣戰布告し、領土の三分の二は中歐諸國のために占領さる。一九一八年五月七日、ブカレスト單獨講和を結び、聯合軍より分離す。然るにその後中歐諸國が敗北したので、更に再度宣戰、ベッサラビア等を占領す。

四、大戰後 一九一九年ルーマニアの地主とブルジョアは聯合軍の支持の下に八月にブダペストを占領す。なほ國內はロシア革命の影響の下に農業改革を斷行、なほ媾和條約によりルーマニアの領土は甚しく増大、一躍、工業國になる。かくてルーマニアのブルジョアの勢力は俄に大となり、また一方に國民黨と相對立す。一九二七年六月、國王フェルディナント崩じ、七歳の孫ミハイが即位。一九二六年に實權は攝政に移さる。なほ一時王位を繞る争闘があつたが、父カロルの歸國するによつて終る。ベッサラビア問題はソヴェートと幾多の交渉を續け、遂にその後、パリ協定書はその占領を認む。ルーマニアには益々アラブの色彩が次第に濃厚となりつつある現狀である。

II 皇室

國王 カロル二世 (Carol II) 一八九三年一月一日誕生、故フェルディナント (Ferdinand) 及びマリー女王 (Marie) の王子、一九二一年三月一日、故ギリシア國王コンスタンティン (Constantine) の王女ヘレン (Helen) と結婚(但しこの結婚は一九二八年六月二日解消し、ヘレンはプリンセス・オブ・ルーマニア Princess of Romania の稱號を受けてゐる)。一九二五年二月二八日皇太子カロルは王位繼承権を拋棄し、一九二六年一月四日議會の決議によつて承認され、皇太子ミハイ殿下が王位を繼承。一九三〇年六月七日カロル殿下はルーマニアに歸國、同年六月八日議會の決議に基いて國王たることを宣言す。

皇太子 ミハイ (Michael) 一九二一年一月二日誕生、祖父フェルディナント王崩御の後、父王の王位繼承権拋棄と共に一九二七年七月二〇日王位を繼承して攝政を置き、一九三〇年六月八日父カロルの即位と共に退位、プリンス・オブ・アルバ・ジュリア (Prince of Alba Julia) の稱號を受けらる。

III 政治

A 政治機構 ルーマニアの現行憲法は一九二三年三月二八日に採擇されたものである。ルーマニアは立憲世襲君主國にして、立法權は國王と二院制議會にあり、但し國王は議會を通過せるすべての法律に對して停止權を有す。行政權は國王の任命にかゝる内閣により執行さる。

B 行政 内閣により執行せられる。現内閣は一九三四年一月一日任命せられた國民自由黨内閣にして、各閣僚の顔觸は次の如し。

- 首相 タタレスク (George Tatarescu)
- 内相 インクレンツ (I. Inculez)
- 外相 テイツニク (Nicholas Tinulescu)
- 蔵相 スラヴェスク (M. Slaveanu)
- 法相 アントネスク (Victor Antonescu)
- 農相 サルメ (Basil Sasau)
- 文相 アンゲレスク (Constantine Angelescu)
- 交通相 フラナソヴィチ (H. Franasovici)
- 國防相 ウイカ (General Uta)
- 勞働・保健相 コステイネスク (Dr. Costinescu)
- 商工相 テオドレスク (M. Teodorescu)
- 立法 議會は上下兩院より成り、上院 (Senate) は一七〇名の議員より成り、(舊國王八二名、トランシルヴァニア四五名、ベッサラビア二四名、ブコヴィナ一九名)、そのうちには大學より四名、僧正一九名が含まれてゐる。皇太子も亦上院議員である。別に終身議員もあり、前總理大臣で少くも四ヶ年その職にありしもの、前高等法院長にして少くも五ヶ年その職にありしもの、前總司令官にして少くも平時に四ヶ年間その職にありしものがこれに當る。
- 下院 (Camera Deputatiilor) は三八七名より成り、上院議員は四〇歳以上、下院議員は二五歳以上、兩院議員ともルーマニア生れ乃至歸化人としてルーマニア人たることを要し、完全な市民權及び參政權を有し、國內に定住するものたるを要する。二一歳以上にして納税せる總べての市民に投票權がある。王は兩院を通過した法律に對して停止權を有してゐる。
- 【現議會】 一九三三年一月二〇日—二月二二日の總選舉により選出されたものにして、各派の勢力關係は次の如し。
- 上院 國民自由黨 一七六名
國民農民黨 九名

下院

- ハンガリー黨 三名
 - ゲルマン黨 三名
 - 保守黨(フリベスク派) 二名
 - 社會民主黨 一名
 - 獨立派 六名
 - 計 二〇〇名
 - (以上二〇〇名の上院議員の外に僧侶議員二五名、特別の權利による議員二五名を數ふ)
 - 國民自由黨 二九三名
 - 國民農民黨 二九名
 - 農民黨(ルプ派) 一一名
 - 國民自由黨(ブラチアヌ派) 一〇名
 - 國民キリスト教防衛聯盟(クザ派) 九名
 - 國民土地均分黨(ゴガ派) 九名
 - ハンガリー黨 八名
 - ゲルマン黨 七名
 - 急進農民黨(ユニアン及びステレ派) 六名
 - 國民同盟(アルゼトイアヌ派) 五名
 - 計 三八七名
- D 司法** ルーマニアの司法權は裁判所によつて施行せられ、大審院一、控訴院一二、區裁判所七二、平和裁判所四六五を數へる。
- E 地方行政** 國內は七一區に分れ、ワラキア (Wallachia) 一七區、モルダヴィア (Moldavia) 一三區、ドブルジャ (Dobruja) 四區、バッサラビア (Bessarabia) 九區、ブコヴィナ (Bukovina) 五區、トランシルヴァニア (Transylvania) (クナト・バナル、クリサナ、クリサナ、マラトレンシ、Maramuresh) をも含めて) 二三區となつてゐて、各區には知事、收稅官、民事裁判所がある。

一九一九年において、この七一區の他に自治體八、八五四あり、そのうち都市自治體一六五、地方自治體八、六八九あり、地方自治體内には、村一、五二二、山村一、〇四八ある。都市及び地方の名稱は住民の數によらずして法律によつて與へられる。

F 政黨 ルーマニアにおいては普通選舉による立憲政治が行はれてゐるも、その選舉制度は四割以上を得た政黨が必ず議席の過半數を得ることとなつてゐる。而してその政黨としては國民農民黨と國民自由黨とが二大政黨にして、現在、政府黨たる國民自由黨が上下兩院において絕對多數を占め、政權はその獨占下に置かれてゐる。以下各政黨の綱領及び黨領袖を列挙すれば次の如し。

【國民農民黨】 (National Peasant Party) 同黨は一九二六年一月、嘗ての國民黨と農民黨との合同によつて組織されたものにして、ブラチアヌ國民自由黨政權が國民の不滿の増大による示威運動の全國的擴大の結果、崩壊せる後、攝政府によつて任命を受けて、政權を掌握した。國民黨はトランシルヴァニア (Transylvania) における戦前のルーマニア黨と嘗ての民主黨との結合によるものである。元來同黨は分裂主義的政黨であつたが、漸次全國的勢力を擴大せるものである。その後、國民農民黨は嘗ての農民黨の指導者ルプ一派 (Rupu) の脱黨により著しく黨勢を弱めた如く思はれたが、一九二七年の總選舉の結果大勝を拍し、その影響力が過大評價せられてゐる事實が全く明かとなつた。その對外政策は平和條約の嚴守、「小協商國」(Little Entente) たる諸國との同盟、國際聯盟の支持を主張す。その對内政策においては自由主義、立憲主義、軍備擴張、行政、財政改革、地方分權主義、選舉制の改革、勞働保護、天然

資源(特に石油)の開発、外國資本の歡迎、等をその綱領とする。

一九三三年一月、國王と意見の衝突を見、ヴァイダ・ヴォエド (Vaida-Voed) を首班とする國民農民黨内閣は總辭職を執行し、同年二月の總選舉の結果大敗し、國民自由黨に政權を讓つて現在に至る。

黨領袖—Jon Mihalache (黨首、前内相)、A. Vaida-Voed (前首相)、Julius Manu (前首相)、G. G. Mironescu (前副總理、内相)、Prof. V. Madgearu (前首相)、Mihai Popovici (前法相)、S. Cicio-Pop (前上院議長)、Voicu Nitescu (前農相)、E. Mirto (前土木・交通相)、D. R. Ioanidescu (前勞働・保險・社會事業相)、Prof. D. Gusi (前文相)、P. Halippa (前無任所相)、E. Hatzegant (前無任所相)、S. Savanu (前無任所相)、N. Costachescu (前上院議長)。

【國民自由黨】 (National Liberal Party) 保守的、國民主義的政黨にして、前首相イオン・ブラチアヌ (Ion Bratianu) の指導下に大戰以來一九二八年まで政權を獨占す。その傾向は中央集權主義的にして、銀行及び大企業の統制權を有し、同黨は同國の經濟生活の指導權を握つて居り、各政黨のうち最も有力なものである。同黨はルーマニアの金融及び各種企業の外國の支配、外國會社の石油權利の讓渡に反對する。大戰前及び大戰中には同黨は聯合國支持派で、首相マルギロマン (Marighioman) の中立政策に反對した。故イオン・ブコヴィナ (Ion C. Bratianu) の代議士ブコヴィナ (George Bratianu) は、一九三〇年六月、カロルの國王としての復歸に對して黨が反對せる結果、小グループを率ひて黨を脱退した。その數週後にして、ウィンティラ・ブラチアヌ (Vintila Bratianu) とその一派は現王朝に賛

【鑛業】 鹽、褐炭、鐵、銅、石油、天然ガス等を産する。一九三三年における原油の産額は七、三七五、六一七メートル噸に上るが、鹽は一八六三年以來國家の專賣になつてゐるが、一九三三年の産額は二八八、〇七〇メートル噸である。その他、褐炭一、四六三、九二八メートル噸（一九三二年）、天然ガス一、四五六、〇三六、一三三一方メートル（一九三二年）、鐵礦八、〇五一メートル噸（一九三二年）である。

E 外國貿易

歐洲の穀倉と呼ばれるルーマニアは、近年世界恐慌の端初をなす深刻な農業恐慌に見舞はれて、貿易額は著しい減少を來した。一九三三年の輸出額を一九三〇年のそれと比較して見るに大體半減を示してゐる。併しながら貿易額の減少に拘らず、連年輸出超過をつづけ、貿易の收支は頗る順調に推移してゐる。これは、その豊富な穀物と石油の輸出に負ふどころ大にして、兩者の輸出額は一九三二年において一、二、六九五、〇〇〇千レイに達し、同年における總輸出額の約七割五分を占めてゐる。輸入には織物原料、鐵及び鋼、機械の

最近の輸出入

(單位千レイ)

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Data for 1930, 1931, 1932, 1933.

註 以上は金及び銀を除く。

鋼、鐵及び機械の

主要輸出入品

(1932年度、單位百萬レイ)

Table with 4 columns: Category, Amount, Category, Amount. Lists various goods like wool, oil, timber, etc.

如き、生産原料及び生産手段の輸入多く、一九三二年にはこの三者を合して六、二三〇、〇〇〇千レイに達してゐる。即ち同年における總輸入額の半額以上に當つて居る。

F 交通

ルーマニアの道路は六六、二二哩、うち三六、四五八哩は碎石道路、五、九一二哩は砂利道路、殘部は自然土の道路である。

G 通信

一九三〇年現在の國內使用の電信線及びケーブルの延長は三四、五〇六哩、國外との通信に使用されるもの三、八六三哩である。また電報發信數六、二八二、三四一通に上る。一九三二年に電話線はブカレストのみにて一七、一九七哩、都市間の電話線四四、四五六哩である。公共電話敷設權は最少期間二〇年間として一九三〇年七月にニュー・ヨーク國際電話電信會社 (International Telephone and Telegraph Corporation of New York) に與へられたが、ルーマニアの S.A. de Telephone なる會社が設立されて、一九三一年一月一日電話の全組織を繼承した。なほバナエス (Banias) の無電局は一九二九年完成した。

V 社 會

ルーマニアには少數民族問題が重要なものである。主としてラテン系たるルーマニア人は六二%で、モルガワ人が六、三%、ブルガリア人、セルビア人が五、七%、他にドイツ、ユダヤ、ロシア、トルコ、アルバニアの諸民族を含有してゐる。かくてその民族問題はかなり今後の重要な問題となつてゐる。

また大戦前まではその國內は殆んど農民であり、貴族制の憲法によつて支配されてゐたが、大戦後、俄かに帝國主義的金融資本化され、且つ工業化されし土地を占領したために國內には工業ブルジョアが強大となり、かくて農民對工業資本家の對立は非常な困難なる社會問題となつてゐる。

なつてゐる。なほ一九〇五年にブカレストに始めて木材労働者による労働組合が形成せらる。以後ルーマニアの労働運動は急速に發達し、特に大戦後は著しく激増を示した。一九二二―二三年には労働組合内の左翼革命化が最も有力に實現した。なほ一九三〇年には、獨立労働黨が生れ、ファシオ的方向に労働組合を積極的に轉向せしめんとしてゐる。しかも一方、右翼的なる國民黨、人民黨もまたファシオ的傾向に進み、社會情勢はかなりの變化を遂げてゐる。

VI 文化

A 文化概観

ルーマニアは本來的にはバルカン地方の農業國であり、また長くトルコ領であつたことにより、一般人民文化にはトルコの東洋文化が多分に含まれてゐる。併し最近フランスのルーマニアに對する進展はその文化を著しくルーマニア上流社會層に移植せしめ今日ではフランス文化はラテン文化のバルカン地方における中心となつてゐる。ブラスローフ市 (Brasov) は舊オーストリア・ハンガリー領の國境にあり、ホントリウスの書庫は、ジャン・ホントリウスが一六世紀にトランシルヴァニア人をプロテスタントに改宗せしめた重要な文化的遺跡である。舊都アルバ・ユリアはルーマニア人の聖地であり、傳統文化の中心である。首都ブカレストには西歐風の大建築が盛んに構築され、北停車場、工業大學、王宮、國民劇場等は近代建築の尤なるものである。散步道シヨッセ・キセレフは市の文化的な焦點をなしてゐる。また一般に西歐の自由主義文化を極度に移入し、かくて離婚は極めて頻々と行はれる。また婦人はバリ文化の直接的模倣をなし、上流知識階級はドイツ、フランス文化を最も自由に享受してゐる。また一方ハンガリー人は大戦後ルーマニアに残留したもの極めて多く、これをルーマニア化せんとし盛んにルーマニア語を強制してゐるが、併し彼等はこれを使用することを容易に肯定しない。

B 宗教

一九三〇年の國勢調査による人口一八、〇二五、〇三七人のうち、一三、〇二七、三〇五人はオーストリア・カトリックに屬し、三分の二以上を占めてゐる。その他ギリシア・カトリック一、三三〇、〇〇〇人、ローマン・カトリック一、一九六、三五七人、レフォームイスト (Reformist) 七、一七一、一六二人、ルーテル派三九二、二〇〇人、ユニテリアン七二、〇〇〇人、ユダヤ教徒九八四、二二三人、回教徒一五六、〇〇〇人、その他の宗教徒は一六〇、〇〇〇人である。

C 教育

初等教育は義務教育で無月謝である。一九三〇―三一年度における學校數次の如し。小學校一四、九〇〇校、その教師數三四、七五四人、生徒數一、九七三、九四九人。中學校八二〇校、その教師數一一、一六四人、その生徒數一五八、七九〇人。高等學校二五校、その教授五九〇人、その學生九、九一三人。その他に商業アカデミー二、農業アカデミー二、工藝學校二、建築アカデミー一、法律アカデミー一、神學學校一〇、音樂アカデミー四、彫刻アカデミー三がある。大學はブカレスト (Bucharest)、ヤッシイ (Yassy)、クルジ (Cluj)、チネルナウツィイ (Cernavoda) の四ヶ所にあり、チシナウ (Chisinau) には神學部が置かれてゐる。

D 新聞

Dinimea 紙はルーマニアにおける最も有力な一般の朝刊新聞にして、政府の改革を支持するも、政黨的色彩を有しない。Adevatul は獨立の新聞にして、大衆的新聞として廣く知られ、國民黨を支持する。Argus は半官的ルーマニア語日刊紙にして、フランス語版を週一回發行、金融經濟方面に特徴的である。

ルーマニアには三大新聞はすべて首都ブカレスト發行のものである。その他、Brasov 發行の Gazeta Transilvaniei 紙は國民自由黨系に屬し、ルーマニア最古の新聞である。また Cluj 發行の Patruze 紙は國民黨系に屬し、この地方の指導的新聞である。

その他、首都ブカレスト發行の新聞に Aurora (農民黨 Dr. Iapuz 派の機關紙)、Curatul (政黨的色彩無)、Curatul (政黨的色彩無)、Epoca (保守黨機關紙)、Independenta Roumaine (國民自由黨系、フランス語新聞)、Indreptarea (農民黨機關紙)、Lupta (改革を支持する)、國民農民黨を支持し、政府の改革を支持する)、Miscarea (國民自由黨 G. Bratianu 派の機關紙)、Neamul Romanesc (國民黨系)、Socialismul (社會主義者の機關紙)、Tagblatt (マルタン人の意見及びトランシルヴァニア在住のゲルマン少數民族の利益を代表す、ドイツ語新聞)、Universal (國民自由黨系、超國家主義的、反ユダヤ主義的である)、Vitorul (國民自由黨系) の一三紙を數ぐる。またその他、地方紙は Cluj 發行のものに Kalei Ujag (ハンガリー黨系、ハンガリー語新聞)、Uj Kulet (シオニストの機關紙) の二紙を數ぐる。また週刊には Bucharest 發行の Argus (經濟的方面、フランス語誌)、Curatul Israelit (ルーマニア在住のユダヤ人の機關誌)、Gazeta Bursei (財政・金融方面)、Tajpa Economica (經濟方面) 等がある。また月刊には Bucharest 發行の Analele Bancilor (經濟誌)、Peninsula Balcanica (政治・經濟誌) 等がある。【ルーマニアにおけるニーム報導機關として】は Agentia Danubiana と Pandor の二社あり、後者は政府系のものである。

E 風俗 ルーマニアがラティン系なるためにブルジョア社会風俗は主としてフランス風を模倣してゐる。國都ブカレストは「バルカンのパリ」と稱されてゐる程である。ルーマニアにて一月六日にボボテアサ祭(Boboteaza)があつて、キリストの十字架像をダンボビツサ川に投げて潜水して拾ひ来る莊嚴な祭禮を全國的に舉行す。これはローマ時代からの遺風と云はる。なほ舊ハンガリー領にもルーマニア風俗が古來より傳來してゐる。これベッサラヴィアはもとルーマニア人の土地にして大戦によりロシアより奪還したが、この地はロシアが積極的にロシア化さんとした土地であるために社會の上層部にはロシア化が行はれたが、農民層には依然としてルーマニア風俗が行はれてゐたためである。

VII 自然

A 位置 バルカン半島の東北頸部、ダニウプ河の下流附近を占め、東北部はドニエストル河を境としてロシアに接し、北は同河及びカルパチア山地の一部をもつてポーランドに接し、西部はハンガリー及びユーゴスラヴィアに隣り、南はブカレストの南方附近までダニウプ河をもつてブルガリアと境し、東部一帯は黒海に臨む。その四極を示せば次の如し。極東—東經三〇度三〇分。極西—東經二〇度三七分。極南—北緯四三度四〇分。極北—北緯四八度一〇分である。

B 地勢 舊ルーマニアは一大平原で、ダニウプ河と之に注ぐ支流の流域に屬してゐる。新たに獲たベッサラヴィアはダニウプ河の支流ブルート河とその東方にあるドニエストル河との間にある細長い平地で、北方に向つて次第に高起してカルパチア山脈の東斜面となる。

トランシルヴァニアは北東カルパチア山脈と南方トランシルヴァニア・アルプス及び西方ピハル山脈とに圍まれた盆地で、アルタ河(Alta)、マロス河(Maros)等によつて灌漑せられ、クリサナ、マラムレシュ及びバナートは以西の平地にあり、ブコヴィナとトランシルヴァニア盆地の北東に位し、カルパチア山地とその東斜面に當る。

C 氣候 大陸性を帯び、冬季長く且つ寒氣厳しく、ダニウプ河口は相當の期間氷結するが、夏は甚だ暑い。ブカレストにおける一月平均気温は氷點下四度、七月は二八・五度である。雨量は少く、平均四〇〇乃至五〇〇耗で、山地はこれより稍多量である。

D 面積・人口 一九一九年の平和條約によつてルーマニアの領土は擴大され、現在總計一二二、二八二平方哩で、人口は一九三〇年一月二二日に行はれた國勢調査によれば一八、〇二五、〇三七人にして、一平方哩の人口平均密度は一四七人強に上つてゐる。

地方別面積・人口

地方別	面積(平方哩)	人口(1930年)
ルーマニア	53,489	8,786,472
ベッサラヴィア	17,146	2,863,409
ブコヴィナ	4,030	853,524
トランシルヴァニア	22,312	3,217,146
クリサナ・マラムレシュ	14,296	1,362,411
バナート	11,009	942,072
計	122,282	18,025,037

【人口の動態】 一九三二年度における出生数

は六六二、〇四九名(一九三一年度は六〇四、九八二名)、同じく死亡数は三九九、三四六名(前年度は三七八、五〇七名)にして、自然増加数は二六七、七〇三名(前年度は二二六、四七五名)に上る。また一九三二年度における結婚数は一七五、一三七組(前年度は一六六、九六六組)を數へる。

E 住民 ルーマニアの住民はラティン系のルーマニア族であるが、スラブ族及びその他の血混が著しい。このルーマニア族が全住民の九〇%を占め、他にトランシルヴァニア盆地にはマシヤール族、ブコヴィナ及びベッサラヴィアにはドイツ族及びスラヴ族があり、ドブルチアにはトルコ族及びブルガリア族が居住し、その他ユダヤ人は各地に散在する。

F 主要都市 一九三〇年の國勢調査による一〇萬以上の都市を挙げれば次の如し。首府ブカレスト(Bucharest)一六三、二八八人。チシナウ(Chisinau)一一七、〇一六人。チエルナウツィ(Cernautzi)一一一、二二二人。ヤッシ(Yassy)一一〇、五九五人。ガラツ(Galatz)一一〇、一四八人。

以上の五大都市の外、その主なる都市の一九三〇年の人口は次の如し。Cluj—九八、五五〇人。Timisoara—九一、八六六人。Oradea Mare—八二、三二五人。Ploesti—七七、二二五人。Arad—七七、二二五人。Bralii—六八、三三〇人。Clujova—六三、〇六三人。Pasov—五九、一三四人。Constanta—五八、二五八人。Statu Mare—四九、九一四人。Sibiu—四八、〇一三人。

『日本國際年鑑』發刊の辭

國內と云はず、國際と云はず、幾多の難問題の錯綜渾沌を極むる現在において、一般的に最も必要とせらるゝのは、時局に對する基礎的な知識と、繼起する現象的諸問題に對する理解とである。

日本國際問題調査會はこの國民的必要に應ぜんがために、同人協力して調査研究に従事し、その成果を公刊する目的を以つて創設せられたものである。而して今回發行の『日本國際年鑑』はその根幹的の仕事なのである。この年鑑は成美堂河出書房主河出孝雄氏の犠牲的好意により毎年出版の了解を得、こゝに創刊し得たるは感謝に耐へない所である。而してその内容には日本を始め、世界各國及び植民地の政治・經濟を中心とし、別記目次に示す通り、社會・文化・自然の各班に互る。主眼を日本及び英・米・蘇・佛・獨・伊等の世界の一等國に置き、これに次いで滿洲國・支那・インド・カナダ・オーストラリア等、太平洋を中心とする諸邦に専ら意を注ぐ。更に全世界の獨立國及び植民地のすべてを網羅し、その數百八十六ヶ國に及ぶ。従つて全世界各國の

歴史・皇室・政治・經濟・社會・文化・自然に對する生きたる百科辭典的エッセンスを把握せしむるのが我々の目圖したる所にして、以つて我國一般官民の國策樹立に資せんとするものである。従つて、我國の國際的發展のさゝやかなる一助たるを得ば、同人の欣快とするところである。「日本國際年鑑」なる名稱も、日本を中心とし全世界に互る知識資料たる意味と國運開展の希望とをこめたるものに外ならない。

上記の如くこの「日本國際年鑑」は全く營利的意圖に基かず、本會の眞摯なる調査研究を以つて我國文化向上に資することに面目を有するものなるを了解せられ、大方の御懇切なる御後援と忌憚なき御叱正とを切に期待する次第である。

昭和一〇年四月一日

日本國際問題調査會

調査會代表

戸野原史朗
清水宣雄

推薦の辭

國際知識の涵養に資するもの

外務大臣 廣田 弘毅

方今國際政治外交は複雑多岐を極め、盤根錯節の時局に際會してゐる。かゝる國際情勢に當つては江湖の識者は勿論、國民一般が、世界的知識を豊富ならしむるを要する。我を知り彼を知るは、外交の要諦なるのみならず、大國民が外交を理解して國運の發展に資するがための日常的心掛けなりと曰はねばならぬ。此の度日本國際問題調査會が三ヶ年に亘る懸命の努力を捧げて日本國際年鑑を出版するに至つたのは、如上の見地より見ても世を裨益するところ尠くないと思ふ。更に一層内容の完璧を期する爲め、今後逐年の改版に依つて一段と權威を増さんことを切望するものである。

斯界に於ける先鞭を賀す

内務大臣 後藤 文夫

日本最近の國家興隆は我民族意識と日本精神の振起に由來する。而うして、今後國運

の發展を永久的ならしむる爲めには、一般國民が内外の政治經濟・社會・文化・自然の基礎知識と諸情勢に關する普通常識とを體得して置くことが頗る有益なりと信ぜらるゝのである。『日本國際年鑑』はかゝる方面に於ける眞摯なる研究であつて、大方の便宜となることが尠くないと思ふ。將來一層の努力を以つて完璧を期し、愈々その效用を發揮せられんことを望むと共に、類例なき日本及東洋中心の國際年鑑上梓の勞を多とし、斯界に於ける先鞭を賀するものである。

座右に備ふべき必要の書

文學博士 井上哲次郎

余は今回河出書房より『日本國際年鑑』の發行せらるゝことを喜ぶものである。年鑑の類は種々あるが英國にて發行せる『政治家年鑑』の如きは、必要缺くべからざるものである。然るに『日本國際年鑑』は我々日本人に取つてはそれ以上必要なるものである。何故なれば此方は『政治家年鑑』が特に英米二國を詳述するに對して日滿二國を詳述するのみならず、一體に大東諸國を精細に報道し、且つ『政治家年鑑』などにならぬ世界各國の現在の動きを明かにするのであるから凡そ年鑑として餘程特色のあることが分るであらう。そのみならず、恐くは如何なる斯種の年鑑よりは整備したものと云へる。それ

に「カレント・トピックス篇」及び「世界文化史論篇」などのあるのも、益々本年鑑を特色づける所以であらう。故に余は之を座右に備ふべき必要の書として廣く江湖の諸彦に推奨せんと欲する次第である。

世界的水準を往く年鑑

東京帝國大學教授 大内兵衛

國際關係が面倒になるに従つて外國の事と日本の事とを相關的に考へて見る必要がふえる。近頃、日本でも外國と同じやうに年鑑類がたくさん出版されるやうになつたのは、まことにうれしい現象に相違ないが、同時に、少し數が多過ぎて質がよくないと云ふ憾がないでもない。いま芦田均君以下私の信賴する二十餘人のエキスパートがそれぞれの部面を擔任して新しく出來た『日本國際年鑑』を見ると、それは、右のやうな吾々の要求を充すに足るのみでなく、それ以上、吾々が當然に望み得る最上のものであると感ぜられる。この年鑑は、量的には非常に大きい。それは日本と世界とに涉つて項目を非常に多く網羅してゐるためであるが、年鑑としてはこれが重寶だ。またこの年鑑は記述の分類が詳細で、その上記事の内容は信賴出來、何より結構だ。この種年鑑では何と云つてもステーツマン・ス・イヤーズ・ブックが古くて權威があるが、あれはイギリスに詳しくて外國には

疎で、ことに世界諸國の諸事實の比較や國際關係の發展やカレント・トピックスやについては缺くところが多い。その點では本書が新機軸を出して居り遙に實用的である。要するに、年鑑の出版については、これで日本も世界的水準に達したが、問題は、この年鑑が今後長くつゞくことが必要だ。關係諸彦の努力を願つてやまない。

最も時宜を得たる出版

内閣資源局總務部長 松 井 春 生

日本に對する國際間の認識不足に付ては特に日本の國際聯盟脫退に至る諸般の事情に鑑みる迄もなく、我々は多くの苦い經驗を重ね來つてゐる。此の事は、我々が歐米諸國と全然語脈を異にする國語を有することに依つても、避け難い所があるであらうが、それだけに我々としては、出來得る限り、あらゆる機會に於て、對日本の認識を要請しなければならぬ。蓋し、斯くすることは、我が正當なる主張を、不必要な摩擦なしに貫徹する爲の根本的要件であるからである。

之と丁度同じことは、我々の歐米諸國に對する認識に付ても云へるのである。我々が、正しく、深く、此等諸國のあらゆる方面に對する認識を把握するならば、其所には、幾何程危険、不安、疑念を避け得ることであらう。今日、日本精神の發揚といふことが喧しく論ぜら

れてゐる。洵に、日本の諸國に比して優れた所を強調し、徒らなる模倣、追隨を揚棄せんとする主張として、極めて結構なことである。然しながら、其の極端に走つて所謂野郎自大に墮ることのないやう、くれぐれも戒心する必要がある。若し不幸にして斯くの如き事態に到達したならば、其の弊の及ぶ所は、明治維新以來の所謂先進國追隨の弊害よりも、更に恐るべき文化の頹廢を來すであらうことを虞れねばならぬ。

以上の意味からしても、『日本國際年鑑』の目睹するが如き日本及世界各國の廣き分野に亘る諸般の事情の闡明は、今日に於て特に其の意義の最も深く且大なる所以を覺える。而も本書の範圍は全世界に亘り *Statesman's Year-Book* 等と略々其の軌を一にするも、その内容項目に至つては遙かにそれを超えるもので、此等の年鑑が變り行く諸國の情勢を概観するにどれだけ利便を供してゐるか判らない程であるから、正に、本書は夙に世に出づべくして出でざりしものと謂ふも過言ではあるまい。

一言所見を連ねて弘く江湖に推奨する所以である。

贊助員芳名 (五十音順)

法學博士 衆議院議員 外務省情報部長 逓信省貯金局長 評論家 日本外事協會主事 調查資料協會主事 文學博士 東京帝國大學教授 東京朝日新聞論說委員 衆議院議員 東京朝日新聞主筆 貴族院議員 內務大臣 東京文理科大學助教授 前興業銀行總裁 東京朝日新聞經濟部長 東京朝日新聞論說委員

高平 柳賢貞 立葉龜太郎 千東 葉正 東中 葉正 根野 長谷川如恒 馬場 原川野 日比野 平川 廣田 堀內 米野 牧野 松井 美濃部 宮本 三輪 茂木惣兵衛

評論家 東京帝國大學教授 法學博士 東京朝日新聞顧問 前陸軍省軍事調查委員長 衆議院議員 東京商科大学教授 評論家 滿洲國大使館參事官 前海軍省軍事普及部委員長 大阪每日新聞總務局長 外務省亞米利加局長 法學博士 內閣資源局總務部長 法學博士 滿鐵總務部資料課長 評論家

高平 柳賢貞 立葉龜太郎 千東 葉正 東中 葉正 根野 長谷川如恒 馬場 原川野 日比野 平川 廣田 堀內 米野 牧野 松井 美濃部 宮本 三輪 茂木惣兵衛

編輯顧問 (五十音順)

芦田均 伊藤正徳 千葉龜雄 馬場恒吾 米田實

編輯同人 (五十音順)

大場芳男 小倉虎治 佐藤立雄 清水宣雄 戸野原史朗 仲小路彰 中島保 中山茂 難波浩 本莊正直

本誌執筆著者名 (五十音順)

芦田均 磯崎俊次 伊藤正徳 大場芳男 小倉虎治 尾崎秀實 小澤正元 香月保 河出孝雄 具島兼三郎 佐々弘雄 佐藤立雄 清水宣雄 園田次郎 千葉龜雄 戸野原史朗 仲小路彰 中島保 中山茂 馬場恒吾 濱正雄 林廣吉 本莊正直 本多助太郎 箕輪錬一 笠信太郎

本調査會の數年に互る調査研究の途次、昭和九年一月三〇日文學士本莊正直君を喪ひ、更に同年五月二六日には法學士磯崎俊次君の長逝に遭ひ、兩君の多大なる協力を回想し、愈々こゝに本年鑑の發刊を見て哀悼の情の一層切なるを覺ゆると共に、兩君の生前の努力に對して深く感謝の意を表するものである。

凡例

一、編輯方法

一、本年鑑は日本を始め、全世界の各獨立國、植民地、聯盟管理地、委任統治地、租借地を大小盡く集録したるものにして、その數は實に獨立國六十九ヶ國、植民地百一ヶ國、聯盟管理地二ヶ國、委任統治地十二ヶ國、租借地二ヶ國に及び、總計百八十六ヶ國の多數に亘る。
一、これ等の諸國に就いての分類法は、第一編を特に日本篇とし、以下に第二編アジア篇、第三編アフリカ篇、第四編オセアニア篇、第五編北アメリカ篇、第六編南アメリカ篇、第七編ヨーロッパ篇の五十音順の大陸別による。
一、更にこれ等大陸内の諸國を五十音順により配列し、各國を二様に歴史・皇室・政治・經濟・社會・文化・自然の七章に分け、更に各章を別記細目次内容に示す通りの各項目に亘つて詳述し、完全に網羅且つ體系的なるを期した。
一、斯くの如く本年鑑は全世界に就いて國別的に廣汎且つ詳細に亘りたる沿革及び現狀を記述し、基礎的資料の提供を圖り、以つて從來の日本並びに世界の各種年鑑の全く企圖し能はざるところを特徴とするものである。
一、加ふるに以上の各國別篇の外に、カレント・トピックス篇を設けて、目下繼起しつつある世界の重要問題に就いて現實的解説を與へ、更に世界文化史論篇において各専門權威者により世界の政治・外交・軍備・經濟・文藝に就いての文化批判を附加した。

二、記述方法

一、記述の形式は先づ歴史的概觀或は事實の沿革を明かにし、更に各事項の基本的構成を明確にし、次いで最近の現象、特に一九三〇年以來一九三五年初頭に至るまでを詳述した。
一、以上の現狀を記述する場合、繼起する現象の時間的發展を逐時的に記載し、成る可く事象の動的な方面を明確ならし

めるやう努力した。例へば「現内閣」の記述においては先づ内閣成立當初の事情と顔觸を示し、以下その改造、更迭等の變化を時間的に記載するに努めた。

一、特に歴史的発展及び基本的構成の記述は、本年鑑創刊の一九三五年版の最大特色の一にして、以後逐年刊行せられる各版の基本的なものたらしめることを企圖した。従つて明三六年版においては一層動的現象の記述に主眼を置かんことを期してゐる。

一、上記記述は専ら客觀的方法において試みられ、基礎的にして且つ資料的な報告及び統計を網羅した。特に統計は主として各國の官廳統計により、最近五ヶ年に亘る精密にして詳細な逐年の數字を採用した。

一、また調査執筆にあつては廣く内外官民の文獻及び調査資料を蒐集し、三ヶ年に亘る具體的研究に従事し、以つて記事の正鵠及び確實を旨とした。

三、項目内容

一、各國はすべて歴史・皇室・政治・經濟・社會・文化・自然の七章に大別し、各章は次の如く細別した。

政治——政治機構、行政(現内閣)、立法(現議會)、司法、地方行政、政黨(各政黨の綱領、黨指導者)、外交、國防、

政治の動勢(最近における政界の重要なトピックス)

經濟——財政(公債)、資本、國際貸借、金融(銀行)、貨幣、度量衡、生産(産業大觀、農業、畜産業、林業、水産

業、鑛業、工業)、商業(國內商業、外國貿易、物價、保險)、運輸・交通(道路、鐵道、船舶、航空)、通信、

經濟の動勢(最近における經濟界の重要なトピックス)

社會——社會構造(身分、職業、民族、階級の諸關係)、民族運動、階級運動、勞働(勞働組合、勞働條件、勞働狀

態、勞働爭議)、失業、社會運動、社會事業、衛生、社會政策、社會の動勢(最近における社會の重要な

トピックス)

文化——文化概觀、神社、宗教、教育、思想、科學(哲學、社會科學、自然科學)、藝術(音樂、美術、建築、文學、

演劇、映畫)、新聞、雜誌、出版、風俗、スポーツ

自然——自然的條件、地勢(位置)、山系、水系、平野、沿岸)、地質、氣候(雨量)、面積、人口、人口政策、都市、

植民地、植民政策

一、すべての最近の事象は個別的に各項目に分けて蒐録されてゐるが、同時に全體的重要問題に關しては特に各章末に「動勢」の項を設けて總括的に詳述した。

一、なほ主要諸國、即ち、日本、滿洲國、中華民國、アメリカ合衆國、イギリス、イタリア、ソヴェート聯邦、ドイツ、フランスの九ヶ國に就いては、特に「年誌」の章を設け、一九三三年一月一日より三四年九月末日に至るまでの重要日誌を附した。

一、また特にエジプト、イタリア、ギリシアの三ヶ國には最後に「古代文化」の章を設けて、これ等諸國の燦然たる繁榮の跡を明かにし、以つて現状の理解に便ならしめた。

一、更にパレスタインには最後に「ユダヤ王國」の章を設けて、現在世界各國において重大問題となつてゐるユダヤ民族の歴史的解説を與へ、その現状を詳述した。

四、用語法

一、外國文字の發音に就いては原語發聲法に近からん假名使を用ひることに努めた。

一、また人名、地名、その他主なる事項には外國語を挿入した。

一、なほ國名においては、ロシアをソヴェート聯邦、支那を中華民國、アビシニアをエチオピア、メソポタミアをイラク、ドミニカをサント・ドミンゴとした。

昭和十年九月十五日發行

・ヨーロッパ年鑑(日本國際
年鑑分冊) 定價貳圓

著者

日本國際問題調查會

印發行兼

東京市日本橋區通三丁目一番地
河出孝雄

印刷所

東京市神田區小川町一丁目十一番地
宮本印刷所

不許
複製

發行所

東京市日本橋區通三丁目一番地
河出書房

電話日本橋二七七七
振替東京一〇八〇二番



(所本製田寺・川石小)

14.5
470

終